

五十萬圓損害賠償金五萬圓を支拂ふべきこと(二)日本公使館に護衛兵若干を置く、但し事靜穩に歸し、日本公使其の必要を認めざる時は、撤兵するを得ることを以て、其の主要なる條項とす。

先是、朝鮮の金允植、魚允中等清國に在り、此の變に際し、直隸總督李鴻章に出兵鎮撫の事を請ひ、吳長慶、袁世凱、丁汝昌等兵を率ゐて、朝鮮に赴き、京城駐劄清國公使馬建忠と共に、居仲調停の事を爲さむとせしが、花房公使に拒絶せられ、又た、東京駐劄清國公使黎庶昌も、李鴻章の命により、朝鮮は、其の屬邦たるの故を以て、居仲調停せむとせしが、日本政府は之れを拒絶せり。李鴻章は、朝鮮の清の屬邦たるを實にせむと欲し、大院君を拉して、直隸省保定府に幽し、閔族と結托して、事大政府を組織せしめ、世界に揚言して、朝鮮が清の屬邦たるを告げ、陳樹棠及びドイツ人モルレンドルフ、Mollendorffを遣はし、袁世凱をして、五營の兵を率ゐて、朝鮮の内政に干與せしめたり。時に、朝鮮の志士朴泳孝、金玉均、徐光範等は、國家の富強を計らむと欲せば、日本に倣ひて、泰西の文明を輸入すべく、日本は能く小邦を憐み、其の獨立扶植に之れ勉むるものなりとし、以て國王を説き、徐載弼以下十數人、日本の陸軍戸山學校に來

學せり。而して、日本政府は、先きの濟物浦條約によりて、一大隊の兵員を京城に屯駐せしめられたれど、朝鮮を懷柔せむと欲して、漸く之れを滅じ、一中隊に至り、又た、償金五十萬圓の中僅に十萬圓を得て、殘餘は、之れを返付したり、實に明治十七年の冬なり。此の時に當り、金玉均等少壯の徒は、獨立黨を組織し、國王の信任と日本公使の外援とによりて、大に勢力あり、守舊の事大黨は、閔泳翽等を主として、清國に依り、以て之れを制せむとす。事大黨の金玉均、朴泳孝等を流刑に處せむとするや、朴金等は、先んじて、奸黨を仆さむと欲し、日本公使竹添進一郎に計り、明治十七年十二月四日、京城郵政局開局の式を舉ぐるに際して、火を放ち、閔泳翽以下の諸大臣を襲殺せむとす。事あやまりて、閔泳翽傷き走りければ、徐光範等直に宮に入り、王を別宮に移し、兵を伏せて、大臣を招き、之れを誅し、金朴等は王命を以て、日本公使に托し、其の兵を以て、王城を守らしめ、新政を布けり。於是、事大黨は、援を清兵に求め、清兵朝鮮兵と合して、王宮を襲ひ、日本兵に擊退せられしも、國王は、王太妃に侍せむとて、出でて清軍に投ず。公使已むを得ずして、兵を率ゐて、公使館に歸へりしに、暴徒の一隊は、公使館を襲ひ、日本兵之れを擊退せしも、其の兵營は、燒かれ、糧食亦奪はれたれ

ば、公使は仁川に退き、變を日本政府に報じたり。獨立黨の名士金玉均、朴泳孝、徐光範、徐載弼等相率ゐて、日本に奔る。之れを甲申の亂と云ふ。

日本政府は外務卿井上馨を特派全權大使とし、朝鮮に遣はし、清國も幫辦北洋通商事務大臣吳大澂及び續昌を欽差會辨とし、京城に於て、日本政府と會商せしむ。日本大使は、先づ朝鮮の全權大臣金宏集と會商し、清の大使の其の座に列せむとす。るを拒絶し、飽くまでも朝鮮の獨立を主張し、明治十八年一月九日の條約五箇條を締結せり。(一)償金十一萬圓の支拂(二)公使館の再建等を以て主なる條項とす。日韓の交渉は既に終はりしも、猶ほ日清の交渉を要す。

第二節 日清の關係 日本はシナと國交を絶つこと既に久しかりしが、明

治二年使を朝鮮に遣はすと共に、柳原前光を清國に遣はし、國書を清國皇帝に贈り、修好を約せんことを求め、明治四年大藏卿伊達宗城を以て、欽差全權大使と爲し、條約十八箇條を締結せり。翌年七月我が琉球島民臺灣に漂着して、生蕃に虐殺せられ、僅かに難を免かれたる者は、臺灣官吏によりて、清國福州に送らる。時の北京駐在辨理公使柳原前光之れを日本政府に報せり。外務卿副島種臣は特派全權大使と

して、清國に遣はされ、明治六年五月七日北京に入り、皇帝に謁見を求め、別に、柳原前光をして、總理衙門に至り、臺灣生蕃の事につき、問ふ所ありしに、總理衙門大臣毛昶熙は答へて、臺灣蕃民に生熟兩種あり、從來中國の王化に服したるものを熟蕃といひ、府縣を建て、之を治む、其の未だ服せざるものを生蕃といひ、之れを化外に置いて、必ずしも、之を治めざる也といへり。副島大使は、之を以て、臺灣を伐つに充分なる言質として、かへり、明年一月大久保利通、大隈重信は、臺灣蕃地處分取調委員を命ぜられ、西郷従道をして、臺灣を討たしめ、其の牡丹社を平げて、歸れり。清國は、此の舉を以て、妄りに他の領土を侵せる者と爲し、日本政府に對して、抗議する所あり。日本政府は、大久保利通を全權辨理大臣に任じ、清國に至りて、之れを議せしむ。大臣は、北京に入り、恭親王及び文祥等と會見し、論辯反復すと雖ども、恭親王等は、日本の領土侵害を主張して止まず、北京駐劄各國公使亦私に清廷を教唆するものあり。大久保大臣は、大に論駁する所あり、恭親王等の辭を左右に托して、事を決せざるを怒り、公使館を撤し、國交を絶たむとす。總理衙門急に會議を開き、日本政府に對して、償金五十萬圓を辨せむを諾せしも、其の清國の體面を損ずるを名として、公文の

證言を拒めり。大久保大臣は、此の尊大主義を憚はず、公使館の國旗を撤して、歸路に上らむとせり。北京駐節イギリス公使ウードワードは、兩國の平和破れむを恐れ、大に居仲調停に盡くす所あり、遂に、臺灣處辨條約三條を調印せり。此の約文によりて、(一)臺灣の生蕃も、化外の民に非らざること、(二)日本に對して賠償金五十萬圓を支拂ふべきことは定められたり。

先是、明治四年日本政府は、琉球王を藩王に封じ、華族に列したり、日本の琉球を以て、其の領土とするや、久し、然れども、シナは古來之を以て、其の版圖と認め、臺灣と琉球とを混同したる時期なきに非らざるも、歴代其の朝貢を受け、清國亦其の領域たるを信ぜり。故に、日本の此の處置は、清國の肯ぜざる所にして、東京駐節公使何如璋をして、日本政府に、總理衙門をして、北京駐節日本公使宍戸璣に、抗議せしも、日本屈せず、臺灣事件に際しても、琉球の被害民を以て、清國の臣民なるが如き、取り扱ひを爲せり。今琉球民被害に對して、日本に償金を拂ふに當り、心安んぜざるものあるか、明治十二年アメリカ前大統領グラント將軍 Grant の歴遊して、清國に至るや、恭親王李鴻章等は、之れを以て、將軍を煩はし、調停の勞を執らむことを願へり。將軍

日本に來り、伊藤西郷兩參議と會し、談此の事に及び、又た書を恭親王李鴻章に送り、兩國全權大使を定めて、事局を結し、平和を破らざらむことを勸告したり。會商三箇月の後、宮古八重山二島は割かれ、琉球の我が領土たること、清國亦認むる所と爲れり。次いで、十五年十七年の變あり、殊に後者の際には、清兵との衝突もあれば、清國は其の全權大使を京城に派したれども、井上大使は之れと協商せずして、歸國せるなり。日本政府は、宮内卿伊藤博文を特派全權大使に、農商務卿西郷從道を副使に任じ、清國に遣はし、駐清公使榎本武揚と共に、會商辦理せしめたり。大使一行は、明治十八年三月天津に着し、清國李鴻章を全權委員とし、協議する所あり、討議十餘日の後、明治十八年四月十八日の天津條約三箇條を締結せり。其の第一條は、兩國の駐韓兵を撤することを定め、第三條は重大にして、將來朝鮮國若し變亂重大の事件ありて、日中兩國、或は一國兵を要するときは、應さに先づ互ひに行文知照す可し、其の事定まるに及んでは、仍即撤回し再び留防せずと規定せり。

第三節 日清戰爭 天津條約は、朝鮮に於ける日清兩國の位置を同等なら

しめ、日本は、朝鮮を以て、獨立國と認めて、疑はざりしと雖ども、清國は猶ほ、之れを屬

邦視し、其の京城駐劄公使袁世凱の如き、其の方針を以て、朝鮮政府に臨めり。或は朝鮮遣外使臣の事に干渉して、必ず清國使臣の下に在らしめむとし、或は國王を廢して、李竣容を立てむと企つる等暴慢の舉動多かりき。而かも日本政府は干渉主義を取れり。事大主義の國民は之れを視て、愈日本を侮り、明治二十二年には防殺令を發して、日本へ殺物の輸出を禁じ、明治二十五年には、かねて、日本へ亡命せる金玉均等を刺殺せむとて、李逸植を遣はしたり。金玉均は、朴泳孝等と日本に在り、親隣義塾を設けて、朝鮮子弟の教育に勉め、私かに計畫する所あり、朝鮮政府は、爲に危険を感じ、李逸植に命じ、之れが誅戮を計らしむ、李逸植獨力の能く爲すなきを見、恰かも、フランスより歸途日本に來れる同國人洪鍾宇に圖り、機を窺へり。然るに、金朴兩人同棲せず、一時に殺すことは不可能にして、之れを異時に於てすれば、一方を脱する虞あるを以て、洪鍾宇は巧に欺いて、金玉均を上海に誘致し、明治二十七年一月二十七日之れを銃殺し、李逸植は、直ちに、朴泳孝を刺さむとせしも、成らざりき。朝鮮政府は、金玉均の遺骸を楊華津頭に曝らし、謀反大逆不道の罪人と爲しぬ。凡そこれ等の事件は、日本が、朝鮮に對して快からざる所にして、其の清國の指嗾に

出づるもの多きは、又日清兩國の間に衝突の種子を蒔き、早晚半島に於て、勝敗を決し、朝鮮に於て、日本の勢力を確立し、清國の勢力を驅逐すべしとは、蓋し、日本舉國の心にして、世界も、其の時の必らず來らむを豫期したりし也。然れども、天津條約の結果、日清兩國共に兵を朝鮮に駐めざるを以て、其の衝突の機の何日を以て來るべきかを知らざりき。恰かも、此の時に當りて、東學黨の亂は、朝鮮全羅道古阜縣に於て起れり。

東學黨キリスト教主義に反對し儒佛の巨魁は全奉準と云ひ、時弊を數へて、(一)轉運營の吏民に弊あること、(二)均田官の弊を去りて又弊を生じたる件、(三)各市井の分錢收税の件、(四)他國潜商の峻價、(五)食鹽に對する市税の件、(六)各項の物件に對し都賈利を取るの件、(七)白地に税を徴し松田に陳を起すの件等を以て、其の最大なるものと爲し、檄文を傳へて、人倫を明かにし、政弊を匡正し、奸吏を咎責し、以て生民を塗炭に濟ふと號せり。所在の豪戸を脅迫して、兵糧を徵發し、各兵を帶び、全羅道監司の軍を破り、其の勢猖獗なり。明治二十七年五月八日、朝鮮政府は、洪啓薰を以て招討使とし、李文永、元世祿と共に、兵七百を率ゐて、釜山浦に上陸し、進討す。賊は巧に官兵

の鋒を避け、非邑、興德、高麻、茂長、咸平を経て、長城に至り、元世祿の兵を羅州に破り、李文永七百の兵を長城に破り、全羅遂に東學黨の有と爲れり。朝鮮の諺に、事を爲さむとする者は全羅に據るべしとさへ云へり。全羅は要害の處たり、以て、全半島を制すべきを云ふなり。朝鮮政府賊徒を如何ともする能はず、援を清國に求むるに決し、之れを袁世凱に通ず。日本政府は、第六議會の爲めに、東學黨鎮壓の出兵を促がされ、次いで、内治外交共に機宜を失せりとの上、奏案を通過せられ、應に議會解散の事を奏請せむとするに當り、朝鮮援を清國に請ふの電急に接せり、實に明治二十七年六月二日也。七日東京駐劄清國公使汪鳳藻は、天津條約によりて、本國政府より出兵に關する行文知照を爲せり。即夜我が外務省は、北京駐劄臨時代理公使小村壽太郎をして、日本出兵の知照を爲さしめたるに、清國は、猶ほ朝鮮の屬邦たるを主張し、清國が、其の内亂を鎮定するは、宗國の應爲の事なれども、日本は、公使館領事館保護の程度に止むべしとせり。日本政府は、其の清の屬邦たるを非認し、濟物浦條約によりて、出兵し、天津條約によりて、知照する旨を通じぬ。衝突の機は正に來れり。清軍は、聶士成之れを率ゐ、六月九日先づ兵員を朝鮮に上陸せしめ、日本は此

日清共に出兵

日清交渉

の日を以て、大島義昌をして、宇品より、第五師團の混成旅團を出發せしめ、同時に、大島公使は、水兵四百より成れる陸戰隊を率ゐて、京城に入れり。東學黨の亂は、忽ちにして平穩に歸せしも、日本政府は、思ふ所あり、六月十六日清國公使汪鳳藻に對し、(一)兩國の軍隊戮力して、朝鮮の内亂を鎮壓すること、(二)亂鎮定後兩國常設委員若干名を派して、朝鮮内政の改革を計るべきことを本國政府に照會せむことを求めたり。清公使は、兩國先づ撤兵せむことを求めたれども、日本は、之れに應ぜず、別に北京公使小村壽太郎をして、總理衙門に、天津領事荒川已次をして、李鴻章に通ぜしめたり。六月二十一日汪公使は、本國政府よりの命を以て、日本の提議に不同意なる旨を通じ來れり、之れ、朝鮮の亂已に鎮定に歸したると、其の内政の改革は、自ら行はしむべしと云ふに在り。二十二日外務大臣陸奥宗光は、清國にして、我が提議に應ぜずば、日本は、朝鮮の根本的改革の爲め、獨力を以ても、之れを遂ぐべしとの通告を爲せり。此の強硬なる態度に驚き、李鴻章は、一方列國の調停を求むると共に、他方朝鮮への派兵増加を試みむとせり。ロシア公使ヒトロポー合衆國公使エドウィン・ワグネルは、日本政府に、イギリス公使オコンナルは、清國政府に交渉して、兩國の平和

破裂に至らざらむを希望したれども、共に容れられず。朝鮮政府は清國の増兵は日本の増兵と爲るを慮れ、清の撤兵を求め、袁世凱は、漸りに策を回らして、清に依らしめむとせるに際し、大島公使は國王に謁して、稅政改革の事を説き、清韓宗屬關係の事を明にし、日本政府提案を容れしめむとせり。既にして七月十二日日本政府は大島公使をして、最終手段を取らしめ、公使は十九日を以て、朝鮮政府に迫り、日本軍隊の爲めに、兵營を建築すべく、牙山の清兵に撤退を求むべき旨を以てせり。回答期限たる二十二日に至りて、朝鮮の回答は來りしも、要領を得ざるを以て、日本政府は、之れに満足せず、欲する所を爲すの外なきを通じ、爲に兵力を要すべきを以て、大島少將の兵をして、龍山の兵營より入京し、袁世凱は既に退去し、大院君は國政を總裁して、內政改革の事は、必らず日本公使と協議すべきを告げ、次いで、清韓條約は、公然廢棄せらるる旨を宣言せり。日本軍隊は、國王の依頼により、牙山の清兵を驅逐する事と爲り、大島混成旅團は、成歡、牙山の、大勝あり、豐島沖の海戰亦た我が勝利に歸し、八月一日、宣戰の大詔發せらるる。

之れより、日本軍は、平壤、五、十月、十、海洋島、十七、九、連城、十六、日、二、鳳、鳳、城、十九、日、二、旅、順、口、一、

宣戰の大詔

一月二十日 海城 十三日 鎮江 十九日 蓋平 二月十八日 威海衛 二月十日 田庄臺 三月一日 澎湖島 三月五日 於て、連戰連勝し、清國は其の海軍を全滅せられ、北洋水師提督丁汝昌を失ひ、幾多の勇將ありと雖も、遂に日本軍の精銳に敵する能はず。

グアットリン

清國は、明治二十七年十二月十六日を以て、天津稅務司のドイツ人、グアットリンを日本に遣はし、日本政府の意嚮を探らしめしに、政府は其の資格の判然たらざるを以て、追ひ返へしぬ。先是、北京駐劄合衆國公使、デンプーは、朝鮮獨立の承認と償金の支拂を以て、和の成らむことを求めしも、之れ亦我政府の容るる所と爲らず。十二月十二日に至り、東京駐劄合衆國公使、ダンは、兩國の全權上海に會商せむことを提議したれば、日本政府は、廣島を以て會商地と定めぬ。清國の全權大臣、張蔭桓、邵友濂は、明治二十八年一月三十日を以て、廣島に着せしも、其の正式の全權委任狀を帶びざるを以て、拒絶せり。於是、清國は、内閣大學士、李鴻章を頭等全權大臣に任じ、三月十四日、天津を發するの報あり、我政府は、下、關を以て會商地と定め、伊藤總理大臣、陸奥外務大臣を全權として、其の地に至らしめたり。三月二十日を以て、會見を始め、二十四日、李鴻章傷き、三十日、休戰條約成り、四月十七日を以て、媾和條約を締結

張蔭桓

せり。下ノ關係約十一箇條之れ也。(一)朝鮮の獨立を認む(二)遼東半島臺灣及び澎湖島を割讓す(三)軍事賠償金二億兩を支拂ふ(四)沙市湖北省重慶四川省蘇州江蘇省杭州浙江省の四港を新に開く(五)賠償皆濟迄威海衛を占領す等を以て主なる條項とす。然るに、四月二十三日に至り、ロシア・フランス・ドイツ三國の公使は、日本が遼東半島の割讓をうくるは、東洋の平和に害ありとし、日本政府を脅して、之れが還付を迫まれり。日本政府は此の三國の干涉を拒絶する能はず、三千萬兩の代償金を以て、之れを清國に還付するの止む無きに至れり。此の際ロシアの軍艦が、長崎に於て、威嚇を試みたることは、後にロシアが旅順口の半永久占領を爲したることと相待ちて、日本人の惡感を買ひたるは、著るしき事實也。

第九章 最近の事局

第一節 日清戰役後の清國

清國は、流石に大國なり。日清戰爭以前に於ては、世界は、清國の必らず日本に勝つべきを信じて疑はざりき。然らずとも、其の敗北如斯甚しからむとは思はざりき。戰爭の結果は、老大帝國の遂に爲すある

に足らざるを認めしめたり。列國の態度は此に一變せりと云ふべし。三國干涉の首謀者は、ロシアなり、遼東半島還付の恩人はロシアなり、然れば明治二十九年五月、ロシア皇帝ニコラス二世の戴冠式あるや、李鴻章は特派大使として、之れに臨み、モスクバに於て、所謂カシニ密約を結べり。當時のロシア公使カシニ Casini が幹旋に爲りたるを以て名づく。其の内容は固より秘密にして、窺ふべからざるも、事實として現はれたるは、同年十一月に至りて、東清鐵道會社の成れる事なり。此の會社は、露清銀行に資金を仰ぎ、シベリア鐵道のザバイカル線とウスリー線とを連絡せしむる爲め、黒龍江省の西境より吉林省の東境に達する線及び其の哈爾濱よりの支線を敷設運轉するの目的を以て設けられ、特許期限を八十年とし、其の以後は無代にて清國に讓るべく、三十六年の後には、清國政府若し欲せば、之れを買ひ取るを得べく、社債の發行につきては、ロシア政府其の利子支拂を保證すといふ規定なり。名は一私立會社なるも、事實上ロシア政府の所有たるは何人も疑はざる所なり。

ドイツ亦、三國干涉の一員なり。明治三十年の秋、其の宣教師の山東省に於て害

に遭ふや、好機逸すべからずとして、軍艦を膠州灣に入れ、十一月二日に皇帝ハインリヒ親王をして、罪を北京に問はしめ、其の公使ケトレル Kettler をして、膠州灣租借の事を議せしむ。明治三十一年一月五日約四條成り、(一)膠州灣は九十九年間租借す、(二)山東省内に鐵道布設權、鑛山採掘權を得と規定せり。

於是、ロシアは其の年三月二十七日を以て、軍艦を旅順口に入れ、膠州灣租借と同じ條件を以て、旅順口、大連灣の租借を求め、イギリスは盛に之れに抗議せりと雖ども、ロシア公使パウロフ Pavloff の辣腕を以て、其の目的を達し、(一)二十五箇年の期限、(二)東清鐵道を旅順口まで延長の權を定めたり。

イギリスは、先是、東清鐵道會社の成りし時、明治三十年二月四日、ビルマ國境の利益を擴張し、西江をイギリス商人の自由航海に任さしめたりしが、今、ドイツ、ロシアの爲す所を見、特に、ロシアは旅順口を以て貿易港と爲さむを約して、果さず、僅に大連灣を以て、之れに充てたるを見、其の公使マクトナルト Macdonald を以て、清政府に協商する所あり。イギリスは、東洋に於て、飽くまでも、ロシアを敵とせざる可からず、故に旅順對岸の威海衛を租借せんとすれども、山東省は、先きに、ドイツの勢力範

圍に歸したれば、之れと協議して、明治三十一年四月二十一日威海衛に關する兩國の協商を爲し、明治三十一年七月一日威海衛租借の約成る。其の期限は二十五箇年なり。

列國の態度斯くの如きに當り、三國干涉の一員、且つは、清國に對する利害關係、上記三國に譲らざる、フランスの嘿すべきには非らず。明治三十二年二月北京漢江間の鐵道敷設權を確實にし、雷州半島東岸の廣州灣を租借し、其の期限を二十五箇年とし、廣東、雲南、廣西三省の不割讓を誓はしめたり。

イタリヤ亦三門灣を求めしが、許されず、日本は、明治三十二年福建不割讓を約せしめたり。

列國は、各租借地を得たるのみならず、互に勢力範圍の競争を始めたり。鐵道敷設權獲得のこと之れ也。鑛山採掘權の事これ也。

第二節 北清事件

清國は、上述の如くにして、列國が、虎吞狼噬の一大劇場たらむとす。志士は先づ立ちて、變法自強を説き、康有爲、梁啓超の輩朝廷に用ゐられて、光緒帝は、更始維新の事を爲さむとす。然るに其の改革は、餘りに急激なりけ

れば、西太后の如き、痛く之れに反対し、遂に帝を幽閉して、自ら垂簾の政を爲せり。守舊派の勢大に振ひ、遂に廢立の計畫あり、失敗して、康有爲等害に遭ひ、端郡王の子傅儀は皇嗣とせられぬ。守舊頑固なる端郡王の勢力は忽ちにして、舉朝を壓し、變法自強の反動として、興清滅洋の旗幟翻へるに至れり。明治三十三年の春頃より、義和團と稱する者山東省に蠶起し、四月直隸に入り、五月其の勢を猖獗にし、キリスト教徒を虐殺し、鐵道を破壊し、電信を切斷し、外國技師を殺害し、居留民を迫害す。清國は、陽に之れが勦討に力むる如くにして、陰には之れを煽動せるものの如く、端郡王は、其の首魁を以て目されたり。北京駐劄列國公使は、居留民生命財産を保護せむとて、軍艦を太沽に集め、列國の水兵約三百五十名を北京に入らしむ。北京の形勢急なるに及び、列國軍艦會議の上、イギリス東洋艦隊司令長官シーモア列國聯合水兵一千二百を率ゐて、天津を發し、落僂郎坊間に團匪に圍まれ、官兵亦團匪と相應じて、聯合軍に當り、聯合兵大に苦む。此の時、溫和主義の慶親王退き、端郡王獨り政を擅にし、遂に公然團匪と協力して、外人迫害の事を爲し、日本公使館員杉山彬、ドイツ公使ケッレル先づ爲めに斃れぬ。

興清滅洋

義和團

端郡王

聯合軍北京
救援

於是列國は、太沽砲臺を占領し、天津居留地の包圍を解き、福島安正の引率せる日本の援軍到着せるを待ちて、天津を陥れ、次で、イギリス政府の要求に應じ、山口素臣の第五師團を率ゐて、至るあり。此の間、列國の兵漸く増し、ドイツ元帥ワルデルゼーを推して、聯合軍總指揮官たらしめ、日本イギリス合衆國ロシアフランスドイツオーストリアイタリア各國水陸兵合して、一萬五千七百八十人天津を發して、北京に向ひ、張家灣八月十日通州十二日等相次で陥り、八月十四日、北京に入り、公使館救援の事成れり。其の前日帝は西太后と共に太原府山西に蒙塵し、大官皆之れに従ひ、北京は無政府の状態に陥れり。九月三日慶親王北京にかへり、二十日李鴻章全權大使を以て、天津に入りしも、議決せず。次いで、慶親王李鴻章並に便宜行事大臣に任せられ、聯合十國公使は、連名公書十二箇條を作りて、之れを清國の全權に交附せり。

(一)元兇處罰(二)賠償金支拂(三)將來の擔保を以て、主なる條項と爲す。明治三十四年九月七日此の要求書に基きて、列國公使と清國全權との間に、最終議定書の署名成り、前年十月二十六日以來西安府に蒙塵せる、清帝等は、明治三十五年一月七日を以て北京に還へれり。

北清事變定

第三節 日清戰役後の韓國

日本は日清戰役中明治二十七年八月二十日を以て、日韓暫定條約を、其の二十六日を以て日韓攻守同盟を結び、以て、其の獨立扶植内政改良に勤めしが、戰後に至り、井上馨を朝鮮公使と爲し、以て、改革の實を擧げむとせり。

井上公使の京城に赴任するや、施政綱領二十條を定め、先づ中央政府を改革し、次いで地方に及ぼすの策を取れり。其の實行の第一歩として、日本黨の朴泳孝を以て内部大臣とし、閔妃等の一派を斥けたり。時のロシア公使ウーバーは、排日本派を操縦し、以て次第に、韓半島の勢力を握らむとせり。明治二十八年七月七日京城變あり、王妃等權を復し、朴泳孝等僅に身を以て免れ、日本に亡命し、日本政府直に干渉して、又た王妃を斥け、金宏集を總理とし、日本派の内閣を組織せしめぬ。然るに其の九月三浦梧樓の新任公使として赴任せし頃には、王妃等兵力を擁し、漸く日本黨の大臣を排せむとの陰謀を回らせり。日本黨の金宏集、魚允中等は日本の顧問と共に三浦公使に勸めて、先んじて事を始め、大院君を擁して、閔妃を斥けしめむとせり。明治二十八年十月八日大院君は、兵を率ゐ、王宮に闖入し、王妃を殺害し、日本

井上公使の
失敗王妃殺害事
件ロシア兵京
城に入る山縣羅バノ
フ協商小村ウー
バー協商

黨の勢力大に揚れり。然れども、日本政府は、三浦公使以下の不穩なる舉動を是認すべからず、先づ、井上特派大使を遣はして、韓廷を慰問せしめぬ。此の時より、韓帝は、大に日本を怨み、之れに乗じて、ロシア公使ウーバーは、己れに依らしめむと計れり。ロシア黨の首領は、李範晋にして、安駐壽等と共に、春川地方の愚民を煽動して、亂を爲し、京城の兵之れが鎮定の爲に派せられ、金宏集等の兵なきに乗じ、明治二十九年二月十日を以て、ロシア水兵百二十餘名を京城に入らしめ、翌日大に日本派を慘殺せり。此の際國王世子は、國璽を携へて、難をロシア公使館に避け、金宏集以下概ね戮せられ、ロシア黨の勢力大に振ひ、日本黨の勢力は、一朝にして、半島より掃ひ去られたり。

明治二十九年五月ロシア皇帝の戴冠式を行ふに際し、特派大使山縣有朋は、モスクハに於て、其の外務大臣ロバノフ Lobanov と、京城駐劄公使小村壽太郎は、京城に於て、ロシア公使ウーバーと、協商し、日本ロシア協力して、朝鮮の獨立扶植に盡さむと約せり。京城のは五月十四日、モスクバのは九月二十八日を以て、調印を終へたり。此の約は、寧ろ日本の屈服と見るべし、故に、ロシアは、翌年の四月を以て、京城に

其の軍人を送り、日本に代りて、韓國の軍隊訓練の事に當らしめ、日本の違約を詰るや、之れ山縣ロバノフ協約締結以前の約に基くとせり。ロシアの日本を侮辱せるは、之れのみならず、明治三十年十月六日には、アレキシエフ Alexiev を以て度支顧問とし、韓國一切の租税及び監税を監檢指揮せしめむことを以てせされり。當時、イギリス人プラオン度支總裁顧問兼海關總稅務司として、聘せられ、明治二十九年より五箇年の任期中に在り。ロシアは、韓廷をして、之れを解雇して、アレキシエフを用ゐんことをせまり、韓廷之れに従ふや、イギリス軍艦仁川埠頭に現はれ、忽ちにして、其の職を復せられ、アレキシエフは却りて、其の下に位せり。

ロシアの暴慢は、遂に韓廷の嫌忌を來たし、特に、朝鮮獨立協會は、盛に之れに反抗せり。一方朝鮮に於ける不失望と、他方旅順大連の獲得とは、ロシアの政策を變ぜしめ、今は必らずしも、朝鮮を事とするの必要なきを見、明治三十一年四月二十五日、東京駐劄ロシア公使ロトゼン Rozen は、日本外務大臣西德二郎と協商を約せり。此の約によれば、ロシアは日本をして、獨り朝鮮の事に當らしむと雖も、全く其の權を放棄せるには非らず、一旦獲得したる權利は、之れを維持して、日本の必らずロシア

アと協商すべきを規定せり。然れば、日本は全く韓半島の權を得たるに非らざるに、ロシアは既に滿洲に據れり、日本はイギリスと同盟せり、遂にロシアと衝突せざる能はず。滿洲問題起る。

第四節 滿洲問題

ロシアは、聯合軍北京進撃の際早くも、馮賊鎮定を名として、滿洲占領に着手し、黒龍江對岸の愛琿をはじめとし、渾春哈爾濱三成を占領し、金州海城にも及び。既にして、北清事件も結了し、占領の口實なきに至り、明治三十三年八月二十五日、宣言書を發し、秩序恢復次第撤兵の事を行ふべきを言へり。而かも一方に於て、ロシアの極東總督アレキシエフは、奉天將軍增祺との間に十一月九日の第一回密約を爲して、滿洲に於ける鐵道鑛山土地に關して、獨占權を得むとせり。此の約は、批准を見るを得ずして止みしかば、明治三十四年二月、ロシア外務大臣ランズドルフと同國駐在清國公使揚儒との間に第二回密約結ばれ、蒙古新疆伊犁に於ても、鑛山其の他の權を、ロシアが承諾なくして、他國人に與ふるなからしめたり。事恰かも、北清事變善後處分進行中に在り、ロシアの單獨行爲は、列國の抗議する所にして、日本政府は四月一日を以て清廷の回答期限とし、元帥會議を開

き、外務大臣加藤高明之れに列し、大に爲すあらむとす。四月五日ロシアは、此の條約の撤去を宣言せり。次いで、北清事件媾和議定書調印成るや、ロシアは、第三回密約として、(一)三十四年より二箇年内に滿洲全部の撤兵を行ひ、(二)ロシア士官清國軍隊の教練に當るべしと提議せり。之れが爲に斡旋せし李鴻章其の十一月五日を以て死せしかば、此の事、亦遂に成らざりき。翌年一月三十日、日本イギリスの同盟成り、清韓保全を約し三月二十日、ロシアフランス同盟の効力を東洋に及ぼすの宣言あり、東洋の風雲轉急也。

明治三十五年四月八日、ロシアは清國と滿洲還付條約を結び、撤兵の期を分ちて、三期とし、六箇月以内に盛京省より次の六箇月以内に吉林省より最後の六箇月以内に黒龍江省より撤退すべしとせり。其の十月八日は恰も第一期撤兵の期日に當れり、ロシアは唯盛京省西南部の撤兵を行へるのみ。翌年四月八日は第二期撤兵の期日なり、ロシアは其の一部を動かして、北韓境上の守備に充てしのみ、撤兵の事を爲さざりき。當に撤兵を行はざるのみならず、撤兵付帯條件として、七箇條の要求を爲し、東三省を他國に讓與租賃せざることを、營口の税關をロシアの管轄と爲

すべきこと、蒙古の行政組織を變更せざることを以て清國にせまり、若し、之れを容れずば、撤兵せずと云へり。日本の輿論は沸騰せり、世界の公論は、日本の憤慨を是認せり。此の時に當り、北京駐劄ロシア公使レンヂャトは、七月二十日を以て、慶親王王文韶、李經羲、增祺等と第四回の密約を爲し、愈滿洲の主權を蹂躪せり。極東大守アレキシエフは、新に任ぜられて、日本に敵對して、龍巖浦問題を起し、寧ろ挑戰的態度を示せり。

此の年八月十一日、日本は、ロシア駐劄公使栗野慎一郎をして、ロシア政府に交渉せしめ、滿韓に於て、利益の交換を求め、後移されて、東京に於て、外務大臣小村壽太郎とロシア公使ローゼンとの會見と爲り、ロシアは、北緯三十九度以北の韓國領域を以て、中立地帯と爲すを提議せり。其の十月九日、清通商條約新に成り、奉天、大東溝の開放を規定し、合衆國亦奉天及び安東縣の開放の約を得たり、ロシア即ち奉天を占領す。日本は、此の間、幾度かロシアの反省を促せり、ロシアは、頭として、滿洲の主權を蹂躪せり、甚しきに至りては、進みて、對馬、海峽の軍備撤退を約せしめむとせり。日本は、二月五日、勅諭を傳へ、六日を以て、國交斷絶をロシアに

通じ、八月、仁川港にロシア軍艦を砲撃し、其の夜旅順口を襲ひ、十日宣戰の大詔を發せり。

之より日本は陸には遼陽、旅順口、奉天に克ち、海にはバルト艦隊を日本海に殲滅し、連戦連勝せる。曉合衆國大統領ルーズベルトは、仲介の勞を取りて、日本、ロシアを其の國ポーツマスに會商せしめ、明治三十八年五月五日、十五箇條の約を結び、日本は(一)韓國に於て優越權を得、(二)遼東半島の租借權と長春旅順口間の鐵道を譲り、(三)樺太島の北緯五十度以南を復し、(四)沿海州沿岸の漁權を許されたり。日本よりは小村、齋藤、高平、小五郎、ロシアよりはウラシキン、これに調印せり。此の約は日本人の以て、戰勝に伴はずと爲す所にして、東京に於ては、九月上旬の大紛擾ありたり。然れど、先是、八月十二日、日本の公使林董とイギリスの外務大臣ランズダウンとの間に、日本、イギリス同盟の改訂擴張あり、日本はインド方面にも出兵すべき義務あると共に、韓國に於ては、保護權を行ふを得、何國と雖ども、之れに對して異議ある能はざるに至れり。

東洋歴史講義下巻終

東西交渉畧年表

日	年	本	シ	ナ	代		事	績
					西	紀		
孝	安	六	周	顯	前	三二七	アレクサンドル大王インドを侵す	
成	務	十	東	漢	後	一六六	ローマ帝マルクス・アウレリウス使を東漢に遣はす	
仁	德	三	東	晉	三	三七五	フン、ヨーロッパに侵入す	
六	明	十	南	北	五	五五五	ユスチニアヌス帝養蠶の法を傳ふ	
欽	明	六	唐	高	六	六一頃	ササン朝のペロズ唐に奔る	
七	明	頃	周	則	六	八九頃	此の頃よりサラセン商船シナに来る	
持	統	頃	天	授	七	七八四	大秦景教流行中國碑建つ	
朱	鳥	頃	唐	元	八			
桓	武	三	唐	元	九			
延	曆	三	南	宋	十			
後	堀	元	嘉	定	十			
元	仁	元	南	定	十			

大後 永 七帝	十同 奈 四上	十同 良 一上	同	八同 上	七永 正	永後 柏 二帝	帝後 明 七門	六同 頃上	興後 村 三帝
靖明 嘉世 六宗	十同 二上	九同 上	同	六同 上	德明 武 五正	十弘 宗 八治	治明 孝 一弘	五同 頃上	至元 正 二惠 頃宗
一五二七	一五一七	一五一四	一五一一	一五一一	一五一〇	一五〇五	一四九八	一三四五頃	一三四二
アルパロ、新ギネアを發見す	アンドラデ、廣東に到る	ポルトガル人テルナテに據る	ペレストレロ、シナに入る	アルブケルケ、マラッカを取る	アルブケルケ、ゴアを取り總督府を置く	アルメイダ、コチに城く	ワスコダガマ、インドのカリコに到る	イブン・バッタ、シナに入る	マリニョリ北京に到る

三永 仁 二頃	永伏 仁見 二帝	永伏 仁見 二帝	建後 宇 多 元帝	建後 深 長 五帝	寛後 嵯 元 三帝	二同 上	元同 仁 治	三同 上	嘉四 祜 二帝
元元 貞成 元宗	三至 十一 頃元	三至 十一 一元	至元 元世 一祖	元同 寶 年祐	五同 上	和同 元淳	四同 上	元同 嘉 熙	端同 平理 三宗
一二九五	一二九四頃	一二九四	一二七四頃	一二五三	一二四五	一二四一	一二四〇	一二三七	一二三六
マルコボロ、歸途に就く	オドリク北京に到る	モンテ・コルピノ、教會堂を大都に建つ	マルコボロ、カンパリク(北京)に到る	ルブルキ、ハラホルムに到る	ピアノ・カルビニ、ハラホルムに到る	ワールスタトの役	キエフ陥る	キプチャク諸部平ぎモスクバ陥る	パン西征の途に上る

明後 西曆 元帝	承後 光應 元帝	慶後 光安 二帝	寛永 十帝	寛永 十帝	寛永 十帝	寛永 十帝	寛永 十帝	寛永 十帝	寛永 十帝
十順	九順	順清 治世	崇禎 十帝	崇禎 十帝	崇禎 十帝	崇禎 十帝	崇禎 十帝	崇禎 十帝	崇禎 十帝
二治	治	六祖	五禎	二禎	八宗				
一六五五	一六五二	一六四九	一六四三	一六四二	一六四二	一六四二	一六四二	一六三九	一六三五
ロシア始めて使節を清に通ず	カーペンター、カーペンター海を探險す	ハバロフ黒龍江地方を侵略す	ボヤルコフ、黒龍江を探險す	アベル タスマン、タスマニアを發見す	アベル タスマン、新ジーランドを發見す	アベル タスマン、ファン ラーメンス島を發見す	オランダ人海嶼に據る	イギリス人マドラスを得	ヘンドリック ハメル朝鮮近海に破船す

九元	元後 水尾 和	慶後 長陽 十成 五帝	慶後 長陽 十成 五帝	天後 正陽 十成 五帝	天正 親町 七帝	元正 親龜 町 元帝	永正 親祿 町 十帝	弘後 奈治 良 元帝
泰明	四萬	三萬	三萬	十萬	萬明	四隆	隆明	三嘉
昌光	十	十	十		曆神		慶穆	十
八宗	七曆	八曆	四曆	五曆	七宗	慶	元宗	四靖
一六二三	一六一九	一六一〇	一六〇六	一五八七	一五八〇	一五七九	一五七〇	一五六七
邦人イギリス人アンボイナに虐殺せらる	オランダ人バタビアを建つ	イギリス人スラトを得	トルレス、トルレス海峡を發見す	トボルスク市を建つ	マテオリッチ、シナに入る	イエルク、シベリア侵略を始む	レガスビ、フィリピン諸島を占領す	ポルトガル人マカオを獲

天仁 保孝 二帝	十文 政 道清 光宣 七宗	文仁 政孝 二帝 二嘉 十 四慶
一八三一 ウルフ、ブハラに至る	一八二七 トルコマンチャイ條約成る	一八一六 アマースト卿清に使す
	一八二〇 チンコフスキー清に遣はさる	一八一九 スタンフォード・ラッフル、シンガポールを創む
	一八二〇 清國鴉片輸入を禁ず	一八一九 ムラビヨフ、ヒーバに到る
	一八二〇 清國鴉片輸入を禁ず	一八二〇 チグリ、ブハラに到る
	一八二〇 チンコフスキー清に遣はさる	一八二〇 チグリ、ブハラに到る
	一八二七 トルコマンチャイ條約成る	一八二〇 チグリ、ブハラに到る
	一八二八 フランス船、コシエンシーヌ海岸に破船す	一八二〇 チグリ、ブハラに到る
	一八三一 ウルフ、ブハラに至る	一八二〇 チグリ、ブハラに到る

文光 化格 二帝 嘉清 慶仁 十宗	寛光 政格 元帝 五乾 十 三隆	安光 永格 七帝 五乾 十 二隆	安後 桃 永 元帝 三乾 十 七隆	明後 櫻 和 町 七帝 三乾 十 五隆	寶櫻 屑町 六帝 二乾 十 二隆
一八〇五 ゴロフキン、清に使す	一七九三 マカートネー卿北京に使す	一七八七 ルイス十六世、アナム王の使節をまく	一七七四 クック、新カレドニアを發見す	一七七〇 クック、新南ウエールズを探險す	一七五七 ブラッシーの役
	一七八九 エフレンコフ、メルフに侵入す	一七七二 ヘスチングス、ベンカル知事と爲る	一七六〇 ワシントン、ワシントン	一七五六 クライブ、ベンガル知事と爲る	

安孝	四嘉	嘉孝	弘仁
政明		永明	化孝
元帝	永	三帝	四帝
四成	成清	三道	二道
	豐文		十
豐	元宗	十光	七光

一八四三	フランス、ツシエテ島に據る
一八四七	ムラビヨフ、黒龍江を探險す
一八四九	ネヴェルスキ、シベリア東岸を探險す
一八五〇	長髮賊の亂起る
一八五一	クルヂヤ條約成る
一八五三	フランス新カレドニアに據る
一八五四	清國税關起る
一八五四	ムラビヨフ、黒龍江地方を取る
一八五六	イギリス、アフガンと戦ふ
一八五六	アロー號事件起る、フランス宣教師廣西に害せらる
一八五七	インド土民兵亂起る

一八三二	パインス、メルフに到る
一八三四	ネピア卿廣東に到る
一八三四	清國復び鴉片輸入を禁ず
一八三七	ヘラトの圍
一八三七	ウイトキエウイチ、カブールに到る
一八三八	第一アフガン戦争起る
一八三九	清イギリスの通商を停む
一八三九	ペロフスキ、ヒーバ遠征を企つ
一八三九	ドストロムハーメド、逃れ、シャーシッヂメー立つ
一八四〇	鴉片戦争起る
一八四二	南京條約成る
一八四二	ヒーバ第一條約
一八四二	ドストロムハーメド復位す

明治 八 光緒 元

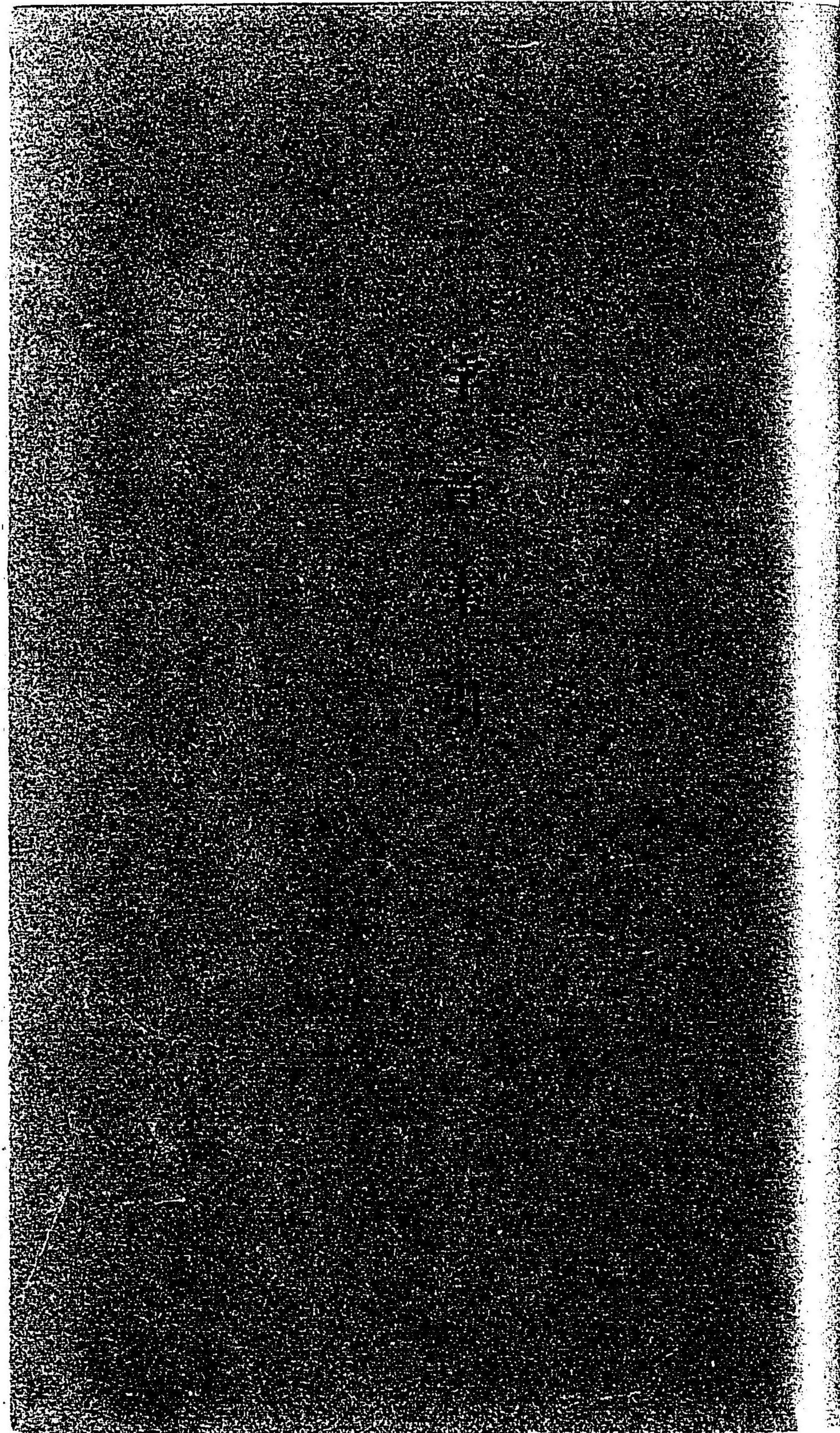
- 一八七四 ロマーキン、外カスピア州を置く
- 一八七四 フランス、ユエ條約を結ぶ
- 一八七五 カウフマン、ホーカンドを取る
- 一八七六 フェルガナ州を置く
- 一八七八 第二アフガン戦争
- 一八七八 合衆國サモアのバゴバゴを得
- 一八七八 イリイ問題起る
- 一八七九 リフチア條約成る
- 一八七九 ガンダマク條約結ばる
- 一八八一 イソイ條約成る
- 一八八一 スコベンフ、ゲオククリテベを陥る
- 一八八三 東京事件起る
- 一八八四 クールペー、福州を侵す

附錄 東西交渉年表

- 一八八四 コマロフ、メルフを取る
- 一八八四 フランス、トンキン・アナムを保護國とす
- 一八八四 ドイツ、新ギネアに據る
- 一八八六 アフガン境界定まる
- 一八八六 清、イギリスとビルマ境界を定む
- 一八八六 イギリス、巨文島を占領す
- 一八八八 イギリス、チベットと戦ふ
- 一八九一 シベリア鐵道を起す
- 一八九二 バミール問題起る
- 一八九五 三國干涉
- 一八九六 カシニイ協約
- 一八九六 小村ウニバー、山縣ロバノフ協約
- 一八九六 東清鐵道起る

一九〇二	ロシア、滿洲還付條約を結ぶ
一九〇三	ロシア旅順口會議を爲す
一九〇三	イギリス大兵西藏に入る
一九〇四	日本ロシアと滿洲問題を議す
一九〇五	日本ロシアと戦ふ
一九〇六	日本ロシアとポーツマスに和す
一九〇六	日本イギリスと同盟を改締す

一八九七	ドイツ宣教師山東省に殺さる
一八九七	ドイツ膠州灣を占領す、ロシア旅順口を占領す
一八九八	膠州灣租借、旅順大連租借、威海衛租借の約成る
一八九八	合衆國マニラを取る
一八九八	西ローゼン協商
一八九九	ドイツ、マリアナス・カロリナス・バラオス島を合衆國より購ふ
一八九九	ドイツ、サモア島中のウブル・サワイを得
一九〇〇	北清事變
一九〇〇	ロシア滿洲を占領す
一九〇一	オーストラリア聯邦政府成る
一九〇一	ロシア、滿洲鐵道を完成す
一九〇二	日本イギリスと同盟す
一九〇二	フランス、メーコン・メナム河間の保護權を棄つ



索引

ア

アグダ	三三	アバカ	一一三・一二八	按察使	一三五・二六二	阿敏	一九五
安堯臣	三六	アルグン	一一三・一二八	アルタイ	一三九	安邦彦	二〇四
アルスランハン	六六	アームド	一一六	安化王賓縉	一四一	安平鎮	二二四
アラクタク	八四	アナンタ	一一八	アラ	一四七	阿瓦	二二九
アラムート	八五	アルタイゾハ	一一八	アルタン	一四九	アームド	二二七
アレボ	八七	アスキバ	一二〇	アリ	一五〇	アストラ汗	二二七
阿伯	八八	アユルチリタラ	一二〇	アルメーダ	一五六	アルバシン	二二九
アリクフカ	八九	アブサイト	一二五	アルブケルケ	一七四	アレキセイ	二二九
アチウ	九一	アシラフ	一二九	アンドラダ	一七五	愛瑋城	二四〇・三二五
阿羅漢	九七	アラウウチン	一三〇	アダムリシール	一七五	アルジン	二四一
アハチ	九九	アフラト	一三二	アレニ	一七七	アフク	二五一
アルマリク	一〇二	アドリアノブル	一三三	愛親覺羅氏	一八三	阿卜都里什特	二五二
アンセルモ	一〇六	アングラ	一三三	阿太章京	一八三	阿玉奇	二五二
				阿布達哩崗	一八八	アロンブラ	二五三・三五〇

索引

ア	アバカ	一二三・二二八	按察使	一三五・二六二	阿敏	一九五
アグダ	アルグン	一二三・二二八	アルタイ	一三九	安邦彦	二〇四
安堯臣	アームド	一一二	安南	一四一	安平鎮	二三四
アルスラシハン	アムルバリバトウ	一一八	安化王賓縉	一四七	阿瓦	二二九
アラクタク	アナンタ	一一八	アラ	一四九	アームド	二二七
アラムート	アルタイプハ	一一〇	アルタン	一五〇	アストラ汗	二二七
アレボ	アスキバ	一一〇	アリ	一五六	アルバシ	二二九
阿伯	アユルチリタラ	一二五	アルメーダ	一七四	アレキセイ	二二九
アリクフカ	アブサイト	一二九	アルブケルケ	一七五	愛輝城	二四〇・三二五
アチウ	アシウラフ	一三〇	アンドラダ	一七五	アルジン	二四一
阿羅漢	アラウウッヂン	一三二	アグムシール	一七七	阿睦爾撒納	二五〇・三二三
アハチ	アフラト	一三三	アレニ	一七七	アフク	二五一
アルマリク	アドリアノブル	一三三	愛親覺羅氏	一八三	阿卜都里什特	二五二
アンセルモ	アングラ	一三三	阿太章京	一八三	阿玉奇	二五二
			阿布達哩岡	一八八	アロンブラ	二五三・三三〇

索引

一

阿桂	二五四	アロー號	三二一	イミル	一〇二
按察使	二六二	愛理條約	三二五	イルハン國	一〇四
アクバル	二七一	アムールスキー	三二六	イブンバツタ	一〇八
アウラカン	二七二	アブサイド	三二八	イッスンチムール	一一〇
アグラ	二七二	アクス	三三五	イリンチバン	一一〇
アラカン王	二七三	アタリクガジ	三三六	イセンブハ	一一一
アンリ四世	二八〇	アイメドシア	三三八	イニチエリ	一一三
アナウエルザリハン	二八六	アフガン帝國	三三八	尹慶	一四三
アーヘン條約	二八七	アプハルハン	三四二	イラン	一五七
アラムチール	二九一	アユブハン	三四四	移宮案	一六七
アラム	二九一	アテラルマン	三四四	一片石	二二二
アマースト卿	二九三	アナム	三五三	イバン三世	二二七
アッサム	二九五	アルマン	三六三	イエルマク	二二七
アウトラム	二九六	アラカン	三六七	イニチゲル	二二七
アルヂン	二九七	アラソン	三六九	イサーク	二五一
アレイン	二九九	荒川巴次	三八七	イブラヒム二世	二六九
アームストン	三〇一	安駐壽	三九七	イスカンデル	二七〇
鴉牙禁	三〇二	アレキシエフ	三九八	インド管理法	二九四
			四〇一		

インド總督	二九四	伊藤博文	三八三	ウリファンカタイ	八八	ウグリ	二七九
インド管理局	二九四	威海衛	三八九	ウチウゲン	一一〇	ウオーレンリヘスチン	二九三
インド政府改良法	二九六		三九〇	ウルヂアイツ	一二九	ウエルスリ卿	二九五
インド女皇	二九六		三九二	ウズベク	一二九	烏崗太	三〇七
奕山	三〇四	ウ		ウルス	一三二	烏石	三〇
奕經	三〇四	ウユオン	四	ウヂウベイ	一三三	ウエレスト	二九三
伊里布	三〇四	ウクナイ	三一	烏梁海部	一四〇	烏爾棍泰	三一四
章昌輝	三〇六	ウキマイ	四二	ウエーラト	一四〇	ウエード	三二二
イグナチエフ	三一八	ウラフ	四二	ウリアンハイ	一四三	ウラチスラウイナ	三二二
イデス	三二一	ウヂウ	四二	于孔兼	一四八	ウラヂウオストク	三二六
イスマイロフ	三二二	ウイグール	四二	蔚山	一六六	ウルフヘク	三二八
イグナチエフ	三二六	ウイグール	四八	宇文虛中	一七二	ウストウルト	三三一
イルパルス	三二九	ウイグール	五二	烏拉	一七九	ウイトキエウイチ	三三一
伊犁塔爾巴哈臺通商章程	三三四	ウイグール	六五	烏爾會河上	一八四	ウルフ	三三二
イニ	三七一	ウルゲンチ	七三	烏爾布通	二四四	ウエレスキン	三三三
井上良馨	三七五	ウルンヤツサ	七六	烏朱穆泰部	二四四	ウエロ	三四六
井上馨	三七八	ウラヂミール	八一	ウズベク族	二四四	ウエルレエ	三五三
尹滋承	三七五	烏嶺	八八		二六九	ウインロン	三五八
					三二八		三六〇

ウエルドン	三六九	英宗元の	一一九	永寧王慈炎	二二三	越南	三五五
上野景紀	三七四	エンチムール	一二〇	永曆帝	二二五	額勒和布	三六四
ウーバー	三九六三九七	エリアスホヂア	一三一	厄魯特蒙古	二四一	閔敬祿	三六四
ウィツテ	四〇二	エルトログルル	一三三	鹽政大臣	三	永宗城	三七五
		エミル	一三三	鹽運使	二六三	袁世凱	三八八
		燕王棣	一三七	鹽法道	二六三	榎本武揚	三八三
		永樂帝	一三	驛傳道	二六三		
		永樂瓜蔓鈔	一三九	閩若璣	二六七		
		英宗明の	一四五	遠國會社	二七七		
		エッセン	一四八	エペール	二八二		
		エンリコ	一七四	エリオット	三〇二		
		葉赫部	一八四一九〇	額勒登保	三〇九	王健	七
		袁應泰	一九〇	エルジン卿	三二三	王審知	七
		袁崇煥	一九四	圓明園	三二七	王欽若	一一
		睿親王	二二二二一六	袁甲三	三二九	歐陽修	一四六〇六二
		英親王	二一七	エンバ河	三三二	王安石	一七六一
		衛允文	二二〇	エミールアルリムメーニン	三三六	王韶	二五
		益王由本	二二三	エレンボロー卿	三四二	溫國公	二八

エ

オ

四

王巖叟	二八二九	王文統	一一六	王家山島	一五九	王之綱	二一八
窩謀罕	三三	オグタイハン國	一〇二	王杼	一六一	王之明	二一九
王氏高麗	三四	オスマン	一三三	王禕	一八〇	王化澄	二二五
王建	三四	オルハン	一三三	王世貞	一八〇	王翺	二三四
王師中	三五	オスマンリ	一三三	王實甫	一八〇	オスチアク部	二三七
王勳	三八	オトラル	一三四	鄂多里	一八三	王士貞	二六七
幹難不	四四四五	應昌	一三四	鄂勤歡	一八四	王三槐	三〇九
汪伯彦	四七四八	王瑛	一四〇	王宣	一八七	オルロフ	三三四
王倫	四九	王景和	一四三	王化貞	一九一	オレンブルグ	三三〇
オナン	六三	オンクチムール	一四四	王象乾	一九二	オイレンブルグ	三五二
オグタイ	六六	王振	一四五	王之臣	一九四	翁同龢	三六四
オトラル	七一	王驥	一四六・一五五	王仁	二〇四	大久保利通	三八一
王楫	七七	汪直	一四六・一六一	王嘉允	二〇四	汪鳳藻	三八六
オルツバリク	七九	王越	一四六	王左掛	二〇四	大島義昌	三八七
オルダ	八一	王守仁	一四七・一七八	王自用	二〇五	オコンナル	三八七
オグルガイミシウ	八四	鄂爾多斯部	一五〇	溫體仁	二〇六	王文詔	四〇一
王堅	八九	王通	一五二	汪喬年	二〇九		
オドリク	一〇八	王瓊	一五七	翁後	二二二		

索引

五

カガ

郭藥師	四二	韓林兒	一三二	官惟賢	一九九	カトマンツ	二五七
完山	三四	韓山	一一二	韓明璉	一九五	鳴爾丹	二五五
桓叔	三三	賈勝	一一九	喀喇沁	一九一	鳴爾丹策睿	二四九
函普	三一	葛郎國	一〇一	界藩城	一八七	カシツカル	二四九
韓忠彦	二九	海陸山	九四	嘉班	一八四	カリアン	二五一
賈易	二八	厓山	九三	海西衛	一八三	カウシタン	二四一
韓維	二八	夏貴	九二	河東派	一七八	カウシタン	二四一
郭遠	二五	開平	九〇	カリコ	一七八	カウシタン	二四一
韓縝	二二	郝經	九〇	韓雍	一五六	甘輝	二三四
韓琦	一四	賈似道	八九	顏彪	一五六	赫業	二三四
郭后	一三	鄂州	八九	カルカ	一五〇	何騰蛟	二二三
夏竦	一三	カルカ河	七四	漢王高煦	一四五	夏萬享	二二三
韓杞	一一	ガズニ朝	七〇	簡定	一四二	韓拱微	二一六
瓦橋關	七〇	カルルク	六五・六六	解紹	一三九	加派三餉	二一一
郭威	七	韓侂胄	五四・五五	カチハンリ	一三二	韓贊周	二一五
韓延徽	二	岳飛	四八・四九	カシツガルハン	一三一	喀爾喀部	二一三・二四二
		韓世忠	四八・四九	郭子興	一一三	寬溫仁聖皇帝	二〇〇

索引 カ、キ

嘉義	二五八	カーチャ	二九三	牙山	三八八	徽宗の紹述	三〇
學士	二六〇	カメル	二九六	海洋島	三八八	金	三三・三四
外務部	二六〇	カスカルト	二九七	蓋平	三八九	弓裔	三四
管理大臣	二六一	郭學顯	三〇〇	海城	三八九	金の太宗	四二
學務處	二六一	カリニアカッシンア	三〇五	カシニニ密約	三九一	魏杞	五三
學務大臣	二六一	河西務	三一七	加藤高明	四〇〇	金の世宗	五三
海軍衙門	二六一	カウフマン	三三四	鳴爾瑪濟農	二〇〇	金の章宗	五四
翰林院	二六二	カルチエカイ	三三五			僞學の禁	五五
學政	二六二	カッチトラ	三三五			キユウブルヤウキン	六二
河道總督	二六三	カプール	三三八			キルギス	六五
管河道	二六三	カバニアリ	三四三			金の廢帝濟	六六
カンワハ	二七〇	カンボヂャ	三四六			キプチャク	七四
カーリコッタ	二七九	嘉隆	三五四	岐	五七	キエフ	八一
カルカッタ	二七九	ガルニエー	三六〇	岐溝	一一	キチツブカ	八七
カシムバザール	二七九	廣東條約	三六二	均輸法	一九	鬼蠻	八八
カーロン	二八〇	ガンベッタ	三六二	曲承美	二三	金蓮川	八八
カルナチック	二八五	開化黨	三七六	熙河路	二五	急關亦得	一〇〇
カルナク	二九二	何如璋	三八二	銀川砦	二六	キプチャクハン國	一〇三
				曲珍	二六		

金帳國	一〇三	金聲桓	二二六	金玉均	三七六・三七八・三七九	グンビリク	一五〇
許衡	一一四	金彌	二三四	九連城	三八〇・三八四	克勒	一五八
規措所	一一八	キョテンリラヤ	二五四	義和團	三九四	クードホープ崎	一七四
ギアスウツチン	一三二	ギアルボ	二五六			虞集	一八〇
キリチー	一三九	旗兵	二六七			瞿武相	二二五
邱福	一三九	金聖歎	二六七			クチュム	二二七
仇鉞	一四七	琦善	三〇三・三〇八			軍機處	二五九
金齒	一五四	耆英	三〇四・三〇六			軍機房	二五九
魏忠賢	一六七・一九四	九龍	三一九			軍機大臣	二五九
季金	一七三	キアフタ	三三二			クライブ	二八五・二八九
金幼孜	一七八	キルギズ部	三二八			クラウエリン	二九四
歸有光	一八〇	キシクハン	三三五			グール	二九七
戲曲	一八〇	キーン	三四一			グチエラト	二九七
輝發	一八四	ギツツラフ	三七四			クリウ	二九八
錦台什	一八五	金輔鉉	三七六			グロ	三三三
錦州	二〇一	金宏集	三七七・三九六			グランド	三三六
許定國	二一八	金允植	三七七			クロボトフ	三三三
九宮山	二二二	魚允中	三七八			クリスタン條約	三三七

クグ

窟哥	一	窟哥	一
クリブ	三三	窟哥	一
虞允文	五二	窟哥	一
クリルタイ	六五・一一〇	窟哥	一
クチュルク	六九	窟哥	一
クトアウツチンムハメト	七一	窟哥	一
俱藍	一〇〇	窟哥	一
クカチムール	一二五	窟哥	一

ケルチア條約	三三	ケライ部	六四	敬謹王尼堪	二二八	景廉	三六四
クラウフアド	三五・三五七	憲宗 <small>モンゴルノ</small>	八四	健跳所	二三四	阮福吳	三六六
クールベ	三六五・三六六	元	九二	乾隆帝	二四九	建福	三六六
クレマンソー	三六五	嚴嵩	一四七	阮文惠	二五七	元世祿	三八五
クールシー	三六六	嚴世蕃	一四七	協辦大學士	二六〇	ケトレル	三九二・三九四
グラント	三八二	阮宏裕	一五三	阮光平	三三〇	慶親王	三九四・三九五
栗野慎一郎	四〇一	班班	一七二	ケンネデー	三三一		四〇一
		元好問	一七九	桂良	三二四・三一八・三二六		
		諺文	一七九	瓊州	三一五		
		揭傒斯	一八〇	恭親王	三一七・三二六		
		建州衛	一八三	ダオクテペ	三三二		
		卦爾察	一八四	ケラト	三四一		
		姜弘立	一八七	阮福映	三五五		
		喬一琦	一九五	阮福皎	三五六		
		原昌令義信	一九六	阮福璇	三五七		
		姜日廣	二一五	阮福璠	三五八		
		揭康熙	二二三	阮文祥	三六一		
		桂王由榔	二二五	協和王	三六三		

ケゲ

索引
ク、ケ、ク、コ

コ

淡河	一	景廉	三六四
古漢城	二	阮福吳	三六六
五代の表	四五	建福	三六六
後梁	四	元世祿	三八五
後唐	五・六	ケトレル	三九二・三九四

ゴア	一七五	吳三桂	二二〇	吳貞毓	二二五	黒山派	二五一
コチ	一七五	高迎祥	二二〇	耿繼茂	二二六・三三〇	廓爾喀	二五五
吳澄	一七八	虎大威	二〇九	公愛星	二二九	黄牧の亂	二五八
胡廣	一八〇	吳襄	二二二	康熙の治	二二九	光祿寺	二六二
高啓	一八〇	格爾珠爾根城	二二二	吳應熊	二三一	國子監	二六二
高則誠	一八〇	黃得功	二二四	耿精忠	二三一	考證學派	二六七
扈倫部	一八三	高傑	二二五	吳世璠	二三二	黄宗羲	二六七
古埒城	一八三	高弘圖	二二五	五華山	二三二	顧炎武	二六七
科爾沁部	一八四・二二三	孔昭	二二五	コエント	二三三	胡渭	二六七
後金	一八五	黃濟	二二九	國性爺	二三五	侯方域	二六七
康應乾	一八七	侯方巖	二二〇	コサク	二三七	康熙乾隆の勅撰	二六七
廣寧	一九一	江寧府	二二〇	ゴロウイン	二四〇	顧祖禹	二六八
高第	一九四	谷可成	二二〇	コルビツァ	二四一	コルベール	二八〇
孔有德	一九七・二三三	黄道周	二二一	渾臺吉	二四一	ゴドユー	二八七
耿仲明	一九七・二二六	黄熙允	二二一	黄教喇嘛	二四一	コンウオリス	二九四
洪山口	一九八	黄斌卿	二二四	固始汗	二四六	虎門	三〇一
黄龍	一九九	吳炳	二二四	高宗	二四七	コーンツォリス號	三〇四
洪承疇	二二三・二二〇		二二五	コチヂァン	二四九	香紅鐘山	三〇五

後晋	五七	洪興季	二二五	交趾	八八・二四二	黄淮	一三九
後漢	五七	高遵裕	二二五	合州	八九	コンチムール	一三九
後周	五七	高氏	二二六	廣王明	九三	胡一元	一四一
吳	五七	黑水靺鞨	三二	碭州	九三	胡套	一四一
吳越	五七	五國	三一	高麗高宗暎	九六	黄福	一四二
後蜀	六八	後百濟	三四	高麗元宗僉	九六	侯顯	一四三
高季興	七	康兆	三四	皇甫傑	九八	江彬	一四七
更戌法	九	護步塔岡	三五	行中書省	一〇五	杭雄	一五七
高梁河	一〇	高永昌	三五	濠州	一一三	胡宗憲	一六二
寇準	一一・二三	高樂師	三五	紅軍	一一三	荒山	一六四
高瓊	一二	呼慶	三六	香軍	一一三	顧憲成	一六六
孔道輔	一四	吳時	三六	コイリチアック	一一三	高攀龍	一六六
拱辰	一四	吳孝民	四三	コンボリボリエ	一一三	紅九案	一六七
胡瑗	一四	康王構	四四・四五	行都指揮使司	一一五	高麗忠烈王	一六八
興慶	一六	黃潛善	四七・四八	胡惟庸の獄	一三六	高麗恭愍王顯	一六八
黃崑山	二三	胡瑗	五六	胡藍の獄	一三六	洪倫	一六八
吳昌文	二三	黃庭堅	六一	黄子澄	一三六	吳惟忠	一七一
吳處坪	二三	高麗王高宗旺	八〇	耿炳文	一三七	顧養謙	一七二

洪秀全	三〇六	吳大徵	三八〇	三垂岡	六	サンクタル	九七
江忠源	三〇九	洪鍾宇	三八四	三司條例司	一八	僧急里	一〇〇
恆福	三二七	洪啓薰	三八五	蔡確	二八	サライ	一〇三
恆祺	三二七	小村壽太郎	三八六・四〇二	朔燕	二八	サルタク	一〇七
ゴルドン	三一九	缸瓦寨	二八九	蔡京	二九	サンシアンダクル	一〇八
黃旗	三二〇	杭州	三九〇	蔡卞	二九	ザイツン	一〇九
黒旗	三二〇	膠州灣	三九二	蔡攸	三八	サンコル	一一六
ゴロフキン	三二二	廣州灣	三九三	殺熊嶺	四五	蔡亂頭	一二二
コルサコフ	三二四	康有爲	三九三	サアン	五一	サフイロウツチンリアブツル	一二八
コフレウスキ	三三四	興清滅洋	三九四	采石	五二	ムーミンリアアルマワイ	一四三
霍爾果斯	三三八	小村ウヰーバー協約	三九七	三蘇	五二	三佛齊國	一四三
コマロフ	三四四			サマン朝	七〇	三保大監	一四四
コンスタンチンファルコ	三四九			サリタイ	八〇	三楊	一四四
コンウヰー	三五三			崔嬭	八〇	崔萬生	一六八
コックス	三七〇			サヨール川	八三	薩都刺	一七六
吳慶錫	三七五					薩爾濟山	一八七
吳長慶	三七八						
甲申の亂	三八〇						

サザ

一一三

三岔口	一八八・二九一	サフテルアリ	二八二	錫訥圖	三九
三方布置の策	一九一	サホヂ	二八三	秦檜	四六・五一
桑巴圖魯	二〇〇	賽尙阿	三〇七	朱熹	五四・五五・五九
左良玉	二〇七・二一九	僧格林沁	三〇八・三二七	史彌遠	五六
左懋第	二一六	蔡牽	三二〇	十三翼の戦	六四
サンサルパドル城	二二三	左宗棠	三一九・三三七	史嵩之	七八
サンドミンゴ城	二二三	戴垣	三二七	シバン	八一
僧格	二四一	サッドザイ家	三八	シタ	八一
薩布素	二四五	サイゴン	三五九・三六〇	シラムン	八四
左右侍郎	二六〇	サイムス	三六一	シウルククテニビキ	八四
左右丞	二六〇	濟物浦條約	三七七	シニクワルヤニバル	八六
參議	二六〇	西郷從道	三八一・三八三	史天澤	九一
崔述	二六七	三國干涉	三九〇	秀山	九三
サマルカンド	二六九	三門灣	三九三	謝枋得	九四
サトナミス	二七三			シツル	一〇〇
サンバヂ	二七五			爪哇	一〇〇・一〇一
サーデト	二七五			シレキ	一一三
サントメ	二七八			シンツル	一一三

シジ

一一三

索引 サ、シ、

史樞	一七七	者藍	一五五	眞寧	二〇七	侍讀學士	二六〇
シヨトバラ	一一九	朱執	一六〇	秦良玉	二〇八	巡撫	二六二
仁宗元の	一一九	徐海	一六一	史可法	二二五	シールハン	二七〇
シオバイヂウ	一一九	史孟麟	一六六	徐弘基	二二五	シアーチアハン	二七一
順帝元の	一一一	辛朮	一六八	潤生	二二九	シク教徒	二七三・二九五
芝蘇李	一一三	辛禍	一六八	肅親王アオゲ	二二二	シアーヤホンヌラ	二七四
徐壽輝	一一三	史儒	一七〇	朱治憫	二二五	シワヂ	二七四
朱元州	一一三	徐光啓	一七〇	信郡王多尼	二二八	シアーアラム	二七五
徐達	一一四・一三四	徐禎卿	一八〇	順承郡王勒爾錦	二二三	シールハンルイガ	二八一
朱能	一三七・一四二	施耐庵	一八〇	朱成功	二二三	シアーヒスタシ	二八一
朱永	一四六	錫伯	一八四	朱克挾	二二六	シアンデルナゴル	二八二
周尙文	一五一	七大恨	一八五	シビル汗	二二七	シアンダサヒブ	二八三
周徳興	一五八	深河	一八八	沙爾瑚達	二二九	シアンヌダルベール	二八四
上海	一五九・二一九	仁祖李倬	一九五	四衛拉部	二四一	シオンシオーア	二九四
思陸	一五五	周延儒	二〇二	準噶爾部	二四一	シッカクリスチナラヤウ	二九六
思倫	一五四	奢崇明	二〇四	朱一貴	二五八	シラン	二九六
思任	一五四	徐鴻儒	二〇四	施世驥	二五八	蕭朝貴	三〇六
思機	一五五	車箱峽	二〇六	諸羅	二五八	徐廣緒	三〇八

徐天徳	三〇九	シモニッチ	三三九	徐光範	三七六・三七八	蘇門答刺王子蘇幹利	一四四
朱潰	三二〇	シエルアリ	三四八	壬午の變	三七七	瑞佐	一六〇
シーモル	三二一	シナム	三四八	徐載弼	三七八・三八〇	鄒元標	一六六
シアブトレース	三二二	シアオブラサトトシ	三五四	事大黨	三七九	ストロガノフ	二二七
シウネー	三二三	シアルレルトマヌ	三五四	宍戸璣	三八二	ステバノフ	二二九
シウミツ	三二六	シエーニョー	三五五	下ノ關係約	三九〇	スパファリ	二二九
シオンヌ	三二六	嗣徳	三五八	沙市	三九〇	スタノボイ	二四一
シアルネー	三二六	シオーギベリ	三五九	シモア	三九四	スパブ	二七三
舟山島	三二六	シワールフエリ	三六三			スチーブンス	二七八
清國税關	三二〇	順安半島	三六三			スラト	二七九
シアートマスブ	二七〇	峇毓英	三六四			スーラーヤアワードガウラー	二八八
四格	三二二	醇親王	三五四			スタウントン	二九八
シルワン	三二七	シオーモン	三六六			スコット	二九八
シァミールの亂	三二七	シルウエイラ	三六七			ストックダード	三三二・三四〇
シァーロク	三二八	シリナム	三六八・三六九			スコベレフ	三三四
シバン	三二八	シミリサ	三六八			スレドワン	三七二
新アレクサンドロフスク	三三一	シラー	三七三				
シァーシウヂァー	三三八・三四一	申穩	三七五				

索引 シ、ス、

ス

向氏	紹聖の紹述	章惇	蕭素	蕭禧	青苗法	前蜀	西夏	邵雍	澶淵の誓	澶州	蕭太后	折杖法	錢謙	石敬瑭	松漢都督
二九	二九	二八・二九	二二	二二	二〇	五七	一五・二五・二六・七四・七六	一四・五八	一三	一一	一〇・一一	一〇	七	六	一
セルデック朝	セルデックトルコ	セバクテキン	の徳宗	西遼	宣和畫院	小蘇	邵宏淵	折彦質	靖康の難	小斛祿	青冢	蕭奉先	清溪	松嶽	蕭納木謹
七〇	七〇	七〇	六八	六八	六二	六一	五三	四四	四三	四一	四一	三七	三七	三四	三三
薛敷教	錢一本	席書	榷筭	世宗明の	蔣貴	宣徳の治	ゼライル	小王子	西廠	錫蘭國王亞列苦奈兒	盛庸	齊泰	常遇春	成宗ラムル	青帳汗
一六六	一六六	一六五	一六五	一六五	一五五	一四五	一五〇	一四九	一四六	一四三	一三七	一三六	一二五	一一三	一〇三
セルランガア城	尙之信	折爾肯	靖南王	聖祖	世祖	尙可喜	盛京	西平堡	清和堡	薛瑄	石蔓子	戚繼光	石星	宣祖朝鮮の	浙黨
二二三	二三二	二三一	二三〇	二二九	二〇三	二〇〇・二〇一・二〇二・二〇三	一九三	一九二	一八七	一七八	一七三	一六三	一七〇	一六九	一六七

セ

遷界令	世宗	ゼルピロン	小金川	尙書	商部	詹事府	船政大臣	蔣士銓	セイド黨	セホイ	ゼリアー	セリンガバタム	向榮	勝保	湘勇	聶傑人	常勝軍	
二三五	二四八	二四〇	二五四	二六〇	二六〇	二六二	二六三	二六七	二七五	二七六・二九五	二九二	二九六	三〇七	三〇八・三一九	三〇九	三〇九	三一九	
蕭孚泗	紹治	セミノ	セシール	宣光府	征韓論	全琫準	聶士成	成愾	邵友濂	西太后	西安府							
三二〇	三四〇	三五七	三五八	三六四	三七五	三八五	三八六	三八八	三八九	三九四	三九五							
孫萬榮	楚	宋の太祖	宋の太宗	曹彬	宋の眞宗	曾利用	曾公亮	宋の仁宗	蘇軾	蘇軾	蘇軾	曾布	宋の徽宗	宋の哲宗	宋江			
一	五七	八・一〇	一〇・一一	一一	一一・一二	一二・一三	一四	一五・一六	二四	二八・六〇	二九・六一	二九	二九	二六	三七			
宋の欽宗	孫傳	宋の高宗	宋の孝宗	宋の光宗	宋の寧宗	蘇洵	曾鞏	蘇舜欽	宋の史家	宋景	宋の端宗	蘇劉義	宗晟	僧道衍	宋忠	曾銳		
四三	四六	四六	五三	五四	五四	六〇	六一	六一	六二	九〇	九三	九三	一三四	一三七	一三七	一五一		

ソ

祖來	一五八	蘇觀生	二二五	楚勇	三〇九	拓跋思恭	一五
祖剛	一五八	孫可望	二二八	總兵保	三二〇	大越	二二
尊道	一五八	曹申吉	二二一	會國荃	三二九三二〇	大黃平	二二
疏石	一五八	索額圖	二二二	蘇州	三二九三九〇	秦封	三二
宋素卿	一六〇	孫延齡	二二二	崇綸	三一九	大理	八八
宋設	一六〇	索諾木	二二四	崇厚	三三七	段智興	八八
曹邦輔	一六二	孫士毅	二二八	會紀澤	三三八三六三	大理	八八
楚黨	一六七	孫永清	二二八	孫毓汶	三六四	澤州	三七
宋應昌	一七〇	總理處	二五九	尊室說	三六六	達魯古城	三五
祖承訓	一七〇	總理衙門	二六〇	宗重正	三七三	大理	四九
宋濂	一七八・一八〇	總理	二六〇	續昌	三八〇	大蘇	六〇
聰容貝勒	一八三	宗人府	二六二	副島種臣	三八〇	大蘇	六〇
蘇克蘇濟河部	一八三	總督	二六二	增祺	三九九四〇一	大蘇	六〇
孫承宗	一九三	漕運總督	二六三			大蘇	六〇
祖大壽	一九七	宋琬	二六七			大蘇	六〇
曹文詔	二〇五	孫文燾	二八七			大蘇	六〇
孫傳庭	二一〇	曾國藩	三〇九			大蘇	六〇
曹化淳	二一一	之清	三〇九			大蘇	六〇

揮國	九七	大策零	二五〇	淡水	三一五	端郡王	三九四
大元帝師	一一六	達瓦齊	二五〇	太沽砲臺	三一五	丹	三八七三八九
ターチ	一二〇	大小和卓木	二五一	ダゲスタン條約	三二七	高平小五郎	四〇二
大明律	一三五	大金川	二五四	タシケント	三三四		
大學士	一三九・二六〇	體仁閣	二六〇	ダクローニア	三四六		
縫紉	一三九	大理寺	二六二	タナヅリ	三五〇		
タルベク	一四〇	大常寺	二六二	タリエンセントロハリス	三五二		
タランノムル	一四〇	太僕寺	二六二	ダリエ	三五九		
大元田盛可汗	一四九	太醫院	二六二	タンカイ	三六六		
グヤン	一五〇	タリキアルフイ	二七一	ダフリン	三六七		
大藤峽	一五六	ガラ	二七二	タウングー王家	三六七		
大禮の議	一六五	ダメルチエリ	二八三	タウマイ	三七一		
太極書院	一七八	ダルージ	二九五	タラーワヂメン	三七二		
臺吉布爾噶圖	一九八	太平天國	三〇六	大院君	三七三三九六		
大清	二〇〇	タイピン	三〇七	竹添進一郎	三七九		
グライラーマ	二四六	達洪阿	三〇七	伊達宗城	三八〇		
グニエル	二四九	譚廷襄	三一四	臺灣事件	三八〇		
達爾札	二五〇	臺灣	三二五三九〇	臺灣處辨條約	三八二		

チチ

陳橋驛	八
陳堯叟	一一
沈括	二二
种師道	三九四四四五
种師中	四三
陳過庭	四六
チウトクリ	六四
チンキスハン	六五
ヂウチ	六六

チアカダイ	六六	チンハ	一五〇	察哈爾	一五〇	陳萬春	二二六
チルフ	六九	チアニベク	一三〇	チーノン	一五〇	忠誠社	二二三
チエベ	六九	ヂッテ	一三一	陳愚	一五二	陳錦	二三四
チオルマゲン	七七	ヂアガタイ	一三一	陳九畴	一五七	濟度	二三四
陳日燮	八九	チムル	一三一	陳東	一六一	哲下尊丹巴	二四二
陳宜中	九三	ゲエラルウツゲン	一三二	沈惟敬	一七〇	チエルニゴフスキー	二三五
陳日烜	九八	チウルクメン	一三二	陳寅	一七二	昭莫多	二四五
陳益稷	九九	陳叔明	一四一	陳彝	一七三	チバ	二四七
陳日燾	一〇〇	陳日燧	一四一	陳懿	一七三	札什倫布	二四六
丁阿兒	一〇〇	陳燭	一四二	チアズ	一七四	中書	二六〇
チアガタイハン	一〇二	陳煒	一四二	齊薩	一八四	中書舍人	二六〇
チアバル	一〇三	陳日焜	一四二	珠舍哩	一八四	知府	二六二
チツンレンツァン	一一五	陳頤	一四二	陳倫	一八九	知州	二六二
中統元寶交鈔	一一六	陳炎	一四二	陳良策	一九二	知縣	二六二
チムダール	一一九	陳天平	一四二	陳繼盛	一九七	西藏	二六六
陳友諒	一二五	陳季擴	一四二	陳奇瑜	二〇六	駐防將軍	二六六
陳友定	一二五	陳祖義	一四三	陳永福	二〇九	チアホルモツゲン	二六八
チエマル	一二八	チアハール	一五〇	札噶特部	二二三	チニイラヒ	二七一

チアハンジン	二七一	ヂウクロ	三五八	ツンアンメルケン	六三	理圖琛	三三二
チタコング	二七三	ヂウブイ	三六〇	ツンメネン	六三	ツルクトマンチアイ條約	三三七
チアハンダール	二七五	ヂウブレ	三六〇	ツルイ	六六	ズラン	三三八
チアンドラナガラ	二八一	チウンバク	三六三	ツア	一一二	ゾーダール	三四八
ヂウマ	二八二	チウゼン	三六五	ツクタ	一一八	ツーラン	三五四
チリツイ	二八二	チッタゴン	三六七	ツチムール	一一〇		
ヂウブレ	二八三	重慶	三七八	ツクカ	一一二		
チザフエルシ	二八六		三九〇	ツクカ	一一九		
チアギール	二九一			ツクカ	一一九		
チツプーサヒ	二九四			ツクカ	一一九		
チンウイ	二九六			ツクカ	一一九		
芝罘	二九八			ツクカ	一一九		
チムコフスキー	三二五			ツクカ	一一九		
チウルクメン部	三二八			ツクカ	一一九		
チフリス總督	三三〇			ツクカ	一一九		
チエルナイエフ	三三三			ツクカ	一一九		
チハンギル	三三五			ツクカ	一一九		
チウラロン	三五三			ツクカ	一一九		

ツツ

テテ

索引

張載	一四・五八	天禧帝	六九	鄭綏	一五三	張承蔭	一八六
程頤	一四・五七	デルベンド	七四	趙秩	一五八	趙夢麟	一八七
提舉官	一四・二八・五七	定宗	八四	天龍寺船	一五八	張鶴鳴	一九一
丁部領	二一	張世傑	九二	張經	一六一	趙率教	一九五
丁璉	二三	趙卯發	九二	趙文華	一六一	丁卯の虜亂	一九六
丁璉	二三	張弘範	九三	張瑰	一六五	張獻忠	二〇五
趙高	二四	趙壁	九六	朝鮮の倭寇	一六四	張縉彦	二一八
趙挺	二五	張立道	一〇〇	鄭貴妃	一六六	田雄	二二〇
鐵圓	三〇	天順帝元の	一〇〇	趙煥	一六六	鄭鴻逵	二二〇
趙良嗣	三四	テンキス	一一一	天堦	一六六	張肯堂	二二一
鄭居中	三六	天完	一一三	趙南星	一六六	鄭芝龍	二二一・二二四
張邦昌	三八	張士誠	一一三	張差	一六七	張國雄	二二一
趙倫	四四	張思道	一二五	挺槃案	一六七	趙光遠	二二一
張叔夜	四六	張玉	一三七	鄭夢周	一六八	鄭成功	二二五・二二七
張凌	四九・五三	張輔	一三七	朝鮮	一六九	鄭彩	二二五・二三三
趙如愚	五四	鄭和	一四三	趙復	一七八	丁魁楚	二二五
テムチン	六三	張太后	一四五	趙孟頫	一八〇	趙布泰	二二八

張國柱	二三一	デッカカン征伐	二七三	鄭昭	三五〇	黨人碑	三〇
鄭經	二三三・二三五	デッカカン	二八六	張樹聲	三六四	姚古	四三
鄭聯	二三三	デオラヂ	二九六	張之萬	三六四	ドグルルベク	七〇
張名振	二三三	長毛賊	三〇七	デットリグ	三六四・三八九	奴隸王朝	七三・三三三
張煌言	二三四	張心祿	三〇七	テナセリム	三七一	ドミトリ	八二
鄭森	二三五	張亮	三〇九	丁汝昌	三七八・三八九	杜世忠	九七
兆雲	二五二・二五二	張世談	三〇九	テンビ	三八九	トゴン	九八
張廣泗	二五四	鄭乙	三二〇	田庄臺	三八九	トカチムル	一一二
テンウルンボ	二五六	天津條約	三二四・三八三	張蔭桓	三八九	トクチムル	一一二
テンケリマイダン	二五七	湖洲	三一五	撤兵付帯條件	四〇〇	トハンチムル	一一二
鄭棟	二五七	定海	三一六			湯和	一一四・一五八
天地會	二五八	張家灣	三一七・三九五			トクタミシウ	一一三
提督	二六六	程學啓	三一九			トグラク朝	一一三
提標	二六六	張居正	二〇三			トグスチムール	一一四
張問陶	二六七	張慎言	二一五			鄧愈	一一五
趙翼	二六七	デーリの太宮殿	二七一			トゴン	一一八
張廷玉	二六八	長齡	三三五	杜威	三	土木堡	一一八
デーリの太宮殿	二七一	デフアルジウ	三四九	東丹國	三	刀幹孟	一五四

ハババ

白狼水	一	バイサンクホル	六三	ハイツの亂	一〇九	バルチ	一五〇
馬般	七	ハブルハン	六三	ハイツ	一一一	馬騏	一五一
潘美	一〇	バルタンパージュル	六三	ハシ	一一一	盤羅茶全	一五二
白馬嶺	一〇	バルチウナ平原	六四	ハンツム	一一二	盤羅茶悅	一五三
范仲俺	一四	バダクシアン	六九	ハダン	一一三	伯温	一五三
范祖禹	二八	ハラホリム	七九	ハイシアン	一一三・一一八	ハエチ	一五六
拔乙門	三一	バチン	八〇	バトマンパツ	一一五	八幡船	一六三
馬政	三五	バツ	八〇	バイヂウ	一一九	バスコダガマ	一七四
白水濼	三八	バイダル	八一	バヤン	一二一	バントーハ	一七六
ハラヒタイ	四一・六八	バチオン	八一	ハマル	一二五	馬定國	一七九
馬忠	四四	ハッサンサバー	八五	バルカイ	一二八	范曄	一八〇
幕天坡	四四	バグダド	八七	ハルベンデ	一二九	馬祖常	一八〇
范瓊	四六	白蠻	八八	ハサロモハイエツゲン	一三〇	哈達	一八四
梅堯臣	六一	范文虎	九二	バチアジッド	一三三	八旗	一八五
范成大	六一	バヤン	九二・一二二	バトサラソルミ	一三四	馬林	一八七
ハイヅ	六三	八百媳婦國	一〇一	馬彬	一四三	潘宗顏	一八七
		白帳汗	一〇三	哈密衛	一四四	馬世龍	一九九
		バイヂウ	一〇七	八虎	一四六	媒山	二一一

索引 ハ、セ、

巴約特部	二二三	バルネウエルト	二七七	花房義質	三七七
巴林部	二二四	バトナ	二七九	馬建忠	三七八
馬士英	二二五	パロン	二八一	パウロフ	三九二
馬世耀	二二一	ハッサン	二八三	林董	四〇二
貝子羅託	二二八	バトナの役	二九二	裴伯耆	一四一
白文選	二二九	パーウツル	二九一	萬世德	一七三
ハバロフ	二三八	ハウロツク	二九六		
ハバロフカ	二三八	ハイデルアリ	二九六		
巴海	二三八	パンチアフ合併	二九七		
バイコフ	二二九	パロー	二九八		
パンヤニラマ	二四六	バッターシ	三〇一		
班	二五〇	バーカー	三〇四		
バルハンウツチンホヤア	二五〇	巴清德	三〇七		
	二五一	白蓮教	三〇九		
	二五二	八卦教	三一〇		
梅文鼎	二六八	ハリーリリパラス	三一三・三五二		
バベル	二六八	バルマーストン	三一三		
バニバト	二六九	柏貴	三一三		
		八里橋	三一七		
		バーゼウイン	三一九		
		ハバロフカ	三二六		
		バベル	三二八		
		パインス	三三三・三四一		
		バラクサイ家	三三八		
		パロフスキイ	三四〇		
		ハラク島	三四〇		
		バミール	三四四		
		バルリウ	三四八		
		パンコク	三五〇		
		バーネー	三五二・三七一		
		バージウ	三五九		
		パランカ	三五九		
		ハノイ	三六〇		
		パウイヤイ	三六九		
		バツメン	三七〇		
		バンソン	三七二		
		ヒタイ			
		八部			
		の太祖			
		の太宗			
		閩			
		ビアノカルピン			

ビルヂベク	一三〇	関謙鎬	三七六	福康安	二五七二五八
賓尹	一六六	関泳翽	三七九	文華殿	二六〇
非東林黨	一六六	ヒトロボ	三八七	文淵閣	二六〇
皮島	一九〇			武英殿	二六〇
ビブレ	二七九			分守道	二六三
ビュッシー	二九〇			分守道	二六三
ビンダリス	二九五二九七			府尹	二六三
ヒューグフ	三〇四			フマユン	二七〇
百齡	三〇〇			フルラン	二七一
ヒーバ汗國	三二九			フルルクシャーヤル	二七五
ヒエロニモ	三四六			フイツチ	二七八三六八
ビニョー	三五四			ブロートン	二七九
ビシオー	三六四			ブローチエリ	二八一
ビロー	三六六			ブルローテラランド	二八一
ビエンラン	三六六			ブラッシー	二八九
ビルマ戦争	三六七			ブクサル	二九二
関妃	三七六			フランシス	二九四
関致祿	三七六			ブレイマー	三〇三

フ、フ、フ

富弼	一四	フユク	八一八四	福建安正	三九五
富良江	二五	フラグ	八四	福建不割讓	三九三
文彦博	二八	フビライ	八四八八	文祥	三八一
ブラカ	四九	文天祥	九二九四	福建不割讓	三九三
ブルハン山	六三	武宗元の	一一八	福島安正	三九五
ブルテチナ	六三	文宗元の	一二〇		
フズオルド	六八	ブルサ	一三三		
ブルガル	七四	傅友德	一三四		
フチウ	八〇	布政使	一三五二六二		

フアウエンレウエーク	三五八	福揚古	二四五	福康安	二五七二五八
ファイラストル	三六一	胡圖克圖	二四二	文華殿	二六〇
ブルー	三六三	費揚古	二四五	文淵閣	二六〇
ブルーエ	三六三	ブリチナラヤン	二五五	武英殿	二六〇
フルニエ	三六四			分守道	二六三
ブリッリン	三六五			分守道	二六三
フレイシネ	三六六			府尹	二六三
フエリベ	三六七			フマユン	二七〇
フリートウード	三六九			フルラン	二七一
フニール	三七二			フルルクシャーヤル	二七五
文祥	三八一			フイツチ	二七八三六八
福建不割讓	三九三			ブロートン	二七九
福島安正	三九五			ブローチエリ	二八一

フアンストラウベニー	三三三	ブラオン	三九八	ペンヤシリ	一三九
プチアチン	三二四三二六			平緬	一五四
ブルブロン	三二五			平海衛	一六三
ブルース	三二五			ペレストンロ	一七五
ブルー	三二二			ペンクダレ	二二九
ブラゴウイェスチエンスク	三二二			平南王	二三〇
ブハラ汗國	三二二			平西王	二三〇
フェルガナ	三二四			ペレイフ	二四〇
ブズールク	三二六			兵備道	二六三
フォルシス	三三六			ベنگガル	二七九
ブツオフ	三三八			ペートン	二八五
ブライドン	三四二			評議員	二九四
ブレアンシアン	三四六			ヘスチングス卿	二九五
ブノンベン	三四七			ベソン	二九八
ブレアンゾオン	三四七			ベンチンク卿	三〇一
ブローテラランド	三四八			馮雲山	三〇六
ブラフレトラクナ	三四九			北京條約	三二八三二六
フヤタック	三五〇			ベコウイチ	三三〇

ハ、ハ、ハ

フアウエンレウエーク	三五八	馮道	四	平南王	二三〇
ファイラストル	三六一	米脂	二六	平西王	二三〇
ブルー	三六三	ペイレ	三三	ペレイフ	二四〇
フルニエ	三六四	平地松林	三六	兵備道	二六三
ブリッリン	三六五	米芾	六二	ベングガル	二七九
フレイシネ	三六六	ベラサグン	六八七三	ペートン	二八五
フエリベ	三六七	ベラ四世	八三	評議員	二九四
フリートウード	三六九	驪國	九七	ヘスチングス卿	二九五
フニール	三七二	白古	九七	ベソン	二九八
文祥	三八一	ベルガチアル	一一二	ベンチンク卿	三〇一
福建不割讓	三九三	ペイバルス	一二八	馮雲山	三〇六
福島安正	三九五	馮勝	一三四	北京條約	三二八三二六

ミロー 三六五
三浦梧棲 三九六

ム

ムーチンスルツィ 六四
ムフリ 六八
ムラヒダ 八五
ムヌガン 一一二
ムラッド 一三三
ムガール 二六八
ムールシエドアバド 二九〇
ムラビヨフ三三四三三〇
ムハメド 三三九
陸奥宗光 三八七

メ

メルキ部 六四
メルフ 七三
メイムンデス 八六
緬國 九七
明宗元の 一一〇
明玉珍 一二四
明昇 一三四
緬甸 二二九
メルビール卿 二九七
メイトランド提督 三〇一
メルフ 三三四
明命 三五六
メンラサギー 三六七
メルグイ 三七一

モ

莫賀弗勿干 一
孟知祥 七
モンゴル 六二・二六八
孟珙 七八
モスタシレ 八四
モンテコルビノ 一〇八
沐晟 一四二・二五二・二五五
モリハイ 一五〇
莫登庸 一五三
沐英 一五四
沐春 一五四
孟養 一五五
木邦 一五五
毛澄 一六五
モンゴル文字 一七九
毛文龍 一九〇

三三

猛如虎 二〇八
猛臘 二二九
蒙古四十九旗 二四三
モミトツアブラ 二五四
蒙古 二六五
毛奇齡 二六七
モハメドシャー 二七五
モルッカ會社 二八〇
モルチグアリー 二八三
モールン 二八四
モンソン 二九四
モンチーバン 三一六
森有禮 三七六
モルレンドルフ 三七八
毛昶熙 三八一

ヤ

ヤサウル 八六
ヤコブスロー 一七七
野人術 一八三
ヤクーツク 二三八
雅克薩 二二九
ヤクブペイ 三三六
ヤクブハン 三四三
ヤンケハズバンド 三四五
ヤークウイー 三五二
ヤンダフー條約 三七一
柳原前光 三八〇
山口素臣 三九五
山縣羅バノフ協商 三九七

ユ

楡木川 一四一
俞大猷 一六二
諭德順 一六六
熊廷弼 一八九・一九三
尤世威 二〇七
熊文燦 二〇七
裕親王福全 二四四
勇兵 二六六
裕謙 三〇四

ヨ

楊行密 七
楊遵勛 二二

姚

姚古 四三
姚樞 八八・二七八
楊庭堅 一〇〇
楊士奇 一三九・二四五
楊榮 一四五
楊溥 一四五
楊廷和 一六五
與獻王 一六五
豫不揚 一六六
楊方卒 一七二
楊綱 一七二・一八六
楊宋 一七八
姚江派 一七八
揚載 一八〇
揚維植 一八〇
揚子奇 一八〇
楊慎 一八〇
姚宗文 一九〇

ラ

楊應龍 二〇三
楊鶴 二〇四
楊文岳 二〇九
豫親王トド 二一七
楊廷麟 二二三・二三五
雍正帝 二四九
楊芳 三〇四
楊秀成 三〇六
楊遇春 三一一
葉名琛 三一一
揚華津 三八四
楊儒 三九九
葉向高 一六六・一九二
洛黨 二八

來流水	三三	藍廷珍	二六八	ランズドルフ	三九九	李昇	八
羅羅斯	八八	ラヤアブタラの亂	二七三	ランズダウン	四〇二	呂夷簡	一三
來來	一〇〇・一〇一	ランカスター	二七九			李彝興	一五
ラーマ	一一五	ラハーエ	二八一			李繼筠	一五
ランダルマ	一一五	ラブレウオスキエール	二八二			李繼捧	一五
ラーマバンヂタ	一一五	ライヒ	二八二			李繼偃	一五
ラーマバヌバ	一一六	ラゴチボンスラ	二八三			李德明	一五
ラシッド	一二九	ラプールドンネー	二八四			李元昊	一五
藍玉	一三四	ラムナールン	二九一			呂惠卿	一九二七
藍玉の獄	一三六	羅澤南	三〇九			劉忱	二二
賴恩	一六〇	ラング	三三二			李知順	二二
ラーマバヌバ	一七九	ラサチラト	三四六			李公繼	二四
螺山	二〇三	ラビシユ	三四七			李日尊	二四
羅汝才	二〇六・二〇九	ラ格蘭ヤエール	三四八・三六〇			李乾德	二四
老薩	二二二	ランペール	三四八			李諒祚	二五
拉薩	二四六	ラシヤブリエー	三五三			李秉常	二五
拉薩汗	二四七	ラビエール	三五八			李憲	二五
ラリア	二五七	ラグルネー	三六二			呂公著	二七

呂陶	二八	劉豫	四九	李恆	九九	李仁任	一六八
劉摯	二八・二九	臨安	四九	劉福通	一一二	李如松	一七〇
劉安世	二八	劉錡	四九	李二	一一三	李應試	一七〇
呂大防	二八	李顯忠	五三	李思道	一一五	李如柏	一七一・一八七
劉瑗	二九	理學	五六	劉益	一二五	龍山	一七一・一八八
李處溫	三八	陸九淵	五九	李文忠	一三四	劉綰	一七二・一八七
劉延慶	三九	陸游	六一	李景隆	一三七	李如梅	一七二
李靖	四〇	李公麟	六二	李興	一四三	李舜臣	一七三
李乾順	四一	呂謙	六二	劉瑾	一四三	李之藻	一七三
劉彥宗	四二	リッザン	八一	劉健	一四六	劉基	一七八・二八〇
李綱	四三・四六	リッグニツ	八一	柳升	一四六	李東陽	一八〇
李邦彥	四三	劉整	八二	劉江	一五二	李夢陽	一八〇
李稅	四三	呂文德	九一	李天寵	一六一	李攀龍	一八〇
呂好問	四四	呂文煥	九一	李遂	一六二	李成梁	一八三
隆德府	四五	劉秉忠	九二	劉顯	一六三	李永芳	一八六
李回	四五	李庭芝	九二	李成桂	一六四・一六八	劉招孫	一八九
劉安	四六	陸秀夫	九三	李可灼	一六七	劉遇節	一八九
李若水	四六	林衍	九六	李遷侍	一六七	李如楨	一八九

旅順口	三九二・一九三	李好	二一九	隆文	三〇四	劉永福	三六三・三六四
李适	三三八	李巖	三三一	林鳳祥	三〇八	リウイェール	三六三
劉興祚	一九五	劉芳亮	三三一	劉之協	三〇九	李鴻藻	三六四
劉興治	一九七	劉進忠	三三二	李長庚	三二〇	リーツ	三六八
劉之綸	一九八	李永茂	三三三	林阿發	三二〇	李昱應	三七三
李九成	一九九	劉同升	三三三	李文清	三二〇	李裕元	三七七
李自成	二〇五	李成棟	三三六	李清之	三二〇	琉球事件	三八二
李建泰	二一一	李之允	三二七	李明太	三二一	李竣容	三八四
劉宗敏	二二二	李定國	二二八・三二九	リード	三二一	李文永	三八五
林丹汗	二二三	李木琛	二三一	リード	三二一	李範晋	三九七
呂大器	二二五	林爽文	二五八	李鴻章	三二七	李經義	四〇一
劉孔昭	二二五	理藩院	二六一	劉銘傳	三二九	龍巖浦問題	四〇一
劉澤清	二二五	綠旗	二六六	劉承允	三三〇		
劉良佐	二二五	李漁	二六七	劉銘傳	三三〇		
李沾	二二五	律曆淵孫	二六八	劉承允	三三〇		
劉肇基	二二七・三二〇	リッシュリッ	二八〇	綠旗兵	三三〇		
李際遇	二二八	リックロフ	二八一	リソヂア條約	三三七		
劉洪起	二二八	林則徐	三〇二・三〇七	リゴル	三六〇		

ル

ルセツ	四九	遼	三二二	黎暉	一五三	黎庶昌	三七八
ルブルキ	一〇六	遼の聖宗	一・二・三	黎西榜	一五三	梁啓超	三九三
ルソン	一七五	黎桓	二四	黎應	一五三	連名公書	三九五
ルイス十四世	二八〇	黎龍鉞	二四	黎寧	一七五	レッサ	四〇一
ルノア	二八二	黎龍廷	二四	レガスビ	二一八		
ルイス十五世	二八三	黎明堤	二四	黎維視	二五七		
ルイボ條約	三四九	黎明利	二四	黎維備	二五七		
ルイス十八世	三五六	梁燾	二八・二九	黎維祁	二五八	六盤山	七六
ルイヌフイリ	三五七	遼の興宗	三三	練兵處	二六一	ロックンツァン	八六
ルフヅウル	三五八	遼の道宗	三三	練軍	二六六	盧世榮	一一六
ルミールドワイレル	三六二	梁芳平	四三	冷天祿	三〇九	ロヨラ	一七六
		廉洛關閩の學	六〇	レ	三二一	ロンゴバルデ	一七七
		遼の五京		黎文悅	三五六	盧象昇	二〇一・二〇六
		廉希憲	一一二	禮親王	三六四	潞王常澐	二一五
		黎利	一五二	諒山	三六五	魯王以海	二二一
		黎瀨	一五二	レヂス	三七四	勒克德渾	二二三

索引ル、レ、ロ、リ

ローマン家	二三八	ワニヤン	三一
ロフサンカルサン	二五六	ワングハン	六四
六部	二六〇	ワニヤンチンフヤン	七七
ロチ朝	二六九	ワールスタット	八三
ロー	二八二	倭寇	一五八
ローレンス	二八七	ワリニアノ	一七六
ロバーツ	二九九	ワシリイ三世	二三七
ロルチフ船	三一一	ワシペンヌ	二八〇
ロバートロハート	三二二	ワシタワシ	二九〇
ロマキン	三三四	ワシタールト	二九二
ロバーツ	三四三	ワリハン	三三五
ロウユク	三四六	ワトド	三一九
六昆	三五〇	和春	三一九
露清銀行	三九一	ワニエー	三五五
ローゼン	四〇一四〇二	ワルデルゼー	三九五

ワ

畫引索引

ロマーノフ家	二三八	ワ	
ロフサカカシヤン	二五六		
六部	二六〇	ソニヤン	三一
ロデ朝	二六九	ワングハン	六四
ロー	二八二	リニヤンチンノアミン	七七
ローレンス	二八七	ワールスタット	八三
ロバート	二九九	倭寇	一五八
ロルチ船	三一一	ソリニアノ	一七六
ロートロハート	三二一	ワシリイ三世	二三七
ロマキン	三三四	ワンペンヌ	二八〇
ロバート	三四三	ワシタワシ	二九〇
ロツク	三四六	ワシタワシ	二九二
六昆	三五〇	ワリハン	三三五
露清銀行	三九一	ワード	三一九
ローゼン	四〇一・四〇二	和春	三一九
		ソニエー	三五五
		ワルデルゼー	三九五

畫引索引凡例

- 一、同畫内の排列は五十音順による。
- 二、漢字の音は、口語のままに書き順はしたり。
- 三、草冠をば四畫とせざして二畫とせるをばはじめ概ね文字のままに畫を數へたるところ多し。
- 四、此の索引にて發音を知り五十音索引にて其の所在を探る如くにせり。
- 五、此の索引は上、下兩卷に通じたれば其の心得あるべし。

一畫	一	十一畫	六一	二十一畫	一一〇
二畫	一	十二畫	七一	二十二畫	一一一
三畫	二	十三畫	七八	二十三畫	一一二
四畫	六	十四畫	八五	二十四畫	一一三
五畫	一四	十五畫	九〇	二十五畫	一一四
六畫	一九	十六畫	九六	二十六畫	一一五
七畫	二四	十七畫	一〇二	二十七畫	一一六
八畫	三五	十八畫	一〇四	二十八畫	一一七
九畫	四六	十九畫	一〇七	二十九畫	一一八
十畫	五三	二十畫	一〇九	三十畫	一一九
				三十一畫	一二〇
				三十二畫	一二一
				三十三畫	一二二
				三十四畫	一二三

畫引索引

一畫

一臺 イチダイ
一片石 イッペンセキ

二畫

乙毗射匿可汗 オツビシキハーン
乙毗鉢羅葉護可汗 オツビハツラヨゴハーン
乙毗咄陸可汗 オツビトツロクハーン
九州 キューシウ
九服 キューフク
九原 キューゲン

畫引索引 一畫 二畫

九錫 キューシツク
九寺 キュージ

九龍 キューリウ
九宮山 キューキウサン

九連城 キューレンゼウ
十二牧 ジューニボク

十四國 ジューシコク
十五郡 ジューゴケン

十六國 ジューロクコク
十道 ジュード

十惡 ジューアク
十姓 ジューセイ

十節度使 ジューセツタクシ
十五道 ジューゴド

十三翼 ジューサンヨク

畫引索引

一畫

一臺 イチダイ
一片石 イッペンセキ

二畫

乙毗射匿可汗 オツビシアキハーン
乙毗鉢羅葉護可汗 オツビハツラヨゴハーン
乙毗咄陸可汗 オツビトツロクハーン
九州 キウシウ
九服 キウフク
九原 キウゲン

畫引索引 一畫 二畫

九錫 キウシヤク
九寺 キウジ
九龍 キウリウ
九宮山 キウキウサン
九連城 キウレンゼウ
十二枚 ジウニボク
十四國 ジウシコク
十五郡 ジウゴケン
十六國 ジウロクコク
十道 ジウドー
十惡 ジウアク
十姓 ジウセイ
十節度使 ジウセツタクシ
十五道 ジウゴドー
十二翼 ジウシヤク

丁零 テイレイ
丁氏 テイシ
丁明 テイメイ
丁奚城 テイケイゼウ
丁部領 テイブレフ
丁璉 テイレン
丁瑨 テイエイ
丁卯の虜亂 テイボ一のリョラン
丁魁楚 テイカイン
丁汝昌 テイジョセフ
丁阿兒 チンアル
刀幹孟 トーカンモ
二王 ニオー
二世皇帝 ニセイコーテイ
二道關 ニドールカン
八元 ハチゲン
八愷 ハチガイ
八陣圖 ハチジンツ

八王の亂 ハチオーのラン
八議 ハチギ
八百媳婦國 ハチヒアクソクフコク
八虎 ハツコ
八幡船 ババンセン
八旗 ハッキ
八卦教 ハツケケフ
八里橋 ハチリケフ
力役 リキエキ

三畫

于闐 ウテン
于定國 ウテイコク
于闐王廣德 ウテンオーコートク
于孔兼 ウコーケン

九都 ガンド
下相 カソ
下邳 カヒ
下博 カハク
乞伏 キップク
乞伏國仁 キップクコクジン
乞伏乾歸 キップクケンキ
乞伏公府 キップクコフ
乞伏熾磐 キップクシクバン
口賦 コーフ
山戎 サンジョ
三皇五帝 サンゴゴテイ
三公 サンコ
三孤 サンコ
三壽國 サンジョコク
三恪 サンカク
三監 サンカン
三十六郡 サンジョロクケン

三韓 サンカン
三藏結集 サンゾーケッショ
三省 サンセイ
三經 サンケイ
三彌山 サンミサン
三受降城 サンジョウジョ
三武の禍 サンブのワザワヒ
三垂岡 サンスイコ
三司條例 サンシゼフレイシ
三蘇 サンソ
三佛齊國 サンブツセイコク
三保大監 サンホタイカン
三楊 サンヨ
三岔口 サンホンコ
三方布置 サンポフチ
三國干涉 サンコクカンセフ
三門灣 サンモンワン
子思 シシ

子嬰 シエイ
子午谷 シゴコク
士 シ
千畝 センポ
千泉 センセン
小乘 セフゼフ
小沛 セフハイ
小伽耶 セフカヤ
小獸林王 セフジウリンオー
小太宗 セフタイソ
小斛祿 セフコクロク
小蘇 セフソ
小王子 セフオーシ
小金川 セフキンセン
上黨 ゼウト
上谷 ゼウコク
上郡 ゼウグン
上官桀 ゼウカンケツ

上邽 ゼウケイ
上官儀 ゼウカンギ
上海 シアンハイ
大荔 タイレイ
大原 タイゲン
大尉 タイイ
大澤郷 タイタクキョ
大行王恢 タイゴロオーカイ
大月氏 タイゲツシ
大宛 タイエン
大夏 タイカ
大乘 タイジョ
大秦 タルシ
大秦王安敦 タルシオーアントニヌス
大小榆谷 タイセウユコク
大興城 タイコーゼウ
大遼便 タイラベン
大義公主 タイギコーシツ

大同城 タイドーゼウ
大伽邪 タイカヤ
大食 ターシ
大行城 タイコーゼウ
大度設 タイドセツ
大燕皇帝 タイエンコーテイ
大理 タイリ
大祥榮 タイソエイ
大武藝 ダイブゲイ
大欽茂 タイキンモ
大仁秀 タイジンシウ
大秦寺 タイシンジ
大黃平 タイコーヘイ
大越 タイエツ
大蘇 タイソ
大元帝師 タイケンテイシ
大明律 タイミンリツ
大學士 タイガクシ

大元田盛可汗 タイゲンデンセイハーン
大藤峽 タイトクフ
大禮の議 タイレイのギ
大清 タイシン
大策零 タイチーリン
大小和卓木 タイセウホヂャム
大金川 タイキンセン
大理寺 タイリジ
大院君 タイインクン
大常寺 タイゼフジ
刁子都 テフシト
刁協 テフケフ
土門 ドモン
土默特 ツメト
土木堡 ドボクホー
土謝圖汗 トセトハン
土爾扈特 トルホト

四畫

尹吉市 インキッポ
 尹翁歸 インオーキ
 尹勳 インクン
 尹冲 インチウ
 尹子奇 インシキ
 尹慶 インケイ
 尹滋承 インジセフ
 厄魯特蒙古 エルトモロコ
 王縮 オーカン
 王陵 オーロコ
 王儉 オーケン
 王温舒 オーオンジ
 王培 オーセウ
 王昭君 オーシヨクン

王莽 オーモ
 王鳳 オーホ
 王氏 オーシ
 王章 オーセウ
 王音 オーオン
 王曼 オーマン
 王商 オーセウ
 王根 オーコン
 王守 オーウ
 王匡 オーキョ
 王尋 オージン
 王邑 オーユ
 王郎 オーロ
 王霸 オーハ
 王饒 オーゲウ
 王景 オーケイ
 王甫 オーホ
 王國 オーコク

王充 オージョ
 王濬 オーエ
 王渾 オーコン
 王戎 オージョ
 王興 オーヨ
 王如 オージョ
 王衍 オーエン
 王敦 オートン
 王導 オード
 王坦之 オータンシ
 王猛 オーモ
 王恭 オーケウ
 王儉 オーケン
 王僧辯 オーソーパーン
 王峻 オーシウ
 王薄 オーハク
 王須枝 オーシウ
 王威 オーイ

王世充 オーセイジョ
 王君廓 オークンカク
 王珪 オーケ
 王玄策 オーゲンサク
 王方翼 オーホーヨク
 王伏勝 オーフクセウ
 王希遷 オーキセン
 王守澄 オーシウ
 王仙芝 オーセンシ
 王行瑜 オーコーユ
 王肅 オーシウ
 王弼 オーヒツ
 王通 オーツ
 王勃 オーボツ
 王昌齡 オーセウレイ
 王維 オーイ
 王義之 オーギシ
 王翦 オーセン

王屹 オーキツ
 王稽 オークイ
 王賁 オーホン
 王承宗 オーセウソ
 王武俊 オープシツ
 王昱求 オークキツ
 王孝傑 オークケツ
 王忠嗣 オーチウシ
 王信 オーシン
 王暢 オータフ
 王浚 オーシツ
 王孫滿 オーソマン
 王黃 オーク
 王元 オーゲン
 王元諤 オーゲンモ
 王健 オークン
 王審知 オーシンチ
 王欽若 オーキンジャク

王安石 オーアンセキ
 王韶 オーセフ
 王巖叟 オーゲンソ
 王建 オークン
 王師中 オーシチュウ
 王勰 オーセフ
 王倫 オーリン
 王徽 オーシウ
 王堅 オークン
 王文統 オープント
 王瑛 オーエイ
 王景和 オークエイ
 王振 オーシン
 王暉 オーク
 王越 オーエツ
 王守仁 オーシウジン
 王通 オーツト
 王瓊 オークエイ

王家山島 オーカサント
 王杼 オーヂ
 王祿 オーイ
 王世貞 オーセイテイ
 王實甫 オージッポ
 王宣 オーセン
 王化貞 オークアテイ
 王象乾 オーセフケン
 王之臣 オーシシン
 王仁 オージン
 王嘉允 オークアイン
 王左掛 オーサケイ
 王自用 オーハクヨ
 王之綱 オーシコ
 王之明 オーシメイ
 王士貞 オーシテイ
 王化澄 オークアテフ
 王翊 オーヨク

王三綱 オーサンコ
 王文韶 オープンセフ
 今文尙書 キンファンセウシヨ
 牛僧孺 キウソウジツ
 牛莊 ニウヂャン
 弓仁 キウジン
 弓裔 キウエイ
 仇池 キウチ
 仇士良 キウシリョ
 仇鉞 キウエツ
 元功十八人 ゲンコトシハチヤウ
 元孟 ゲンモト
 元顯 ゲンケン
 元弘嗣 ゲンコトシ
 元吉 ゲンキツ
 元和 ゲンカ
 元祐 ゲンユ
 元 ゲン

元好問 ゲンコーモン
元世祿 ゲンセイロク
犬戎 ケンシウ
犬邱 ケンキウ
月氏 ゲツシ
戸籍計帳 コセキケイチャウ
孔子 コーシ
孔鮒 コーフ
孔安國 コーアンコク
孔光 コーコウ
孔仙 コーテキ
孔雀王朝 クジャクオウテウ
孔穎達 クエイダツ
孔有德 コーユートク
孔昭 コーセフ
孔道輔 コードーホ
五子の歌 ゴシのウタ
五符 ゴシフク

五刑 ゴケイ
五霸 ゴハ
五嶺 ゴレイ
五經博士 ゴケフハクシ
五屬國 ゴゾクコク
五單子 ゴセンウ
五鹿充宗 ゴロクジョウシ
五均 ゴキン
五溪 ゴケイ
五胡 ゴコ
五將山 ゴシヨザン
五監 ゴカン
五刑 ゴケイ
五咄陸 ゴトツリク
五大噉 ゴダイセツ
五弩失畢 ゴドシツピ
五大侯斤 ゴダイチキン
五經正義 ゴケフセイギ

五丈原 ゴジョーゲン
五國 ゴコク
五華山 ゴカサン
仁間 シンモン
仁宗 シンソウ
仁祖李儁 シンソリソウ
什翼健 ショウヨクケン
支婁迦讖 シルカシン
女中堯舜 ジョウチウゲフシン
少梁 セフレウ
井田法 セイデンホフ
井陘 セイケイ
井澳 セイオウ
爪田儀 ソーデンギ
爪哇 ジャワ
丹 タン
丹陽 タンヨウ
太公望 タイコーボウ

太和城 タイカゼフ
太上天皇帝 タイゼウゲンコウテイ
太僕寺 タイボクジ
太醫院 タイイイン
太平公生 タイヘイコウシウ
太平天國 タイピンテンコク
太沽砲台 タイクーホーダイ
太極書院 タイキョクショイン
中山 チウサン
中宗 チウソウ
中書 チウシュ
中書舍人 チウシヤシヤジン
中統元寶交鈔 チウトウゲンホウコーセフ
天水 テンスイ
天柱王 テンチウ
天寶 テンポ
天禧帝 テンキテイ
天順帝 テンジュンテイ

天完 テンカン
天龍寺船 テンリウジフネ
天峻 テンシツ
天地會 テンチカイ
天津條約 テンシンデフヤク
内閣 ナイカク
内務府 ナイムフ
日逐王 ニツチクオー
日僧祇城 ニッソギゼツ
巴人 ハジン
巴東 ハト
巴約特 ハイト
巴林 バリン
巴海 ハカイ
巴清德 ハセイトク
夫差 フサ
夫椒 フシツク
夫羊句山 フヨクサン

平王 ヘイオト
平興 ヘイヨ
平周 ヘイシウ
平城 ヘイジロ
平林 ヘイリン
平棘 ヘイキョク
平阿公 ヘイアコ
平壤 ヘイジロ
平緬 ヘイメン
平地松林 ヘイチセフリン
平海衛 ヘイカイエイ
平南王 ヘイナンオー
平西王 ヘイセイオー
方叔 ホーシツク
方伯 ホーハク
方望 ホーボ
方田均税法 ホーデンキンゼイホ
方臘 ホーロ

文王 ブンオ
文侯 ブンコ
文公 ブンコ
文帝 ブンテイ
文景の美政 ブンケイのビセイ
文欽 ブンケン
文成帝 ブンセイテイ
文成公主 ブンセイコシツ
文武王法敏 ブンブオーホービン
文彦博 ブンゲンハク
文宗 ブンソ
文天祥 ブンテンセフ
文華殿 ブンカデン
文淵閣 ブンエンカク
文祥 ブンセフ
分守道 ブンシウド
分巡道 ブンジュンド
平陽 ヘイヨ

方國珍 ホーコクチン
方孝孺 ホーコージツ
方政 ホーセイ
方國安 ホーコクアン
方島謙 ホートーケン
毛 モト
毛璩 モーキョ
毛亨 モーコ
毛遂 モースイ
毛澄 モーテフ
毛文龍 モーブンリウ
毛奇齡 モーキレ
毛昶熙 モーテフクキ
木杆俟斤 モクカンチキン
木杆可汗 モクカンハーン
木邦 モクホ
六朝文學 ロクテウブンガク
六官 ロクカン

六卿 ロクキョー
 六筦 ロクカン
 六夷 ロクイ
 六部 ロクブ
 六都護府 ロクトゴフ
 六詔 ロクセウ
 六盤山 ロクパンサン
 六昆 ロクコン
 尤世威 ユーセイイ
 右北平 ウホクヘイ
 右奠樞 ウオクケン
 右廂 ウセウ
 永安 エイアン

五 畫

永濟渠 エイセイキョ
 永徽の治 エイキのチ
 永樂帝 エイラクテイ
 永樂瓜蔓鈔 エイラクカマンセフ
 永寧王慈炎 エイネイオージエン
 永曆帝 エイリツクテイ
 永宗城 エイソトゼフ
 外黃 ガイコ
 外務部 ガイムブ
 可賀敦 カガトン
 回紇 カイコツ
 回紇長壽天親可汗 カイコツチョージッテンシン
 回教 カイキョ
 甘盤 カンパン
 甘茂 カンモ
 甘泉宮 カンセンキョウ

甘延壽 カンエンジウ
 甘英 カンエイ
 甘松 カンシヨ
 甘輝 カンキ
 牙山 ガザン
 瓦橋關 カケフカン
 巨毋霸 キョボハ
 玉門 キョクモン
 句踐 コーセン
 公孫鞅 コーソンオー
 公孫衍 コーソンエン
 公孫弘 コーソンコ
 公孫賀 コーソンガ
 公孫敖 コーソンゴ
 公孫述 コーソンスイ
 公孫瓚 コーソンサン
 公乘所 コージヨッキン

畫引索引 五 畫

公孫度 コーソンド
 公孫淵 コーソンエン
 公師藩 コーシハン
 公羊 クヨ
 公愛星 コーアイセイ
 古公亶父 コーコタンボ
 古文尙書 コブンシヨ
 古朝鮮 コチョーセン
 古漢城 コカンゼウ
 古埒城 コラツゼウ
 耶 コー
 左右賢王 サユイケンオー
 左信 サカン
 左廂 サシヨ
 左良玉 サリョーギョク
 左懋第 サボーダイ
 左宗棠 サソトー
 左氏 サシ

左右侍郎 サエージロー
 左右丞 サエージロー
 史商 シセウ
 史萬歲 シマンザイ
 史寧子 シスイウ
 史思明 シシメイ
 史朝義 シテウギ
 史籀 シリウ
 史彌遠 シビエン
 史嵩之 シスーシ
 史天祥 シテンタク
 史樞 シスー
 史孟麟 シモーリン
 史可法 シカホー
 史儒 シジウ
 四兎 シキョー
 四岳 シガク
 四郡 シグン

四天竺 シテンヂク
 四傑 シケツ
 四格 シカク
 四衛拉 シウエーラ
 申伯 シンハク
 申屠嘉 シントカ
 申不害 シンフガイ
 申櫛 シンケン
 申侯 シンコト
 申培公 シンバイコ
 申屠建 シントケン
 主父 シフ
 市司 シシ
 市易法 シエキホト
 石紐 セキチウ
 石顯 セキケン
 石亭 セキテイ
 石頭城 セキトージョ

石勒 セキロク
 石虎 セキコ
 石國 セキコク
 石敬瑭 セキケイト
 石星 セキセイ
 石蔓子 セキマンシ
 召公奭 セウコーセキ
 召虎 セウコ
 召平 セウヘイ
 召陵 セウレフ
 冉駹 ゼンボ
 冉閔 ゼンビン
 世伏 セイフク
 世宗 セイソ
 生徒 セイト
 生女眞 セイジョシン
 且鞮侯單于 タンタイコーゼンウ
 且蘭 タンラン

且彌王 タンヒョー
 代 ダイ
 代谷 ダイコク
 代王侑 ダイオーユ
 札魯特部 チアルトブ
 札什倫布 チアスロンブ
 田嬰 デンエイ
 田單 デンタン
 田不禮 デンフレイ
 田恒 デンコ
 田儼 デンセン
 田蚡 デンファン
 田延年 デンエンネン
 田廣明 デンコーメイ
 田慮 デンリ
 田晏 デンアン
 田楷 デンカイ
 田承思 デンセウシ

田悦 デンエツ
 田令孜 デンレイシ
 田何 デンカ
 田重進 デンヂウシン
 田雄 デンユ
 田庄臺 デンシヨウダイ
 屯屠何 トントカ
 尼堪外蘭 ニカンワイラン
 尼布楚 ニブチュ
 白起 ハクキ
 白狄 ハクテキ
 白羊 ハクヨ
 白土 ハクト
 白登 ハクト
 白沙 ハクシヤ
 白鹿皮 ハクロクヒ
 白虎觀 ハクコカン
 白虎通 ハクコツ

白馬寺 ハクバジ
 白粉 ハクハ
 白英 ハクエイ
 白馬 ハクバ
 白帝城 ハクテイジヨ
 白雲 ハクケフ
 白巖城 ハクガンジヨ
 白江口 ハクコウコ
 白眉可汗 ハクビハーン
 白志貞 ハクシテイ
 白居易 ハクキヨイ
 白狼水 ハクロースイ
 白馬嶺 ハクバレイ
 白水灘 ハクスイラン
 白登 ハクバン
 白帳汗 ハクテフカン
 白文選 ハクブンセン
 白山派 ハクサンハ

白蓮教 ハクレンケフ
 皮氏 ヒシ
 皮邏閣 ヒラコ
 皮島 ヒト
 布縷 フル
 布政使 フセイシ
 布揚古 フヤンコ
 丙吉 ヘイキツ
 北杏 ホクキョ
 北道 ホクド
 北匈奴 ホクキョド
 北地王謀 ホクチオータン
 北地 ホクチ
 北燕 ホクエン
 北涼 ホクリョ
 北齊 ホクセイ
 北周 ホクシウ
 北宗 ホクソウ

北庭 ホクテイ
 北漢 ホクカン
 北京 ホクケフ
 北寧 ホクネイ
 北洋通商大臣 ホクヨウツウセフダイジン
 北京條約 ペキンゼフヤク

六畫

宇文氏 ウブンシ
 宇文泰 ウブンタイ
 宇文覺 ウブンカク
 宇文護 ウブンゴ
 宇文述 ウブンジツ
 宇文文化及 ウブンカキウ
 宇文虛中 ウブンキョチュウ

曳陞河 エイテツカ
 邗溝 カンコー
 合縱策 ガツショウサク
 合肥 ゴーヒ
 合骨咄陸可汗 ゴーコツトツリクハーン
 合州 ゴーシュー
 休屠王 キョウトオ
 曲阜 キョクフ
 曲沃 キョクヨク
 曲承美 キョクセフビ
 曲珍 キョクチン
 玄菟 ゲント
 玄武門の變 ゲンブモンノハン
 玄奘 ゲンジョ
 玄宗 ゲンソウ
 共工 ケフコ
 共和 ケフカ
 匈奴 ケウド

行中書省 コーチュウシヨセイ
 行都指揮使司 コートシキンシ
 交趾 コーチ
 后稷 コーシヨク
 伍舉 ゴキョ
 伍子胥 ゴシシヨ
 江充 コージョウ
 江京 コーキョ
 江油 コーユ
 江南河 コーナンカ
 江都 コート
 江陵 コーレフ
 江祐 コーユ
 江祀 コーシ
 江彬 コーヒン
 江寧府 コーネイフ
 江忠源 コーチュウゲン
 光祿塞 コーロクサイ

光祿寺 コーロクジ
 司馬錯 シバサク
 司空 シク
 司徒 シト
 司馬欣 シバキン
 司馬相如 シバシヨージョ
 司馬遷 シバセン
 司馬鈞 シバキン
 司馬懿 シバイ
 司馬徽 シバキ
 司馬義 シバギ
 司馬訓 シバクン
 司馬昭 シバシヨ
 司馬楚之 シバツシ
 司馬光 シバコ
 朱買臣 シウバイシン
 朱邑 シウユ
 朱雲 シウウン

朱鮪 シウユ
 朱徽 シウキ
 朱儁 シウセン
 朱序 シウジヨ
 朱脩至 シウシウシ
 朱蒙 シウモ
 朱滔 シウト
 朱泚 シウトン
 朱邪 シウジャ
 朱邪盡忠 シウジャジンチュウ
 朱邪赤心 シウジャセキシン
 朱邪執宜 シウジャシツギ
 朱溫 シウオン
 朱全忠 シウゼンチュウ
 朱光庭 シウコウテイ
 朱熹 シウキ
 朱元州 シウゲンシウ
 朱能 シウノウ

朱永 シウエイ
朱統 シウガン
朱治憫 シウチカン
朱成功 シウセイコー
朱克塽 シウコクソ
朱一貴 シウイツキ
朱漬 シウフン
守 シウ
舟山島 シウザント
芝蔴 シマリ
芝罘 チーフ
西伯發 セイハクハツ
西周 セイシウ
西理 セイリ
西羌 セイキウ
西魏 セイカク
西陵 セイレフ
西漢三傑 セイカンサンケツ

西域 セイイキ
西白馬 セイハクバ
西州上將軍 セイシウシヨシヨク
西河美稷 セイカピシヨク
西域都護 セイイキトゴ
西平 セイヘイ
西燕 セイエン
西秦 セイシン
西涼 セイリョ
西魏 セイキ
西州 セイシウ
西州都護 セイシウトゴ
西遼 セイレフ
西太后 セイタイニ
西安府 セイアンフ
西突厥 セイトツケツ
西廠 セイセフ
西藏 チベツト

丞相 セウセウ
先軫 センシン
先零 センレイ
向氏 セフシ
向榮 セフエイ
多爾葛 タランカツ
多彌可汗 タヒハーン
竹林七賢人 チクリンシチケンジン
仲山甫 チウサンホ
仲虺 チウキウ
氏 テイ
同娥設 ドーガセツ
同羅 ドーラ
吐谷渾 トヨクコン
吐屯 トドン
吐蕃 トバン
吐突承曜 トトツセフサイ
奴隸王朝 ドレイオーテフ

任光 ニンコ
任尙 ニンセウ
任宏 ニンコ
任那 ミマナ
伐林 パツリン
百濮 ヒヤクボク
百越 ヒヤクエツ
百濟 ヒヤクサイ
百齡 ヒヤクレイ
伏羲氏 フッキシ
伏允 フクイン
伏勝 フクセウ
米脂 ベイシ
米芾 ベイシ
朴赫居世 ボクカクキョセイ
朴圭壽 ボクケイジウ
朴泳孝 ボクエイコ
名家 メイカ

有熊國 ユーユーコク
 有恩氏 ユーコシ
 有窮 ユーキウ
 有仍氏 ユーダシ
 有蘇氏 ユーソンシ
 羊牧 ヨーボク
 羊枯 ヨーコ
 沃沮 ヨーソン
 烈子 レッシ
 老子 ローシ
 老聃 ローゼン
 老上單于 ローシヨゼンウ
 老薩 ラッサ

七 畫

安邑 アンユー
 安陽 アンヨ
 安息 アルサク
 安歸 アンキ
 安遠侯 アンエンコ
 安國 アンコク
 安昌侯張禹 アンセウコーテフウ
 安漢公 アンカンコ
 安西都護府 アンセイトゴフ
 安市城 アンシゼフ
 安東都護府 アントートゴフ
 安南王類 アンナンオーエ
 安樂公主 アンラクコーシウ
 安史の亂 アンシのラン
 安祿山 アンロクサン
 安慶緒 アンケイチウ

安戎城 アンジウゼフ
 安西都護 アンセイゴト
 安世高 アンセイコ
 安堯臣 アンゲフシン
 安南 アンナン
 安化王眞緡 アンカオーシンハン
 安邦彦 アンホーゲン
 安平鎮 アンピンチン
 安駐壽 アンケイジウ
 夷儀 イギ
 夷陵 イリョ
 夷男 イダン
 汪伯彥 オーハクゲン
 汪直 オーチヨク
 汪鳳藻 オーホーソ
 汪喬年 オーケフネン
 何武 カブ
 何熙 カキ

何進 カシン
 何無忌 カムキ
 何晏 カアン
 何休 カキウ
 何騰蛟 カトコー
 何如璋 カジョセフ
 何樂 カン
 完山 カンザン
 希布 キフ
 汲 キウ
 汲桑 キウソ
 杞 キ
 岐山 キサン
 岐 キ
 岐溝 キコ
 均輸法 キンシッホ
 均口 キンコ
 均田法 キンデンホ

邢 ケイ
 匡衡 ケウコー
 杏城 ケウゼウ
 阮宏裕 ゲンコーユ
 阮文惠 ゲンブンケイ
 阮福映 ゲンフクエイ
 阮福皎 ゲンフクコ
 阮福璇 ゲンフクセン
 阮福珪 ゲンフクジ
 阮文祥 ゲンブンセフ
 阮福昊 ゲンフクコ
 阮光平 ゲンコヘイ
 孝文帝 コーブンテイ
 考證學派 コーショウガクハ
 吾邱 ゴキウ
 吾斯車紐 ゴシシアチウ
 谷吉 コクキツ
 谷可成 コクカセイ

弘弘恭 コーケウ
 弘文敍 コーブンジ
 弘化公主 コーカコーシウ
 更始將軍 コーシセウゲン
 更賦 コーフ
 更卒 コーソツ
 更戌法 コージウホ
 沙陀 サダ
 沙邱 シアキウ
 沙鉢羅 シアハツラ
 沙鉢羅葉護 シアハツラエフゴ
 沙鉢羅唃利失可汗 シアハツラテウリシツパーン
 沙爾瑚達 シアルコタツ
 沙鉢畧 シアハツリアク
 沙市 シアシ
 辛 シン
 辛慶忌 シンケイキ
 辛冉 シンゼン

辛毗 シントン
 辛禰 シンゴ
 助法 ジョホフ
 汝南王亮 ジョナンオーレフ
 車犁單于 シアリゼンウ
 車師 シアシ
 車牙若鞮 シアガシアクテイ
 車箱峽 シアンクエフ
 岑陔 シンヌウ
 岑陔 シンテツ
 岑義 シンギ
 岑毓英 シンイクエイ
 身毒 シンド
 成王 セイオ
 成陽 セイヨ
 成 セイ
 成阜 セイコ
 成都 セイト

成丹 セイタン
 成瑠 セイリウ
 成嚴 セイゲン
 成固 セイコ
 成都王穎 セイトオーエイ
 成山 セイサン
 成歡 セイカン
 赤狄 セキテキ
 赤谷 セキコク
 赤眉 セキビ
 赤伏符 セキフクフ
 赤亭 セキテイ
 赤壁 セキヘキ
 赤祖 セキソ
 赤土 セキド
 赤縣 セキケン
 折衝府 セツセフフ
 折彥質 セツゲンシツ

折爾肯 セツシエン
折杖法 セツゼフホー
宋 ソー
宋義 ソーギ
宋胃 ソーイ
宋老生 ソーローセイ
宋金剛 ソーコンゴ
宋雲 ソーウン
宋景 ソーケイ
宋忠 ソーチュウ
宋素卿 ソーソケイ
宋設 ソーセツ
宋應昌 ソーオーセフ
宋濂 ソーレン
宋琬 ソーエン
宋之清 ソーシセイ
佗鉢可汗 タハツハーン
卓茂 タクモ

沈攸之 チンユージ
沈文孝 チンブンコー
沈法興 チンホーコー
沈惟敬 チンイケイ
沈括 チンカツ
沉黎郡 チンレフグン
狄道 テキド
狄仁傑 テキジンケツ
杜延年 トエンネン
杜欽 トキン
杜崇 トソ
杜琦 トキ
杜季貢 トキコー
杜喬 トキョ
杜密 トミツ
杜預 トヨ
杜驥 トキ
杜如晦 トジョカイ

杜黃裳 トコーセウ
杜甫 トホ
杜威 トイ
杜世忠 トセイチュウ
杜文煥 トブンカン
杜爾伯特部 ツルベトブ
杜松 トセフ
那離 ナリ
那利 ナリ
那旺 ナオー
那驥 ナキ
那彥成 ナケンセイ
如意 ニョイ
忍良 ニンレフ
伯夷 ハケイ
伯禽 ハクキン
伯服 ハクフク
伯魚 ハクギョ

伯德 ハクトク
伯溫 ハクオン
判闕特勒 ハンケツトクロク
貝子羅託 バイシラタク
扶蘇 フソ
扶餘 フヨ
扶餘豐 フヨホ
扶餘城 フヨゼウ
巫咸 フカン
巫賢 フケン
巫蠱 フコ
巫峽 フケフ
汾陰 フンイン
兵制 ヘイセイ
兵家 ヘイカ
兵備道 ヘイビド
步迦可汗 ホカハーン
步真 ホシン

邦牙宣慰司 ホーガセンイシ
 李來 ホライ
 花沙納 ホシアノ
 母邱儉 ボキウケン
 杜邱 ボキウ
 防風氏 ボーフーシ
 防毅令 ボーコクレイ
 沐晟 モクセイ
 沐春 モクシュン
 沐英 モクエイ
 李斯 シ
 李牧 リボク
 李信 リシン
 李悝 リカイ
 李良 リレウ
 李息 リンク
 李廣 リコ
 李沮 リシヨ

李蔡 リサイ
 李廣利 リコ
 李陵 リレウ
 李守 リシウ
 李通 リツ
 李軼 リテツ
 李松 リセウ
 李育 リイク
 李憲 リケン
 李嵩 リス
 李茂 リモ
 李邑 リユ
 李章 リセウ
 李閏 リジュン
 李固 リコ
 李膺 リヨ
 李催 リサイ
 李肇 リテウ

李特 リトク
 李庠 リセフ
 李流 リリウ
 李苾 リヒツ
 李雄 リユ
 李禹 リリ
 李國 リコク
 李勢 リセイ
 李嵩 リス
 李密 リミツ
 李淵 リエン
 李世民 リセイミン
 李軌 リキ
 李靖 リセイ
 李世勣 リセイセキ
 李遮旬 リシアフタ
 李素玄 リソゲン
 李多祚 リタソ

李林甫 リリンポ
 李光弼 リコヒツ
 李元敬 リゲンケイ
 李實臣 リジツシン
 李懷僊 リカイセン
 李惟岳 リイガク
 李正己 リセイキ
 李納 リノ
 李希烈 リキレツ
 李階固 リカイコ
 李晟 リセイ
 李泌 リヒツ
 李錡 リキ
 李輔國 リホコク
 李訓 リクン
 李宗閔 リソビン
 李吉甫 リキッポ
 李克用 リコクヨ

李谿 リコク
 李鉉 リゲン
 李白 リハク
 李思訓 リシタン
 李盡忠 リジンチウ
 李存勗 リソンキョク
 李嗣昭 リシンヨ
 李亞子 リアシ
 李嗣源 リシゲン
 李從珂 リジウカ
 李茂貞 リモテイ
 李昇 リベン
 李彝興 リフンコ
 李繼筠 リケイイン
 李繼捧 リケイホ
 李繼僊 リケイセン
 李德明 リトクメイ
 李元昊 リゲンコ

李知順 リチジウン
 李公蘊 リコオン
 李日尊 リニッソン
 李乾德 リケントク
 李諒祚 リレフソ
 李秉常 リヘイゼフ
 李憲 リケン
 李處温 リシヨオン
 李靖 リセイ
 李乾順 リケンシウン
 李綱 リコ
 李邦彦 リホーケン
 李昉 リダツ
 李回 リカイ
 李若水 リジアクスイ
 李顯忠 リケンチウ
 李公麟 リコリン
 李庭芝 リテイシ

李恆 リコ
 李仁 リジン
 李思道 リシド
 李文忠 リブンチウ
 李景隆 リケイロウ
 李興 リコ
 李天寵 リテンテフ
 李途 リスイ
 李成桂 リセイケイ
 李可灼 リカシヤク
 李偃侍 リセンシ
 李仁任 リジンニン
 李如松 リジョセフ
 李應試 リオシ
 李如栢 リジョハク
 李舜臣 リシウンシン
 李之藻 リシソ

李東陽 リトヨ
 李夢陽 リムヨ
 李攀龍 リハンリウ
 李成梁 リセイレフ
 李永芳 リエイホ
 李如楨 リジョテイ
 李适 リテン
 李九成 リキウセイ
 李自成 リジセイ
 李建泰 リケンタイ
 李沾 リテン
 李際遇 リサイグ
 李好 リコ
 李巖 リガン
 李永茂 リエイモ
 李成棟 リセイト
 李之允 リシイン
 李定國 リテイコク

李本琛 リホンシン
李漁 リギ
李長庚 リチョーゴ
李文清 リブンセイ
李明太 リミンタイ
李鴻章 リコーセフ
李成典 リセイテン
李鴻藻 リコーソ
李昱應 リシオー
李裕元 リユージン
李峻容 リシウンヨ
李範晋 リハンシン
李經義 リケイギ
呂尙 リョセウ
呂不韋 リョフイ
呂刑 リョケイ
呂后 リョゴ
呂氏 リョシ

呂臺 リョタイ
呂産 リョサン
呂祿 リョロク
呂嘉 リョカ
呂母 リョボ
呂布 リョフ
呂蒙 リョモ
呂光 リョコ
呂隆 リョリウ
呂夷簡 リョイカン
呂惠卿 リョケイケイ
呂公著 リョコト
呂陶 リョト
呂大防 リョタイボ
呂好問 リョコモ
呂謙 リョケン
呂大器 リョタイキ
呂文煥 リョブンカン

呂文德 リョブントク
里山 リザン
令免 レイメン
令居 レイキョ
令狐茂搜 レイコモソ
令 レイ
令狐綯 レイコト
牢梁 ローレフ
牢修 ローシウ

八畫

阿房 アホ
阿史那氏 アシナシ
阿那環 アナカン
阿波可汗 アバハーン

阿羅伽耶 アラカヤ
阿跌 アテツ
阿羅那順 アラナジウ
阿史那社爾 アシナシアル
阿史那賀魯 アシナガロ
阿史那泥熟匄 アシナデイシウクフ
阿史那骨篤祿 アシナコツトクロク
阿史那德元珍 アシナトクケンチン
阿史那忠節 アシナチウセツ
阿羅本 オロベン
阿伯 アハク
阿羅漢 アラカン
阿太章京 アタセフケフ
阿布達哩岡 アブタリコ
阿敏 アミン
阿瓦 アワ
阿睦爾撒納 アムールサンナ
阿卜都里什特 アブツルシット

阿王奇 アエケ
 阿圭 アケイ
 伊尹 イイン
 伊涉 イセウ
 伊闕 イケツ
 伊循城 イジウンゼフ
 伊吾廬 イゴロ
 伊列可汗 イリハーン
 伊吾吐屯沒 イゴトトンモツ
 伊列水 イリスイ
 伊麗道 イリドー
 伊施可汗 イシハハン
 伊克招 イクセウ
 伊里布 イリブ
 伊犁塔爾巴哈臺 イリタルバカタイ
 孟 ヲ
 盱眙 ウイ
 奄 エン

英布 エイフ
 英武威遠毗迦闕可汗 エイブイエンドカケツハ
 英宗 エイソ
 英親王 エイシンオー
 宛丘 エンキウ
 宛 エン
 易牙 エキガ
 於除韃 オジロケン
 果毅都尉 カキトイ
 河東甲 カタンコ
 河内 カダイ
 河東 カト
 河間王德 カカンオートク
 河間王順 カカンオーグ
 河朔三鎮 カサクサンチン
 河南三鎮 カナンサンチン
 河東派 カトハ

河道總督 カドーンソトク
 河西務 カセイム
 邯鄲 カンタン
 官渡 カント
 官惟賢 カンイケン
 厓山 ガイサン
 岳飛 ガクヒ
 祁山 キサン
 祁弘 キコ
 祁連山 キレンサン
 金人 キンジン
 金城 キンゼフ
 金馬郡 キンバグン
 金日磾 キンジツタン
 金蒲城 キンホジ
 金微山 キンビサン
 金仇衡 キンキウコ
 金瘦臣 キンソージン

金嶺城 キンレイジ
 金首露 キンシロ
 金官國 キンカンコク
 金 キン
 金蓮川 キンレンセン
 金帳國 キンテフコク
 金齒 キンシ
 金幼孜 キンヨシ
 金聲桓 キンセイカン
 金礪 キンレイ
 金聖歎 キンセイタン
 金輔鉉 キンホゲン
 金宏集 キンコウシウ
 金允植 キンインチョク
 金玉均 キンギョクキン
 居延 キョエン
 居庸關 キョウカン
 居巢湖口 キョウコ

居西干 キョセイカン
宜白 ギキョウ
宜陽 ギョウ
近宵古 キンセフコ
邱福 キョーフク
季金 キキン
响梨湖單子 クリコゼンウ
苦邑 クユ
空洞 クート
卦爾察 ケイルチ
荆玠 ケイカイ
荆軻 ケイカ
荆蠻 ケイバン
協辨大學士 ケフベンダイガクシ
協和王 ケフカオ
夾谷 ケウコク
夾山 ケフサン
京房 ケイポ

京口 ケイコ
固始汗 コシカン
杭州 コーシュー
杭雄 コーユ
句章 クセウ
句町 クテウ
甲申の亂 コーシンのラン
呼韓邪單子 コカンヤゼンウ
呼揭單子 コケイゼンウ
呼屠吾斯 コトゴシ
呼衍王 コエ オ
呼屠微 コトテフ
呼延安 コエンアン
呼慶 コケイ
吳 ゴ
吳起 ゴキ
吳廣 ゴコ
吳楚七國 ゴンヒチコク

吳王濞 ゴオード
吳業 ゴゲフ
吳祉 ゴシ
吳提 ゴテイ
吳明徹 ゴメイテツ
吳少誠 ゴセフセイ
吳元濟 ゴゲンセイ
吳元通 ゴケンツ
吳昌文 ゴセフブン
吳處坪 ゴシヨヘイ
吳時 ゴジ
吳越 ゴエツ
吳孝民 ゴコミン
吳惟忠 ゴイチウ
吳澄 コテフ
吳三桂 ゴサンケイ
吳襄 ゴゼフ
吳炳 ゴヘイ

吳貞毓 ゴテイイク
吳應熊 ゴオユ
吳世璠 ゴセイハン
吳慶錫 ゴケイシアク
吳長慶 ゴテフケイ
吳大徵 ゴダイテフ
苟晞 コーキ
虎牢 コロ
虎門 コモン
虎大威 コタイイ
采石 サイセキ
周 シウ
周公旦 シウコータン
周青臣 シウセイシン
周市 シウシ
周文 シウブン
周勃 シウボツ
周亞夫 シウアフ

周堪 シウーカン
 周黨 シウート
 周章 シウーセフ
 周福 シウーフク
 周瑜 シウーユ
 周處 シウーシヨ
 周興 シウーコ
 周敦願 シウートシイ
 周尙文 シウーセフブン
 周德興 シウートクコ
 周延儒 シウーエンジウ
 受辛 ジウシン
 受降城 ジウコーゼウ
 叔齊 シウクセイ
 叔孫敖 シウクソンゴ
 叔孫通 シウクソンツ
 叔都 シウクト
 辰韓 シンカン

若那 ジャクナ
 侍讀學士 ジトクガクシ
 者監 シアラシ
 秀山 シウーサン
 垂 スイ
 昌平郷阪邑 セウヘイケアスーユ
 昌邑 セウユ
 昌邑王賀 セウユオーガ
 昔脱解 セキダツカイ
 制舉 セイキョ
 邵友濂 セフユレン
 邵宏淵 セフコエン
 邵雍 セフヨ
 征韓論 セイカンロン
 青苗法 セイベウホ
 青冢 セイチョ
 青帳汗 セイテフハン
 尙可喜 セフカキ

尙之信 セフシシ
 尙書 セフシヨ
 宗資 ソーシ
 宗愛 ソーエン
 宗懿 ソーイ
 宗璟 ソーケイ
 宗澤 ソータク
 宗晟 ソーセイ
 宗人府 ソージンフ
 宗喀巴 ツオンカバ
 沮授 ソジウ
 沮渠蒙遜 ソキモーション
 卒本扶餘 ソッボンフヨ
 拓跋 タクバツ
 拓跋力微 タクバツリキビ
 拓跋祿官 タクバツロクカン
 拓跋猗盧 タクバツイロ
 拓跋思恭 タクバツシケフ

拓跋珪 タクバツケイ
 竺佛朔 チウクブツサク
 忠貞可汗 チウーテイハーン
 忠誠社 チウーセイシヤ
 知牙師 チガシ
 知府 チフ
 知州 チシウ
 知縣 チケン
 定襄 テイゼウ
 定安公 テイアンコ
 定遠侯 テイエンコ
 定揚可汗 テイヨーハーン
 定策國老 テイサクコクロー
 定南王 テイナンオー
 泥和可汗 デイカハーン
 泥熟 デイジウク
 沾解王 テンカイオー
 典樂 テンガク

禿髮 トクハツ
禿髮烏孤 トクハツウコ
禿髮擗檀 トクハツジヨクセン
東周 トーシウ
東魏 トーカク
東陽 トーヨ
東方朔 トーホーサク
東甌 トーオー
東越王餘善 トーエツオーヨゼン
東胡 トーコ
東漢 トーカン
東菴 トーキョー
東興隄 トーコーテイ
東海王越 トーカイオーエツ
東魏 トーギ
東丹國 トータンコク
東林書院 トーリンシヨイン
東林黨 トーリンダウ

東海部 トーカイブ
東海君李暉 トーカイケンリクン
東學黨 トーガクトー
東清鐵道會社 トーシンテツドーカイシア
東閩 トーコン
范睢 ハンスイ
范陽 ハンヨ
范增 ハンゾ
范夫人城 ハンフジンゼウ
范朋友 ハンメイユ
范菴 ハンキョ
范滂 ハンポ
范陽王斌 ハンヨ オーカク
范長生 ハンチャウセイ
范仲俺 ハンチュウエン
范祖禹 ハンソウ
范瓊 ハンケイ
范成大 ハンセイダイ

范文虎 ハンブンコ
范曄 ハンゴ
拔焦 パッセフ
拔曳固 パツエイコ
拔野古 パツヤコ
拔悉密 パツシツミツ
拔乙門 パツイツモン
拔陵 パツレフ
沛 ハイ
沛公 ハイコ
波斯 パルシ
板渚 ハント
肥義 ヒギ
邲 ヒツ
邳彤 ヒセン
卑衍 ヒエン
卑沙城 ヒシアゼフ
武王 プオー

武公 ブコ
武關 ブカン
武途 ブスイ
武臣 ブシン
武信君 ブシンケン
武帝 ブテイ
武州 ブシュ
武威郡 ブイケン
武林 ブリン
武都郡 ブトケン
武康王 ブコオー
武功爵 ブコウシヤク
武陵蠻 ブレフバン
武陽侯 ブヨウコ
武擔 ブタン
武都 ブト
武烈王春秋 プレツオーシウケン
武氏の禍 ブシノカ

武士護 プシカク
 武崇訓 プソクン
 武惠妃 ブケイヒ
 武三思 プサンシ
 武義成功可汗 ブギセイコーハーン
 武元衡 ブゲンコー
 武英殿 ブエイデン
 武宗 ブソ
 苻秦 フシン
 苻洪 フコー
 苻建 フケン
 苻堅 フケン
 苻融 フユ
 苻叔 フェイ
 汝山郡 ブンザンゲン
 服虔 フクケン
 府尹 フイン
 汨羅 ベキラ

沔陽 ベンヨ
 房植 ボーチョク
 房州 ボーシュー
 房玄齡 ボーゲンレイ
 枋頭 ボート
 牧野 ボクヤ
 封建 ホーケン
 封常清 ホーゼフセイ
 枚皋 マイコー
 明帝 メイテイ
 明林答夫 メイリントーフ
 明安 ミンアン
 明安達哩 ミンアンタリ
 明瑞 ミンズイ
 明亮 ミンレフ
 明玉珍 メイギョクチン
 明昇 メイセフ
 明命 メイメイ

孟子 モーシ
 孟嘗君 モーセウケン
 孟津 モーシン
 孟獲 モーカク
 孟觀 モーカン
 孟喜 モーキ
 孟浩然 モーコーゼン
 孟知祥 モーチセフ
 孟珙 モーコ
 孟養 モーヨ
 夜郎 ヤロー
 夜郎侯多同 ヤローコータド
 油口 ユコー
 抑鞬 ヨクタイ
 來苗 ライベウ
 來機 ライキ
 來萊海口 ライライカイコー
 來護兒 ライゴル

來流水 ライリウスイ
 來來 ライライ
 拉薩 ラッサ
 拉薩汗 ラツァンハン
 林胡 リンコ
 林邑 リンユ
 林士宏 リンシコー
 林衍 リンエン
 林丹汗 リンタンカン
 林爽文 リンソープン
 林則徐 リンソクジョ
 林鳳祥 リンフョウセフ
 林阿發 リンアハツ
 林清之 リンセイシ
 兩稅法 レフゼイホ
 良封 レフホ
 和戎 ワジウ
 和連 ワレン

和春 ワシウン
和碩持 ホシエト

九 畫

奕山 イシアン
奕經 イキン
依然可汗 イゼンハーン
禹 ウ
涇水 エンスイ
咸陽 カンヨ
咸安公主 カンアンコーシツ
曷沙那可汗 カツシナハーン
曷鉢 カツハツ
夏 カ
夏徵舒 カテフジ

夏育 カイク
夏侯勝 カコーセフ
夏侯建 カコーケン
夏口 カコ
夏竦 カラツ
夏貴 カキ
夏承恩 カセフオン
夏萬享 カマンコ
函谷 カンコク
函晋 カンフ
段熲 カヒン
段谷 カコク
界藩城 カイハンゼフ
海陸山 カイリクサン
海軍衙門 カイグンガモン
海城 カイゼフ
海洋島 カイヨート
契丹 キタイ

契骨 キッコツ
契苾 ケイヒツ
契苾何力 ケイヒツカリキ
契 セツ
急蘭亦斛 キランイタイ
軍臣單于 グンシンゼンウ
軍就 グンシウ
軍機處 グンキシヨ
軍需房 グンシウホ
胸衍 クエン
羿 ゲイ
姜戎 ケウシウ
姜維 ケウイ
姜弘立 ケフコリツ
姜曰廣 ケフエツコ
羌 ケウ
祆教 ダンケウ
建業 ケンギョ

畫引索引 九 畫

建成 ケンセイ
建武 ケンブ
建安七子 ケンアン七シ
建德 ケントク
建中靖國 ケンチウセイコク
建州衛 ケンシウエイ
建福 ケンフク
拱辰 コーシン
荒山 コーザン
科爾沁部 コルチンブ
恆福 コーフク
恆祺 コーキ
洪真季 コーシンキ
洪倫 コーリン
洪山口 コーサンコ
洪秀全 コーシューゼン
洪鍾宇 コーセフウ
洪承疇 コーセフト

洪啓薫 コーケイケン
 昆吾氏 コンゴシ
 昆莫 コンモ
 昆彌 コンヒ
 昆明池 コンメイチ
 孤竹 コチク
 孤叔 コシツク
 狐偃 コエン
 狐鹿姑單干 コロクコゼンツ
 胡亥 コガイ
 胡陵 コレフ
 胡瑗 コエン
 胡惟庸 コイヨ
 胡藍の獄 コランのゴク
 胡一元 コイチゲン
 胡套 コタヌ
 胡宗憲 コソケン
 胡廣 ココ

胡渭 コイ
 胡奮 コフン
 胡圖克圖 フツクツ
 姑蘇 コツ
 姑衍 コエン
 姑督樓頭 コボーロート
 姑藏 コゾ
 侯霸 コーハ
 侯景 コーケイ
 侯君集 コーケンシ
 侯覽 コーラン
 侯生 コーセイ
 侯顯 コーケン
 侯方巖 コーホーガン
 侯方域 コーホーイキ
 皇甫嵩 コーホス
 皇甫規 コーホキ
 皇甫傑 コーホケツ

恨山 コンサン
 故國原王 ココクゲンオー
 香軍 コーゲン
 香紅鐘山 コーコーリョサン
 缸瓦寨 コーガサイ
 荀林文 ジョリンフ
 荀疑 ジョンチ
 荀感 ジョンイク
 荀攸 ジョンユ
 荀子 ジョンシ
 荀況 ジョンケフ
 荀卿 ジョンケイ
 荀藩 ジョンハン
 春申君 ションシンケン
 信陵君 シンレフケン
 信都 シント
 首陽山 ショヨウサン
 首止 シッシン

首山 ショサン
 郇 ション
 思結 シキツ
 思陸 シリク
 思倫 シリン
 思任 シニン
 思機 シキ
 刺史 シシ
 柔然 ジョーゼン
 柿歸 シキ
 施浪 シロー
 施讐 シシウ
 施耐庵 シタイアン
 施世驃 シセイヘフ
 相參 セフサン
 昭烈帝 セフレツテイ
 昭莫多 チアウモド
 宣王 センオー

宣徳 セントク
 宣光府 センカフ
 宣帝 センテイ
 宣和晝院 センカガイ
 宣崑黨 センコント
 宣祖 センソ
 前趙 センテフ
 前秦 センシン
 前涼 センレフ
 前燕 センエン
 染干 センカン
 星山伽耶 セイサンカヤ
 邨 セイ
 泉蓋蘇文 センガイソブン
 泉男生 セイダンセイ
 泉男建 センダンケン
 泉男産 センダンサン
 松嶽 セフガク

松漠都督 セフバクトトク
 促 ソク
 則天武后 ソクテンブコ
 卽墜 ソクボク
 段彭 ダンホ
 段禧 ダンキ
 段榮 ダンエイ
 段智興 ダンチコ
 姐巳 ダッキ
 种師道 チンシド
 种師中 チンシチウ
 重慶 チウケイ
 長平 テフヘイ
 長公主 テフコシ
 長沙 テフシア
 長安 テフアン
 長子 テフシ
 長沙王父 テウシアオーカイ

長孫無忌 テフソンムキ
 長孫晟 テフソンセイ
 長齡 テフレイ
 帝顓頊 テイセンキョク
 帝嚳 テイコク
 帝堯 テイゲフ
 帝邱 テイキウ
 貞觀 デフガン
 玷厥 テンケツ
 亭山 テイサン
 沓中 トーチュウ
 到彦之 トーケンシ
 突厥 トルコ
 突利可汗 トツリハーン
 突騎施 トッキシ
 洮 トー
 南官适 ナンクウテン
 南交 ナンコ

南巢 ナンソ
 南郡 ナンゴン
 南越 ナンエツ
 南鄭 ナンテイ
 南道 ナンド
 南單于 ナンゼンウ
 南匈奴 ナンケフド
 南皮 ナンピ
 南安 ナンアン
 南涼 ナンレフ
 南燕 ナンエン
 南庭 ナンテイ
 南宗 ナンソ
 南鄉 ナンケフ
 南漢 ナンカン
 南平 ナンヘイ
 南唐 ナント
 南宋 ナンソ

南京 ナンキン
南無力 ナンブリ
南洋通商大臣 ナンヨーツーセフダイジン
南京條約 ナンキンゼウヤク
柏貴 ハクキ
哈密衛 ハミエイ
哈達 ハダ
負黍 フシ
沸流 フツリウ
便橋 ベンケフ
法家 ホーカ
法三章 ホーサンセウ
法 ホー
法蘭 ホッケン
保甲法 ホコーホー
保馬法 ホバホー
妹喜 マイキ
莫何可汗 モカハーン

莫賀咄 モガトツ
莫賀城 モカゼフ
莫賀弗勿干 モカフツクカン
莫登庸 モトヨ
會龍 ユーリウ
俞大猷 ユタイユ
勇兵 ユーヘイ
洛邑 ラクユ
洛汭 ラクゼイ
洛口城 ラクコーゼウ
洛黨 ラクト
律曆淵源 リツレキエンゲン

十畫

哀牢夷 アイローイ
章元成 イゲンセイ
章冲 イチュウ
章城 イゼフ
章元貞 イゲンテイ
章貫之 イカンシ
章澳 イオー
章昭度 イセフド
章昌輝 イセフキ
般 イン
般通 インツ
般浩 インコー
般仲堪 インチュウカン
威海衛 イカイエイ
烏氏 ウシ
烏孫 ウソン

烏維單于 ウイゼンウ
烏斯盧單于 ウスロゼンウ
烏桓 ウカン
烏壘城 ウルイゼウ
烏禪幕 ウゼンバク
烏藉單于 ウセキゼンウ
烏珠留單于 ウシリウゼンウ
烏累若鞮單于 ウルイジャクテイゼンウ
烏即城 ウンクゼウ
烏承恩 ウセウオン
烏德鞬山 ウトクケンサン
烏蘇米施可汗 ウソンベイシハーン
烏蠻 ウバン
烏梁海 ウリアンハイ
烏斯藏 ウシゾ
烏爾會河 ウルホイカ
烏爾布通 ウランプトン
烏朱穆秦 ウチュモチン

烏蘭太 ウランタイ
烏石 ウセキ
烏爾根泰 ウルコンタイ
烏拉 ウラ
鄧 エイ
益 エキ
益陽 エキヨ
益王昆 エキオシ
益王由本 エキオエホン
脱般 エツパン
泓 オー
桓公 カンコ
桓温 カンオン
桓立 カンゲン
桓彦範 カンゲンハン
桓胤 カンタン
哥舒翰 カジョカン
華容道 カヨード

郝經 カクケイ
莒 キ
屈平 クツヘイ
屈利俟昆可汗 クツリチビハン
屈突通 クツトツツ
屈登 クツゴ
訓話 クンコ
郡國の制 グンコクノセイ
原昌令義信 ゲンセフレイギシン
桂王由榔 ケイオエロ
桂良 ケイレフ
恭奴單于 ケウドゼンウ
恭親王 ケウシンオー
涇陽 ケイヨ
虔陔 ケンダ
姜里 ケフリ
扈倫部 コリンブ
格爾珠爾根城 コルシルコンゼフ

高都 コート
高奴 コード
高闕 コーケツ
高陵 コーレフ
高柳 コーリウ
高貴卿公髦 コーキケイコーボ
高雲 コーウン
高允 コーイン
高歡 コーカン
高洋 コーヨ
高昌王 コーセフオー
高句麗 コークリ
高君雅 コークンガ
高德儒 コートクジ
高士廉 コーシレン
高宗 コーソ
高力士 コーリキシ
高駢 コーヘン

高堂生 コードーセイ
高秀巖 コーシューガン
高季興 コーキコ
高梁河 コーレフカ
高瓊 コーケイ
高道裕 コージュンユ
高永昌 コーエイセフ
高藥師 コーヤクシ
高麗高宗旺 コーライコソソオー
高麗高宗暉 コーライコソト
高麗元宗僖 コーライゲンソテン
高麗忠烈王 コーライチュウレソオー
高麗恭愍王顯 コーライケフビンオーセン
高攀龍 コーハンリウ
高啓 コーケイ
高則誠 コーソクセイ
高第 コーダイ
高迎祥 コーゲイセフ

高傑 コーケツ
高弘圖 コーコート
後漢 ゴカン
後蜀 コーシヨク
後趙 コーチャウ
後燕 コーエン
後秦 コーシン
後梁 コーレフ
後魏 コーギ
後涼 コーレフ
後金 コーキン
後唐 コート
後晋 コーシン
後周 コーシウ
後百濟 コーヒョクサイ
耿純 コージュン
耿弇 コーアン
耿舒 コージョ

耿秉 コーヘイ
耿恭 コーケフ
耿夔 コーキ
耿仲 コーチュウ
耿國 コーコク
耿忠 コーチュウ
耿仲明 コーチュウメイ
耿繼茂 コーケイモ
耿精忠 コーセイチュウ
貢法 コーホフ
阜陶 コーヨウ
庫提 コーテイ
庫合眞 コーゴシン
敖倉 ゴーソウ
部 コー
降奴單于 コードゼンウ
骨都侯 コートコウ
骨咄 コートツ

骨力裴羅 コツリキヒラ
骨利幹 コツリカン
朔方 サクホフ
朔黨 サクトウ
柴桑 サイソウ
柴紹 サイセウ
殺熊嶺 サツユレイ
秦 シン
秦嘉 シンカ
秦豐 シンホフ
秦景憲 シンケイケン
秦彭 シンホフ
秦桧 シンカイ
秦良玉 シンレフギョク
神農氏 シンノシ
神宗の新法 シンノシのシンボ
胥臣 ショシン
徐戎 ジョジュウ

徐州 ジョシウ
徐禮 ジョレイ
徐宣 ジョセン
徐韓 ジョカン
徐璜 ジョコウ
徐奉 ジョホフ
徐塘 ジョトウ
徐盛 ジョセイ
徐美之 ジョセンシ
徐孝嗣 ジョコウシ
徐有功 ジョユウコウ
徐遵明 ジョジュンメイ
徐世勣 ジョセイセキ
徐壽輝 ジョジュウキ
徐達 ジョタツ
徐海 ジョカイ
徐光啓 ショコウケイ
徐鴻儒 ジョコウジュ

徐弘基 ジョコーキ
 徐廣緒 ジョコーシン
 徐天德 ジョテントク
 徐光範 ジョコーハン
 徐載弼 ジョサイヒツ
 徐知誥 ジョチコー
 徐禧 ジョキ
 莘 シン
 祝 シツク
 晋 シン
 晋陽 シンヨー
 晋王廣 シンオーコー
 脩魚 シウギョ
 除陌錢法 ジョヒアクセンホー
 射匿可汗 シアキハーン
 巡察使 ジウンスツシ
 巡撫 ジウンプ
 茹法珍 ジョホーチン

師子 シシ
 栢邑 ジウンユー
 莎車 シアシア
 莎車王賢 シアシアオーケン
 眞番 シンパン
 眞興王 シンコーオー
 眞平王 シンヘイオー
 眞珠毘伽 シンシウピカ
 眞珠葉護 シンシウヨゴ
 眞寧 シンネイ
 酒泉郡 シウセンゲン
 酒推 シウカク
 始皇帝 シコーテイ
 始畢可汗 シビハーン
 始安王遙光 シアンオーヨーコー
 陵火脫 スーカト
 城濮 セフボク
 栓萼 センガク

浙黨 セキト
 席書 セキシ
 莊王 ソーオー
 莊子 ソーシ
 莊助 ソージョ
 倉垣 ソーエン
 桑弘羊 ソーコーヨー
 桑巴圖魯 サンバトル
 息 ソク
 祖述 ソテキ
 祖來 ソライ
 祖闡 ソタン
 祖承訓 ソセフクン
 祖大壽 ソタイジウ
 泰仲 タイチュウ
 泰封 タイホー
 俟斤 チキン
 俟利發 チリハツ

郵支單于 チッシゼンウ
 秩宗 チツソ
 哲卜尊丹巴 チェブソントンバ
 珠舍哩 チウシアリ
 庭州 テイシウ
 唃力特勤 テツリキトクロク
 唐 ト
 唐蒙 トーモ
 唐衡 トーコ
 唐彬 トーヒン
 唐王聿鍵 トーオーイツケン
 唐王聿錫 トーオーイツガク
 咄陸可汗 トツリクハーン
 咄摩支 トツマキ
 桐宮 トーキウ
 島山 トーザン
 班彪 ハンヘフ
 班固 ハンコ

班超 ハンテフ
 班昭 ハンセフ
 班勇 ハンユ
 班雄 ハンユ
 班第 ハンチ
 馬邑 バユ
 馬韓 バカン
 馬復 バフク
 馬援 バエン
 馬成 バセイ
 馬武 バブ
 馬績 バシヨク
 馬寔 バシヨク
 馬賢 バゲン
 馬元義 バゲンギ
 馬鞍山 バアンサン
 馬稷 バシヨク
 馬崑 バカイ

馬融 バユ
 馬般 バイン
 馬政 バセイ
 馬忠 バチウ
 馬彬 バヒン
 馬駮 バキ
 馬定國 バテイコク
 馬祖常 バソジョ
 馬林 バリン
 馬世龍 バセイリウ
 馬士英 バシエイ
 馬世耀 バセイヨ
 馬建忠 バケンチウ
 馬八兒 マパール
 馬蘭丹 バランタン
 毫 ハク
 破六韓 ハロクカン
 畢 ヒツ

畢誠 ヒツカン
 毗迦可汗 ヒカハーン
 釜山 フサン
 秣陵 マツレフ
 密須 ミス
 迷吾 メイゴ
 迷唐 メイト
 挹婁 ユール
 姚弋仲 ヨーカチウ
 姚襄 ヨーゼフ
 姚萇 ヨーテフ
 姚猷 ヨーケン
 姚思廉 ヨーシレン
 姚崇 ヨーソ
 姚樞 ヨーシュー
 姚江派 ヨーコーハ
 姚古 ヨーコ
 姚宗文 ヨーソブン

畫引索引 十一畫

柳中城 リウチウゼフ
 柳宗元 リウソウゲン
 柳升 リウセフ
 理藩院 リハンイン
 理學 リガク
 凌駟 レフシツン

十一畫

菴羅辰 アンラシン
 菴羅 アンラ
 異牟尋 イムジン
 陰晋 インシン
 陰平 インペイ
 陰世師 インセイシ
 猗廬 イロ

狩征 イダ
 尉線 イレウ
 尉着 イトキ
 尉 イ
 尉頭 イト
 移宮案 イキウアン
 袁崙 エンオー
 袁紹 エンセウ
 袁隗 エンカイ
 袁術 エンジウツ
 袁遺 エンイ
 袁尙 エンセウ
 袁譚 エンタン
 袁粲 エンサン
 袁恕己 エンジキ
 袁應泰 エンオータイ
 袁崇煥 エンソウカン
 袁甲三 エンコーサン

袁世凱 エンセイガイ
 涇譚 エンサン
 翁後 オーゴ
 翁同龢 オードーワ
 郭隗 カクカイ
 郭隣 カクリン
 郭昌 カクセフ
 郭恂 カクジュン
 郭闕 カクク
 郭汜 カクヒ
 郭嘉 カクカ
 郭暭 カクマン
 郭子和 カクシカ
 郭孝恪 カクコーカク
 郭子儀 カクシギ
 郭淮 カクワイ
 郭威 カクイ
 郭后 カクコー

郭達 カクタツ
 郭藥師 カクヤクシ
 郭子興 カクシコ
 郭學顯 カクガクケン
 紇升蓋可汗 キッセウガイハン
 許 キ
 許相 キョソ
 許衡 キョコ
 許定國 キョテイコク
 鬼谷先生 キコクセンセイ
 鬼方 キホ
 鬼室福信 キシツフクシン
 鬼燈 キバン
 紀信 キシン
 紀通 キツ
 魚朝恩 ギョテフオン
 魚弘志 ギョコシ
 魚允中 ギョインチュウ

規措所 キンシヨ
 掘術胸鞞 クツエンクタイ
 健跳所 ケンテフシヨ
 啓 ケイ
 啓民可汗 ケイミンハン
 桀 ケツ
 乾時 ケンジ
 乾隆帝 ケンリウテイ
 紅軍 コーダン
 紅丸案 コーガンアン
 國姓爺 コクセンヤ
 國子監 コクシカン
 斛薛 コクセツ
 康王 コーオ
 康居 コーキヨ
 康兆 コーテフ
 康應乾 コーオーケン
 康熙 コーキ

康有爲 コーユイ
 康王搆 コーオーコー
 黄帝 コーテイ
 黄棘 コーキョク
 黄鵠の歌 コーコーのウタ
 黄琬 コーエン
 黄浮 コーフ
 黄巾 コーキン
 黄蓋 コーガイ
 黄邱 コーキョウ
 黄落 コーラク
 黄巢 コーソウ
 黄池 コーチ
 黄霸 コーハ
 黄祖 コーソ
 黄嵬山 コーカイサン
 黄潜善 コーセンゼン
 黄庭堅 コーテイケン

黄子澄 コーシテフ
 黄淮 コーワイ
 黄福 コーフク
 黄龙 コーリョウ
 黄得功 コートクコー
 黄澍 コージツ
 黄道周 コードーシウ
 黄熙允 コーキイン
 黄斌卿 コービンケフ
 黄教喇嘛 コーケフラーマ
 黄教の亂 コーケフのラン
 黄旗 コーキ
 黄宗義 コーソウギ
 寇恂 コージュン
 寇準 コージュン
 峭底 コーテイ
 烽上王 コーゼウオー
 崔慧景 サイケイケイ

崔浩 サイコウ
 崔元暉 サイゲンイ
 崔湜 サイシヨク
 崔胤 サイイン
 崔暉 サイウ
 崔萬生 サイバンセイ
 崔瑩 サイケイ
 崔述 サイジツ
 浚稽山 サンケイサン
 斬將單于 ザンジョゼンウ
 探訪處置使 サイボーショチシ
 笮橋 サクケフ
 郡 ジャク
 悉怛 シツタン
 處羅可汗 ショラハーン
 處羅侯 ショラコー
 茲氏 ジシ
 斜谷 シヤコク

淳于越 ジュンウエツ
 淳于長 ジュンウテフ
 深河 シンカ
 商 セウ
 商均 セウキン
 商湯 セウトー
 商鞅 セウオウ
 商邱 セウキョウ
 商部 セウブ
 聃 ゼン
 章邯 セウカン
 章帝 セフテイ
 章惇 セフジュン
 牂牁郡 セフカゲン
 涉河 セフカ
 涉歸 セフキ
 常平倉 セウヘイン
 常惠 セウケイ

常駿 ゼウシツン
 常遇春 ゼフグーシツン
 常勝軍 ゼウセフグン
 常山の黒山賊 ゼフサンのコクサンゾク
 條支 ゼウジ
 清談 セイタン
 清溪 セイケイ
 清和堡 セイカホ
 船政大臣 センセイダイジン
 孫武 ソンブ
 孫建 ソンケン
 孫程 ソンテイ
 孫堅 ソンケン
 孫策 ソンサク
 孫權 ソンケン
 孫峻 ソンシツン
 孫林 ソンリン
 孫秀 ソンシウ

孫泰 ソンタイ
 孫恩 ソンオン
 孫萬榮 ソンマンエイ
 孫傳 ソンデン
 孫承宗 ソンセフソ
 孫可望 ソンカホ
 孫延齡 ソンエンレイ
 孫士毅 ソンシキ
 孫永清 ソンエイセイ
 孫毓汶 ソンイクブン
 孫傳庭 ソンデンテイ
 曹 ソ
 曹參 ソーサン
 曹窋 ソークツ
 曹褒 ソーホ
 曹大家 ソーダイカ
 曹宗 ソーソ
 曹鳳 ソーホー

曹騰 ソトト
 曹節 ソーセツ
 曹操 ソーソ
 曹洪 ソーコ
 曹丕 ソーヒ
 曹休 ソーキツト
 曹爽 ソーキョ
 曹芳 ソーホ
 曹植 ソーチャク
 曹彬 ソトヒン
 曹邦輔 ソーホーホ
 曹文詔 ソーブンセフ
 曹化淳 ソーカテイ
 曹申吉 ソーシンキツ
 崇侯 ソーコ
 崇綸 ソーリン
 崇厚 ソーコ
 睡契子乙弗 ダケイカンオツフツ

澤齒 タクシ
 陳軫 チンジン
 陳 チン
 陳餘 チンヨ
 陳勝 チンセヌ
 陳嬰 チンエイ
 陳平 チンペイ
 陳湯 チント
 陳茂 チンモ
 陳牧 チンボク
 陳龜 チンキ
 陳省 チンセイ
 陳恭 チンケフ
 陳蕃 チンパン
 陳寔 チンシク
 陳瑒 チンリ
 陳倉 チンソ
 陳顯達 チンケンダツ

陳霸先 チンハセン
 陳叔送 チンシツクダツ
 陳弘志 チンコーシ
 陳壽 チンジツ
 陳橋驛 チンケフエキ
 陳堯叟 チンダフソ
 陳過庭 チンカテイ
 陳日熙 チンジツキ
 陳宜中 チンギチツ
 陳日煊 チンジツカン
 陳益稷 チンエキシヨク
 陳日煊 チンジツソ
 陳友諒 チンユールフ
 陳友定 チンユードイ
 陳叔明 チンシツクメイ
 陳日燦 チンジツケン
 陳熾 チンセン
 陳煒 チンイ

陳日焜 チンジツコン
 陳頤 チンダ
 陳宏 チンアン
 陳天平 チンテンペイ
 陳季擴 チンキカク
 陳祖義 チンソギ
 陳壽 チンス
 陳九疇 チンキョウト
 陳東 チント
 陳寅 チンイン
 陳璘 チンリン
 陳璘 チンサン
 陳倫 チンリン
 陳良策 チンレフサク
 陳繼盛 チンケイセイ
 陳奇瑜 チンキユ
 陳永福 チンエイフク
 陳萬春 チンバンシウ

陳錦 チンキン
 陳樹黨 チンジット
 敕連可汗 チョクレンハーン
 紂 チョ
 通濟渠 ツーセイキ
 通判 ツーパン
 通州 ツーシウ
 屠建 トケン
 屠者單于 トキゼンウ
 都斤山 トキンサン
 都察院 トサツイン
 都統 トト
 訥殷 ナイン
 訥言 ノーゲン
 訥爾經額 ナルキンエ
 弩爾哈赤 ヌルハチ
 捻匪 ネンピ
 浪水 バイスイ

涪 ン
 涪陵王 バイレフオー
 涪城 バイゼフ
 梅錄嘏 バイロクセツ
 梅文鼎 バイブンテイ
 婆娑王 バシッオー
 飛燕 ヒエン
 肥水 ヒスイ
 麻奴 マド
 麻葉 マヨ
 麻貴 マキ
 曼邱臣 マンキョーシン
 曼柏城 マンハクゼフ
 猛如虎 モージヨコ
 野王 ヤオー
 野人衛 ヤジンエイ
 庸 ヨ
 欲谷設 ヨクコクセツ

陽穀 ヨーコク
 陽翟 ヨーテキ
 陽城 ヨーゼウ
 陽人聚 ヨージンシウ
 陽虎 ヨーコ
 陽武 ヨーブ
 陽關 ヨーカン
 陽慎 ヨーシン
 留後 リウゴ
 流沙 リウサ
 陸渾 リクコン
 陸賈 リクカ
 陸口 リクコ
 陸遜 リクソン
 陸抗 リクコ
 陸贄 リクシ
 陸九淵 リクキウエン
 陸游 リクユ

陸秀夫 リクシウフ
 陸探微 リクタンビ
 婁敬 ルケイ
 婁師德 ルシトク
 梁 レウ
 梁師賀 レウキョウガ
 梁竝 レウヘイ
 梁氏 レウシ
 梁商 レウセウ
 梁冀 レウキ
 梁熙 レウキ
 梁師都 レウシト
 梁建方 レウケンホ
 梁王 レウオ
 梁森 レウト
 梁芳平 レウホトヘイ
 梁啓超 レウケイテウ
 連衡 レンコウ

連名公書 レンメイコウシ
 涼州 レフシフ
 狼城 ローゼン
 狼居胥 ローキョシ
 狼莫 ローバク
 浪泊 ローハク
 狼穹 ローキョウ
 勒克德渾 ロクトコン
 淮夷 ワイイ
 淮南王安 ワイナンオアン
 淮陽王 ワイヨオ
 淮南王允 ワイナンオイン

雲陵 ウンレフ

十二畫

遊引索引 十二畫

雲中 ウンチュウ
 雲南王 ウンナンオ
 焉支山 エンキサン
 焉耆 エンキ
 鄯 ン
 鄯居水 エンキスイ
 渴槃陀 カツバンタ
 訶黎布失畢 カレイフシツヒ
 街亭 ガイテイ
 魁頭 カイト
 寒 カン
 雁門 ガンモン
 貫 カン
 葛 カツ
 葛坡 カツハ
 葛勒可汗 カツロクハン
 葛邏支 カツラシ
 葛郎國 カツロコク

喀喇沁 カラチン
 喀爾喀 カルガ
 棘城 キョクゼウ
 喜爲 キイ
 渠犁 キロリ
 葵邱の會 キキョーのカイ
 鶴臺 キンタイ
 御史大夫 ギョシタイフ
 喬一琦 ケフイッキ
 岫夷 グーイ
 堅昆 ケンコン
 劇賓 ケイヒン
 敬暉 ケイクン
 敬謹王尼塔 ケイキンオーニカン
 奚、ケイ
 奚結 ケーケツ
 奚駒 ケイク
 景帝 ケイテイ

景賁 ケイホン
 景教 ケイケフ
 景淨 ケイゼフ
 景廉 ケイレン
 崑陵 コンレフ
 渾 コン
 渾崑崙 コンタイキ
 黑崗常之 コクシゼフシ
 黑山派 コクサンハ
 黑旗 コクキ
 黑水靺鞨 コクスイマツカツ
 項燕 コーエン
 項梁 コーレフ
 項籍 コーセキ(項羽コーウ)
 項伯 コーハク
 項莊 コーソウ
 徼 コー
 遼中 コーチャウ

散宜生 サンギセイ
 散關 サンカン
 散達 サンキ
 索班 サクハン
 索頭部 サクトーブ
 索綯 サクリン
 索諾木 ソノム
 索額圖 ソエド
 舒元興 ショゲンヨ
 順 シュン
 順帝 シュンテイ
 順承郡王勒爾錦 シュンセフゲンオーロクルキン
 順安半島 シュンアンハント
 進士 シンシ
 閩振單子 シュンシンセンウ
 奢崇明 シヤソウメイ
 隋何 ズイカ
 隋公 ズイコー

須買 スウカ
 須卜當 スボクトー
 須卜骨都 スボクコツト
 須昌 スウセフ
 須門那 スメンナ
 税間架法 ゼイカンカホー
 焦 セフ
 單于 ゼンウ
 單于輿 ゼンウヨ
 單于比 ゼンウヒ
 單超 タンテフ
 單雄信 タンユーシン
 春陵 セフレフ
 湘水 セフスイ
 湘勇 セフユ
 盛樂 セイラク
 盛京 セイケフ
 盛庸 セイヨウ

傳安 フアン
 傳育 フイク
 傳亮 フレウ
 傳友徳 フユートク
 富利多塞 フリタサイ
 富弼 フーヒツ
 富良江 フーレフコ
 富察 フーサツ
 評議員 ヘフギイン
 渤海 ボツカイ
 逢侯 ホーコ
 逢義山 ホーギサン
 梵語 ボンゴ
 梵志 ボンシ
 募役法 ボエキホ
 望夷宮 ホーイキウ
 彭越 ホーエツ
 彭陽 ホーヨ

彭真年 ホーキネン
 彭澤 ホータク
 彭春 ホーシン
 無終 ムシウ
 幽 ニー
 幽王 ユーオ
 幽陵 ユーレウ
 揚子 ヨーシ
 揚僕 ヨーボク
 揚玉 ヨーギョク
 揚彪 ヨーホウ
 揚奉 ヨーホ
 揚駿 ヨーシウ
 揚駒 ヨーク
 揚定 ヨーテイ
 揚堅 ヨーケン
 揚素 ヨーソ

揚玄感 ヨーゲンカン
 揚復恭 ヨーフクケフ
 揚於陵 ヨーオレフ
 揚子復 ヨーシフク
 揚炎 ヨーエン
 揚雄 ヨーユ
 揚炯 ヨーケイ
 揚太真 ヨータイシン
 揚貴妃 ヨーキヒ
 揚國忠 ヨーコクチュウ
 揚行密 ヨーコミツ
 揚遵勛 ヨージュンキョク
 揚庭堅 ヨーテイケン
 揚宋 ヨーソ
 揚士奇 ヨーシキ
 揚溥 ヨーフ
 揚廷和 ヨーテイカ
 揚方亨 ヨーホーコ

揚榮 ヨーエイ
 揚鎬 ヨーコ
 揚載 ヨーサイ
 揚維楨 ヨーイテイ
 揚子奇 ヨーシキ
 揚應龍 ヨーオレフ
 揚鶴 ヨーカク
 揚廷麟 ヨーテイリン
 揚芳 ヨーホ
 揚秀成 ヨーシューセイ
 揚遇春 ヨーグーシン
 揚華津 ヨーカシン
 揚儒 ヨージュ
 隆中 リウチュウ
 隆基 リーキ
 隆德府 リウトクフ
 隆文 リウブン
 琉球事件 リウキウジケン

勞深 ローシン
琅邪王佃 ローヤオーテキ
琅邪王容 ローヤオーエイ
琅邪王徳文 ローヤオートクブン

十三畫

愛親覺羅氏 アイチンギョロシ
愛瑋 アイゲン
越裳氏 エッショウシ
越 エツ
越析 エツセキ
越南 エツナン
圓明園 エンメイエン
溫祚 オンソク
溫宿 オンシヨク
溫國公 オンコクコ

鄂 ガク
鄂爾多斯 オルドス
鄂多里 オトリ
鄂勒歡 オルカン
鄂州 ガクシウ
解縉 カイシン
靳準 キンジュン
漁陽 ギョウヨウ
義和 ギカ
義渠 ギキョ
義帝 ギテイ
義縱 ギジウ
義真 ギシン
義成公主 ギセイコウシ
義淨 ギゼフ
義慈 ギジ
義和團 ギカダン
鉅鹿 キョロク

索引索引 十三畫

末

溫體仁 オンタイジン
窩謀罕 オーボトカン
賈誼 カギ
賈皇后 カコウゴ
賈元碩 カゲンセキ
賈逵 カキ
賈摸 カモ
賈公闕 カコウリ
賈易 カエキ
賈似道 カジド
賈勝 カセフ
滑臺 カツダイ
隗崔 カイサイ
隗義 カイギ
隗囂 カイゴ
蚩賊 ガゾク
遇業 カギ
會稽 カイケイ

鞠徹 ケイテツ
惠帝 ケイテイ
健爲郡 ケンイゲン
郟 コ
號多 ゴタク
號吾 ゴゴ
號封 ゴホフ
蔡 サイ
蔡彤 サイテン
蔡愔 サイイン
蔡諷 サイフ
蔡倫 サイリン
蔡侯紙 サイコウシ
蔡確 サイカク
蔡京 サイケフ
蔡卞 サイベン
蔡攸 サイエイ
蔡攸頭 サイラント

七九

蔡牽 サイケン
 細君 サイクン
 符闡 サクカン
 笮 サク
 塞種 サクシウ
 碎葉城 サイヨルゼウ
 載垣 サイエン
 舜 シュン
 毋灌 シンカン
 毋尋 シンジン
 蜀 ショク
 蜀黨 ショクトー
 壽春 ジウシュン
 壽王 ジウオー
 新安 シンアン
 新都侯 シントコー
 新市 シンシ
 新野公韻 シンヤコーイン

新 シン
 新鄭 シンテイ
 新羅 シンラ
 終軍 シウゲン
 嗣德 シトク
 準噶爾部 ジウンガルブ
 鄭元標 スーゲンヘフ
 瑞佐 ズイサ
 遂 スイ
 紹治 セフチ
 紹興紹述 セフセイセフジウツ
 靖康の難 セイコーのナン
 靖南王 セイナンオー
 詹事府 センジフ
 楚 シ
 楚王璋 ソオーイ
 楚黨 ソト
 楚勇 ソユ

楚丘 ソキウ
 楚南公 ソナンコー
 疏勒 ソロク
 疏石 ソセキ
 搜諧若鞮 ソーカイジアクテイ
 蒼梧 ソーゴ
 蒼頡 ソーキツ
 達頭 タツト
 達漫 タツマン
 達魯古城 タツロクゼフ
 達瓦齊 ダワチ
 達洪阿 タコア
 達爾札 タルジャ
 帶方 タイホー
 張儀 テフギ
 張祿 テフロク
 張良 テフレフ
 張耳 テフジ

張厭里 テフエンリ
 張羽 テフウ
 張武 テフブ
 張騫 テフケン
 張相如 テフセウジ
 張次公 テフジコー
 張湯 テフト
 張安世 テフアンセイ
 張禹 テフウ
 張充 テフジウ
 張霸 テフハ
 張參 テフサン
 張印 テフゴ
 張堪 テフカン
 張朗 テフロ
 張璠 テフト
 張耿 テフコ
 張奐 テフカン

張紆 テフツ
 張愷 テフガイ
 張綱 テフコ
 張汎 テフハン
 張儉 テフケン
 張成 テフセイ
 張角 テフカク
 張純 テフジュン
 張邈 テフボ
 張超 テフテウ
 張飛 テフヒ
 張紘 テフコ
 張邈 テフゲキ
 張揚 テフヨ
 張昭 テフセウ
 張郃 テフキョ
 張翼 テフヨク
 張特 テフトク

張仁愿 テフジンゲン
 張耆 テラキ
 張載 テンサネ
 張邦昌 テンボウセフ
 張叔夜 テフシツクヤ
 張浚 テフサン
 張世傑 オフセイケツ
 張弘範 テンコハン
 張立道 テオツツド
 張士誠 テフシセイ
 張思道 テフシド
 張太后 テラタイコ
 張正 テフギョク
 張輔 テフボ
 張經 テフケイ
 張瑰 テラカイ
 張差 テフサ
 張承隱 テメセフオン

張華 テフカ
 張方 テフホ
 張帆 テフキ
 張重華 テフヂョウカ
 張祚 テフソ
 張金 テフキン
 張須佗 テフスダ
 張實相 テフジツソ
 張亮 テフレフ
 張易之 テフエキシ
 張昌宗 テフセウソ
 張柬之 テフカンシ
 張志忠 テフシチウ
 張孝忠 テフコチウ
 張九齡 テフキョレイ
 張守珪 テフシツケイ
 張巡 テフジュン
 張睢陽 テフスイヨ

張鶴鳴 テフカクタイ
 張獻忠 テフケンチウ
 張縉彦 テフシンゲン
 張肯堂 テフケンド
 張國柱 テフコクチュ
 張名振 テフメイシン
 張煥言 テフコトゲン
 張廣泗 テフコウシ
 張門陶 テフモント
 張延玉 テフナイギョク
 張心祿 テフシンロク
 張亮 テフレフ
 張世謨 テフセイモ
 張家潯 テフカウソ
 張居正 テフキョセイ
 張積言 テフテイゲン
 張樹聲 テフジュセイ

張之萬 テフシマン
 張蔭桓 テフインカン
 登前 トーゼン
 登利可汗 トリハーン
 登理可汗 トリハーン
 督亢 トクコー
 督糧道 トクレフド
 塗山 トザン
 道家 ドーカ
 道武帝 ドーブテイ
 道教 ドーケフ
 道淵 ドーエン
 道員 ドーイン
 道臺 ドーダイ
 媒山 バイサン
 幕天坡 バクテンハ
 微子 ビシ
 費禕 ヒイ

費揚古 ファイヤンコ
 復株參着靴 フクシツサンチアクタイ
 馮劫 ヘフジン
 馮奉世 ヘフホーセイ
 馮異 ヘフイ
 馮禪 ヘフゼン
 馮述 ヘフジツツ
 馮嵩 ヘフスウ
 馮遷 ヘフセン
 馮跋 ヘフバツ
 馮道 ヘフド
 馮勝 ヘフセフ
 馮雲山 ヘフウンザン
 馮子材 ヘフシザイ
 蒲坂 ホハン
 蒲姑 ホコ
 蒲陽 ホヨ
 蒲將軍 ホセウダン

蒲奴 ホド
 蒲濱 ホヒン
 蒙驚 モーゴ
 蒙恬 モーテン
 蒙山 モーザン
 蒙嵩 モーセン
 蒙舍 モーシヤ
 蒙古 モーコ
 雅克薩 ヤクサ
 裕親王福全 ユーシンオーフクゼン
 裕謙 ユーケン
 葉 ヨー
 葉譚 ヨーゴ
 葉名琛 ヨーメイシン
 葉向高 セフセフコー
 廉頗 レンパ
 廉丹 レンタン
 廉范 レンハン

廉希憲 レンキケン
 零昌 レイセフ
 零陵王 レイレフオー
 路充國 ロジウコク
 路博德 ロバクトク

十四畫

蔚山 ウルサン
 榮の夷公 エイのイコー
 鄒 エン
 睿宗 エイソ
 睿親王 エイシンオー
 鞅葉特勒 オーヨートクロク
 幹難不 オーナシブ
 漢中 カンチュ
 漢學 カンガク

漢委奴國王 カンイドコクオ
 漢山城 カンザンゼン
 漢王高煦 カンオーコーク
 碣石 カツセキ
 管蔡の徒 カンサイのト
 管仲 カンチ
 管 カン
 管河道 カンカド
 管理大臣 カンリダイジン
 赫連勃勃 カクレンボツボツ
 赫業 カクゲフ
 赫圖阿拉 ホトアラ
 蓋牟城 ガイムゼフ
 蓋平 ガイヘイ
 嘉班 カハン
 嘉義 カギ
 嘉隆 カリョウ
 箕子 キシ

箕山 キサン
 箕準 キジュン
 僞學の禁 ギガクのキン
 旗兵 キヘイ
 虞 グ
 虞翊 グヨク
 虞幡 グハン
 虞世南 グセイナン
 虞允文 グインブン
 虞集 グシツ
 揭傒斯 ケイケイシ
 揭康熙 ケイコウキ
 榮陽 ケイヨウ
 甄豐 ケンホウ
 甄邯 ケンカン
 甄阜 ケンフ
 甄董 ケントン
 廓爾喀 コルカ

閣邏風 コーラホ
 喙陀柯 コダカ
 參合坡 サンゴ
 參議 サンギ
 緊刁 ジツテウ
 爾朱榮 ジシウエイ
 爾朱世隆 ジシウセイリウ
 滇良 シンレフ
 滇吾 シンゴ
 滇岸 シンガン
 滇零 シンレイ
 眞顔山趙信城 ジンガンサンテフシンゼン
 潤生 ジュンセイ
 齊 セイ
 齊王問 セイオーセン
 齊萬年 セイバンネン
 齊騶 セイスト
 齊秦 セイタイ

齊黨 セイト
 節度使 セツタクシ
 戰國七雄 センゴクヒチユ
 僧懷飛 ソーカイギ
 僧道淵 ソードトエン
 僧格林沁 サンコリンシン
 僧急里 サンキリ
 緒淵 チロエン
 緒燕 チコエン
 緒亮 チロウ
 褚遂良 チュスイレフ
 察哈爾 チャハトル
 趙 テフ
 趙衰 テフスイ
 趙盾 テフトン
 趙奢 テフシャ
 趙括 テフカツ
 趙葱 テフツト

趙高 テフコロ
 趙歇 テフカン
 趙涉 テフセウ
 趙食其 テフイキ
 趙信 テフシン
 趙破奴 テフハド
 趙充國 テフジツコク
 趙佗 テフダ
 趙馮 テフウ
 趙廣漢 テフコカ
 趙冲 テフチャウ
 趙苞 テフホ
 趙戒 テフカイ
 趙忠 テフチャウ
 趙宏 テフコ
 趙雲 テフウン
 趙王倫 テフオリン
 趙贊 テフサン

趙歸真 テフキシ
 趙匡胤 テフケウイン
 趙普 テフフ
 趙高 テフス
 趙挺 テフテイ
 趙良嗣 テフレフシ
 趙倫 テフリ
 趙如愚 テフジヨク
 趙印發 テフゴハツ
 趙壁 テフヘキ
 趙秩 テフチツ
 趙煥 テフカン
 趙文華 テフブンカ
 趙南星 テフナンセイ
 趙復 テフフク
 趙孟頫 テフモテフ
 趙夢麟 テフムリン
 趙率教 テフリツケフ

趙光遠 テフコエ
 趙布泰 テフフタイ
 趙翼 テフヨク
 頓莫莫 トンモガ
 當陽 トヨウ
 寧江州 ネイコシウ
 寧王宸濠 ネイオトシンゴ
 寧波 ネイハ
 寧平 ネイヘイ
 寧古塔貝勒 ニングタバイレ
 閩越 ビンエツ
 閩 ビン
 鄱回 ヒカイ
 賓尹 ビンイン
 福康安 フクコアン
 福王由崧 フクオユセフ
 僕固 僕固
 僕固懷恩 ボクコカイオン

索引索引 十四畫

鳳凰坡 ホーオトハ
 鳳凰城 ホーオトゼフ
 慕護跋 ボゴバツ
 慕容氏 ボヨシ
 慕容胤 ボヨカイ
 慕容皝 ボヨコ
 慕容儁 ボヨシウ
 慕容霸 ボヨハ
 慕容于 ボヨウ
 慕容恪 ボヨカク
 慕容垂 ボヨスネ
 慕容泓 ヨト
 慕容農 ボヨノ
 慕容德 ボヨトク
 慕容冲 ボヨト
 漫天王 マンテン
 滿洲 マンチウ
 滿洲部 マンチウブ

滿洲文字 マンチウーモンジ
 滿洲問題 マンチウーモンダイ
 滿洲還付條約 マンチウーカンブゼフヤク
 鳴條 メイデフ
 珲地都督 ヨトチトトク
 與獻王 ヨケンオー
 雅城 ラクゼフ
 黎桓 レイカン
 黎龍銀 レイリウーエツ
 黎龍廷 レイリウーテイ
 黎明堤 レイメイテイ
 黎明利 レイメイキョク
 黎利 レイリ
 黎彬 レイコー
 黎暲 レイチウー
 黎諷 レイケイ
 黎會榜 レイユーボー
 黎庶 レイコト

黎寧 レイネイ
 黎維視 レイイシ
 黎維備 レイイセン
 黎維祜 レイイキ
 黎文悅 レイブンエツ
 黎庶昌 レイジヤフ
 歷城 レキゼフ
 歷山飛 レキザンヒ
 厲王 レイオー
 廖化 レフカ
 黎寧
 黎維視
 黎維備
 黎維祜
 黎文悅
 黎庶昌
 歷城
 歷山飛
 厲王
 廖化

十五畫

鴉牙 アヘン
 遠交近攻策 エンコトキンコトサク
 遠國會社 エンコクカイシヤ

衛 エイ
 衛紹 エイカン
 衛青 エイセイ
 衛滿 エイマン
 衛右渠 エイユーキ
 衛山 エイサン
 衛律 エイリツ
 衛氏 エイシ
 衛瓘 エイカン
 衛允文 エイインブン
 橫陽君成 オーヨートンセイ
 滅貊 カイハク
 駕洛 カラ
 魏公 カクコ
 魏亭 カクテイ
 魏文字 カトモンジ
 魏里 カイリ
 監 カン

噶爾丹 ガルダン
 噶爾丹策零 ガルダンチーリン
 噶爾匪 ガルガイ
 噶爾瑪濟農 カルマチーノン
 噶爾悉弄 キドシツロー
 額伽施多那都藍可汗 キツカシタナトランハー
 額利 キツリ
 額跌 キツテツ
 銀川崇 ギンセンサイ
 輝發 キハツ
 慶親王 ケイシンノ
 劇辛 ゲキシ
 曉關 ゲフカン
 劍閣 ケンカク
 鄉貢 ケフコ
 薊 ケイ
 濱河 コトカ

膠州灣 コーシューワン
 廣野君 コーヤクン
 廣宗 コーソ
 廣陵 コーリ
 廣漢 コーカン
 廣阿 コーア
 廣東條約 カントンゼフヤク
 廣王長 コーオーヘイ
 廣寧 コーネイ
 穀城 コクゼフ
 穀塘原 コクトーゲン
 穀梁 コクレフ
 媿壽 コードク
 絳 コー
 碣磬 コーゴ
 酸棗 サンキョク
 贊普 サンフ
 諸葛亮 ショカツレフ

諸葛誕 ショカツタン
 諸葛騰 ショカツセン
 諸葛恪 ショカツカク
 諸維 ショラ
 肅慎氏 ショクシンシ
 肅親王 ショクシンノ
 審食其 シンイキ
 醇親王 ジュンシンノ
 熟女眞 ジョクジョシン
 蹇士 センド
 鄒善 センゼン
 鄒善王廣 センゼンオトコ
 錢府 センフ
 錢認 センコ
 錢一本 センイッポン
 蔣琬 セフエン
 蔣貴 セフキ
 蔣士餘 セフシセン

遷界令 センカイレイ
 瘦亮 ソーレフ
 增祺 ゴーキ
 翟義 タクギ
 翟超 タクテフ
 翟斌 タクビン
 翟護 タクゼフ
 臺吉布爾噶圖 タイキフルカト
 臺海 タイワン
 揮國 タンコク
 疑 チ
 駐防將軍 チウーホーセフゲン
 秦宗弄讚 チツンルンツァン
 樂 キ
 圖倫城 ツロンゼフ
 圖理琛 ツリシン
 鄭 泰イ
 鄭吉 泰イキツ

鄭衆 泰イショウ
 鄭勤 泰イキン
 鄭颯 泰イサツ
 鄭泰 泰イタイ
 鄭仁泰 泰イジンタイ
 鄭注 泰イチウ
 鄭玄 泰イゲン 又ハ デフゲン
 鄭和 泰イカ
 鄭綏 泰イスイ
 鄭貴妃 泰イキヒ
 鄭夢周 泰イムシウ
 鄭鴻遠 泰イコウケン
 鄭芝龍 泰イシレフ
 鄭成功 泰イセイコ
 鄭彩 泰イサイ
 鄭經 泰イケイ
 鄭聯 泰イレ
 鄭乙 ナイイツ

鄭昭 テイセフ
 鄭森 テイシン
 徵側 テフソク
 徵貳 テフジ
 德陽 トクヨ
 德戡 トクカン
 德禱秦勅保 トクヤメタイロクホ
 統萬城 トーマンゼフ
 統葉護可汗 トーヨーゴハーン
 統吐屯 トートトン
 遼關 トーカン
 藤 トー
 熱河 ネカ
 諾曷鉢 ノーカツハツ
 諾真水 ノーシンスイ
 樊噲 ハンカイ
 樊於期 ハンオキ
 樊陵 ハンレフ

樊崇 ハンソ
 裴頡 ハイカイ
 裴叔業 ハイシツクゲフ
 裴矩 ハイク
 裴寂 ハイシツク
 裴度通 ハイケンツ
 裴行儉 ハイコーケン
 裴度 ハイド
 裴珪 ハイキ
 裴耀卿 ハイヨクケフ
 裴伯者 ハイハクキ
 裴遵 ハイジツン
 盤庚 パンコ
 盤羅茶全 パンラサセン
 盤羅茶悅 パンラサエツ
 潘美 ハンビ
 潘宗顏 ハンソーガン

嶺陽 ヒンヨ
 蕪婁亭 フローテイ
 鮑叔 ホーシツク
 鮑宣 ホーセン
 鮑信 ホーシン
 澎湖島 ホーコト
 墨子 ボクシ
 摩羅難陀 マーラナンダ
 摩尼教 マニケフ
 摩尼寺 マニジ
 摩沙蠻 マサバン
 榆中 ユチュウ
 榆木川 ユボクセシ
 能貨 ユーシ
 熊輝 ユーキ
 熊津 ユーシン
 熊婁生 ユールセイ
 熊廷弼 ユーテイヒツ

重引米引 十五世

熊文燦 ユーブンサン
 雍 ー
 雍齒 ヨーシ
 雍閼 ヨーガイ
 雍正帝 ヨーセイテイ
 輪臺 リンタイ
 諒山 レフサン
 濼洛關閼 レンラクカンピン
 魯 ー
 魯陽 ローヨ
 魯仲連 ローチュウレン
 魯王以海 ローウイカイ
 樓緩 ローカン
 樓蘭 ローラン
 樓煩 ローハン
 論欽陵 ロンキンレフ
 論訥維 ロンネーラ

十六畫

燕 エン
燕然山 エンゼンサン
燕支山 エンキザン
燕雲十六州 エンウンジワーロクシワー
燕王棧 エンオーテー
關氏 エンシ、
關與 エンヨ
鶻菴濼 エンオーラン
莫健 オクケン、
歐陽欽 オーヨーキョ
歐陽和伯 オーヨーカーハク
歐陽詢 オーヨージョ
歐陽修 オーヨージョ
二應昌 オーセフ

霍 カク
霍去病 カクキョヘイ
霍光 カクコ
霍氏の亂 カクシのラン
霍顯 カクケン
霍邑 カクユ
霍仙鳴 カクセンメイ
霍爾果斯 コルゴス
開方 カイホ
開元の名臣 カイクエンのメイシン
開平 カイピン
開化黨 カイカト
鞏 カツ
鞏顯 カツレフテン
學士 ガクシ
學務所 ガクムシ
學務大臣 ガクムダイジン
黔中 キンチョ

熙河路 キカロ
錦臺什 キンタイジッ
錦州 キンショ
諺文 ゲンブン
憲宗 ケンソ
稽粥 ケイデキ
稽侯柎 ケイコーサク
稽落山 ケイラクサン
橋瑁 ケウマイ
鄴 ゲウ
興洛倉 コーラクソ
興昔亡可汗 コーセキボーハーン
興清滅洋 コーシンメツヨ
興慶 コーケイ
壹衍鞬 コエンテイ
儒家 ジョカ
錫伯 シベ
錫訥圖 シノート

錫蘭國王阿列苦奈兒 セイロンコクオーアレク
ナル
薛 セツ
薛延陀 セツエンダ
薛延陀俟斤字也陸 セツエンダチキンウヤテツ
薛舉 セツキョ
薛萬均 セツマンキン
薛仁貴 セツジンキ
薛訥王陵 セツノーオーシロン
薛嵩 セツス
薛敷敷 セツフケフ
薛瑄 セツセン
鮮于 センビ
鮮于仲通 センウチョーツ
選 セン
檀 セイ
燒當卷 セフトーキョ
澶州 センショ

澶淵の誓 センエンのチカヒ、
 彈汗山 ダンカンサン
 澤州 タクシツ
 遲敬德 チケイトク
 梅里茨 チリシツ
 察 テン
 徹法 テツホー
 鄧光 トーコ
 鄧公 トーコ
 鄧禹 トーツ
 鄧固 トーコ
 鄧鴻 トーコ
 鄧訓 トークン
 鄧隆 トーシツ
 鄧遊 トーシツ
 鄧氏 トーシ
 鄧芝 トーシ
 鄧艾 トーカイ

鄧淑子 トーシツクシ
 鄧愈 トーユ
 鄧子龍 トーシリツ
 歐欲牙 トンヨクガ
 頭曼 トーマン
 頭兵可汗 トーヘイハレン
 獨立黨 ドクリツト
 廣邱 ハウキョウ
 渾池 ウンチ
 辨韓 ベンカン
 褒姒 ホーシ
 褒成侯 ホーセイコ
 褒中 ホウチュウ
 稷王 ショクオウ
 鄧 ホー
 磨延曷 マエンセツ
 澳門 マウマン

綿竹 メンチク
 濠池 ホーチ
 默唼 モクセツ
 默棘連 モクキョクレン
 諭德願 ユトクコ
 徐吾水 ヨゴスイ
 徐善 ヨゼン
 豫不揚 ヨヒヨ
 豫親王 ヨシンノ
 駱谷 ラクコク
 駱賓王 ラクビンオ
 賴恩 ライオン
 履癸 リキ
 劉邦 リウホウ
 劉季 リウキ
 劉章 リウセフ
 劉敬 リウケイ
 劉禮 リウレイ

劉德 リウトク
 劉更生 リウコウセイ
 劉向 リウキョウ
 劉崇 リウシュウ
 劉信 リウシン
 劉績 リウキン
 劉秀 リウシウ
 劉稷 リウシツ
 劉玄 リウゲン
 劉望 リウボウ
 劉林 リウリン
 劉接 リウケツ
 劉植 リウシツ
 劉盆子 リウボンシ
 劉永 リウエイ
 劉隆 リウリウ
 劉楨 リウテイ
 劉瑄 リウセン

劉茂 リウモ
 劉瑜 リウユ
 劉陶 リウト
 劉庚 リウゴ
 劉弘 リウコ
 劉岱 リウタイ
 劉備 リウビ
 劉繇 リウエン
 劉表 リウヘフ
 劉琮 リウソ
 劉喬 リウケフ
 劉輿 リウヨ
 劉豹 リウヘフ
 劉淵 リウエン
 劉曜 リウヨ
 劉琨 リウコン
 劉隗 リウカイ
 劉聰 リウソ

劉牢之 リウロウシ
 劉裕 リウユ
 劉衡辰 リウエイシン
 劉方 リウホウ
 劉苗王 リウベフオウ
 劉文靜 リウブンセイ
 劉武周 リウブシウ
 劉仁軌 リウジンキ
 劉仁願 リウジンガン
 劉祥道 リウセフド
 劉元鼎 リウゲンテイ
 劉闢 リウヘキ
 劉克明 リウコクメイ
 劉季述 リウキジツ
 劉德裕 リウトクユ
 劉焯 リウシヤク
 劉炫 リウゲン
 劉秉 リウヘイ

劉璋 リウヂヤウ
 劉知遠 リウヂエン
 劉崇 リウソウ
 劉仁恭 リウジンケフ
 劉陰 リウイン
 劉忱 リウタン
 劉執 リウシ
 劉安世 リウアンセイ
 劉瑗 リウエン
 劉延慶 リウエンケイ
 劉彦宗 リウケンソ
 劉安 リウアン
 劉豫 リウヨ
 劉綺 リウキ
 劉整 リウセイ
 劉秉忠 リウヘイチュウ
 劉福通 リウフクトウ
 劉益 リウエキ

書引索引、十六班

劉璋 リウキヤウ
 劉健 リウケン
 劉江 リウコウ
 劉顯 リウケン
 劉縱 リウテイ
 劉基 リウキ
 劉招孫 リウセフソン
 劉遇節 リウグセツ
 劉興祚 リウコソ
 劉興治 リウコヂ
 劉之綸 リウシンリン
 劉宗敏 リウソウビン
 劉孔昭 リウコウセフ
 劉澤清 リウタクセイ
 劉良佐 リウレフサ
 劉肇基 リウテフキ
 劉洪起 リウコウキ
 劉進忠 リウシンチュウ

劉芳亮 リウホーホーレフ
劉同升 リウドーセフ
劉之協 リウシケン
劉銘傳 リウメイデン
劉承允 リウセフイン
劉永福 リウエイフク
遼隊 レウタイ
遼東王 レフトーオー
遼 レフ
潞川 ハセン
潞王常洪 ロオーセフホー

十七畫

嘸噠 エフタル
潁川郡 エイセングン

閻氏 エンシ
閻立本 エンリッホ
閻若璩 エンジャクキ
閻敬祿 エンケイロク
翰林院 カンリンイン
麴文泰王 キクブンタイ
麴伯雅 キクハクガ
戲曲 キキク
犂靬 クンイク
疆都忽 ケウスーコフ
深州 ゴーシュー
薩川 サツセン
薩布素 サブス
薩都刺 サツトラ
薩爾汗山 サルホサン
賽尙阿 サイセフア
濟物浦 サイブツホ
謝躬 ショウキョウ

謝安 シヤアン
謝石 シヤセキ
謝玄 シヤゲン
謝晦 ショカイ
謝靈運 シヤレイウン
謝野 シヤヤ
謝枋得 シヤポートク
燧人氏 スイジンシ
聰容貝勒 ソーエイバイレ
藉田 セキデン
鍾會 セフカイ
戴德 タイトク
戴聖 タイセイ
檀石塊 タンセキカイ
檀道濟 タンドーセイ
齊薩 チッサ
濟度 チド
墨摩竭 ドンマカツ

並引索引 十七畫

遼曠 トーエン
濮陽 ボクヨウ
隸陽 ボー
緬甸 メン
緬甸 メンヨク
緬甸 メンデン
優留單于 ヌーリョーセンウ
龍城 リョウゼン
龍山 リョウサン
龍巖浦 リョウガンホ
綠林 リョクリン
綠旗 リョクキ
綠兵處 レンベキ
練軍 レングン

17011

十八畫

韓生 エンセイ
韓固生 エンコセイ
額勒登保 エルトホ
額勒和布 エルホフ
樂毅 ガクキ
樂浪 ガクロー
樂浪公 ガクローコ
樂都 ガクト
樂平 ラクヘイ
闔閭 カツリコ
顏聚 ガンシヨ
顏師古 ガンシコ
顏真卿 ガンシンケイ
顏杲卿 ガンゴケイ
顏常山 ガンゼフザン
顏彪 ガンヘツ

韓休 カンキョ
韓暹 カンセン
韓延徽 カンエンキ
韓杞 カンキ
韓琦 カンキ
韓縝 カンシン
韓維 カンイ
韓忠彥 カンチョゲン
韓世忠 カンセイチョ
韓侂胄 カンタクチョ
韓山童 カンサンド
韓林兒 カンリンジ
韓雍 カンヨ
韓明璉 カンメイレン
韓贊周 カンサンショ
韓拱微 カンゴビ
簡定 カンテイ
龜茲 キョージ

進引索引 十八畫

韓侯 カンコ
韓非子 カンビシ
韓廣 カンコ
韓生 カンセイ
韓信 カンシン
韓安國 カンアンコク
韓王信 カンオーシン
韓說 カンエツ
韓延壽 カンエンジ
韓增 カンゾ
韓琮 カンソ
韓忠 カンチョ
韓馥 カンフク
韓城 カンゼフ
韓全誨 カンセンカイ
韓建 カンケン
韓嬰 カンエ
韓愈 カンユ

龜茲王建 キョージオーケン
歸義越侯嚴 キギエツコトケン
歸義 キギ
歸有光 キユコー
關特勤 ケルトキン
關里 ケツリ
雜家 ザツカ
襄公 ゼウコト
襄國 ゼウコク
襄平 ゼウヘイ
襄楷 ゼウカイ
襄陵 ゼウリョ
蕭 セウ
蕭何 セウガ
蕭關 セウカン
蕭望之 セウボシ
蕭道成 セウドーセイ
蕭懿 セウラン

蕭坦之 セウタンシ
 蕭懿 セウイ
 蕭衍 セウエン
 蕭穎胄 セウエイチウ
 蕭銑 セウセン
 蕭瑀 セウリ
 蕭嗣業 セウシゲウ
 蕭至忠 セウシチウ
 蕭孚泗 セウフシ
 蕭太后 セウタイコ
 蕭禧 セウキ
 蕭素 セウソ
 蕭訥木謹 セウノモクキン
 蕭奉先 セウホーセン
 蕭翁臺 セウオーダイ
 蕭尙 セツセウ
 蕭傑人 セツケツジン
 蕭從 ソジツ

蘇秦 ソシン
 蘇代 ソダイ
 蘇厲 ソレイ
 蘇意 ソイ
 蘇建 ソケン
 蘇武 ソブ
 蘇茂 ソモ
 蘇定 ソテイ
 蘇峻 ソシツ
 蘇伐公 ソバツコ
 蘇定方 ソテイホ
 蘇海政 ソカイセイ
 蘇絨 ソカン
 蘇軾 ソシコク
 蘇轍 ソテツ
 蘇詢 ソジツ
 蘇舜欽 ソシツキン
 蘇劉義 ソリウギ

蘇克蘇濟河 ソクソホカ
 蘇觀生 ソカンセイ
 蘇州 ソシウ
 蘇木都刺 スマトラ
 蘇門答刺王子蘇幹利 スマトラオーシソカンリ
 蘇木 ハンボク
 糜 び
 糜冷 ビレイ
 彌射 ヒシヤ
 覆育英明列國皇帝 フクイクエイメイレコク
 コーテイ
 藍田 ランデン
 藍谷 ランコク
 藍玉 ランギョク
 藍廷珍 ランテイチン
 臨淄 リンシ
 臨屯 リントン
 臨羌 リンケフ

並引索引 十九畫

臨汾 リンフン
 臨安 リンアン
 禮親王 レイシンノ
 鹽鐵官 エンテツカン
 鹽政大臣 エンセイダイジン
 鹽運使 エンウンシ
 鹽法道 エンホード
 澧嬰 カンエイ
 懷王 カイオ
 懷仁可汗 カイジンハーン
 魏寧 ヱイン
 魏冉 ギゼン

十九畫

魏ギ
 魏相 ギセン
 魏刀兒 ギトージ
 魏微 ギテフ
 魏元忠 ギゲンチウ
 魏杞 ギキ
 魏忠賢 ギチツケン
 畿縣 キケン
 徽宗の紹述 キソ一のセフジツ
 瓊州 ケイシウ
 嚴尤 ゲンユ
 嚴光 ゲンコ
 嚴嵩 ゲンス
 嚴世蕃 ゲンセイハン
 贊婆 サンバ
 縱橫家 ジウオーカ
 齊 セフ
 藏 ゴ

總督 ソトトク
 總理處 ソーワシ
 總理衙門 ソーリガモン
 燕項 タングート
 燕翎 トーコ
 燕呂 トーリ
 燕人碑 トージンヒ
 譚廷襄 ダンテイゼフ
 閩國 テンコク
 龍錯 テフソ
 羽上 ハゼフ
 麻 ビ
 麻莫 ビモ
 賦家 フカ
 龐雄 ホーユ
 龐參 ホーサン
 龐同善 ホードーゼン
 寶歴 ホーレキ

寶雲 ホーウン
 寶容 ホーキン
 豐邑 ホーユ
 豐島沖 ホートオキ
 絲王 ヨーオー
 絲君丑 ヨークンチウ
 螺山 ラサン
 離南 リナン
 離石 リセキ
 蘭相如 リンセフジ
 廬生 ロセイ
 廬植 ロチク
 廬志 ロシ
 廬循 ロジツ
 廬抱 ロホ
 廬從史 ロジッシ
 廬昭麟 ロシホーリン
 廬縉 ロカン

廬世榮 ロセイエイ
 廬象昇 ロセフセフ

二十畫

瀚海 カンカイ
 鹹 カン
 麒麟閣 キリンカク
 塞曼 ケンマン
 踪布 ゲイフ
 軋華 ケウカ
 絲 コン
 屬 ス
 寶嬰 トーエイ
 寶融 トーユ